

## 農薬抄録

### チアメトキサム

(殺虫剤)

(作成年月日) 平成 11 年 4 月 21 日  
(改訂年月日) 平成 11 年 9 月 10 日  
(改訂年月日) 平成 12 年 11 月 17 日  
(改訂年月日) 平成 13 年 3 月 23 日  
(改訂年月日) 平成 13 年 4 月 27 日  
(改訂年月日) 平成 14 年 5 月 7 日  
(改訂年月日) 平成 14 年 9 月 9 日  
(改訂年月日) 平成 16 年 7 月 9 日  
(改訂年月日) 平成 16 年 12 月 13 日  
(改訂年月日) 平成 17 年 10 月 6 日  
(改訂年月日) 平成 19 年 5 月 14 日  
(改訂年月日) 平成 20 年 3 月 3 日  
(改訂年月日) 平成 22 年 5 月 31 日  
(改訂年月日) 平成 22 年 9 月 30 日

(作成会社名) シンジェンタ ジャパン株式会社

## 目 次

I. 開発の経緯	g-1
II. 物理的・化学的性状	g-4
III. 生物活性	g-16
IV. 適用および使用上の注意	g-19
V. 残留性及び環境中予測濃度算定関係	g-39
VI. 有用動植物等に及ぼす影響	g-122
VII. 使用時安全上の注意、解毒法等	g-166
VIII. 毒 性	
<毒性試験一覧表>	t-1
1. 原 体	
(1) 急性毒性	t-9
(2) 皮膚及び眼に対する刺激性	t-11
(3) 皮膚感作性	t-16
(4) 急性神経毒性	t-18
(5) 90日間反復経口投与毒性	t-25
(6) 反復経口投与神経毒性	t-46
(7) 1年間反復経口投与毒性及び発がん性	t-50
(8) 繁殖毒性及び催奇形性	t-115
(9) 変異原性	t-165
(10) 生体機能影響	t-187
(11) その他の毒性試験	t-192
2. 代謝物の毒性	t-307
3. 製 剤	f-1
IX. 動植物及び土壌等における代謝分解	
<代謝分解試験一覧表>	m-1
<代謝分解物の名称及び構造式一覧表>	m-10
1. 動物体内運命に関する試験	m-19
2. 植物体内運命に関する試験	m-102
3. 土壌中運命に関する試験	m-148
4. 水中運命に関する試験	m-182
4.1 加水分解運命試験	m-182
4.2 水中光分解運命試験	m-191
5. 土壌吸着試験	m-202
6. 代謝分解のまとめ	m-205
7. チアメトキサムの動植物等における代謝分解経路図	m-212
8. 代謝分解の概要	m-213
付. チアメトキサムの開発年表	a-1

## I. 開発の経緯

### 1. 起源および発見の経緯

チアメトキサム (thiamethoxam) はスイス国ノバルティス社 (旧チバガイギー社)により、 年 に創製発見されたネオニコチノイド ( 年、山本により提唱された呼称) 系化合物に属する殺虫剤である。

ノバルティス社によるネオニコチノイド系化合物の研究は 年より開始され 年にチアメトキサムが発見された。チアメトキサムは複素環部位にクロルチアゾール環を持つ化合物であり、活性部位には初めてオキサジアジン環を持つことを特長としている。

### 2. 開発の経緯

チアメトキサムの開発は 年から開始され、以降、ブラジル、ヨーロッパ、アメリカ (含むカナダ、メキシコ)、日本を中心に大規模な圃場試験が全世界的に実施されている。現在までの知見では、各種作物のアブラムシ類、コナジラミ類、スリップス類等の吸汁性害虫、水稻のウンカ類、ツマグロヨコバイ、イネミズゾウムシ、イネゾウムシ、果樹のカメムシ類、シンクイムシ類等広範な害虫に防除効果を示すことが確認されている。本剤は浸透移行性があるため、散布処理、土壌処理ならびに種子消毒において、長期間に亘る防除効果が確認されている。

日本においては、 年に社内小規模圃場試験、 年に(社)日本植物防疫協会を通じた公的委託試験を開始し、水稻の初期害虫であるイネドロオイムシ、イネミズゾウムシ、ツマグロヨコバイ、ウンカ類 ( 粒剤)、畑作・施設園芸分野におけるアブラムシ類、コナジラミ類、スリップス類 ( 顆粒水溶剤、 粒剤)、芝生のコガネムシ幼虫 ( 顆粒水和剤) で、それぞれ実用性ありとの判定を得ている。また、現在、問題害虫化しているミカンキイロアザミウマ、マメハモグリバエ、ミカンキジラミに対する効果も確認されている。 年 10月現在で 80 を超える食用作物 (類) に適用があるほか、さくら、まつ、芝、花き類・観葉植物等、広範囲にわたり使用されている。

日本での安全性評価状況は、2001年の残留農薬安全性評価委員会において、ラットにおける2世代繁殖試験から得たNOAEL (1.84mg/kg/日)に基づき、安全係数を100として一日許容摂取量(ADI)は0.018mg/kg/日と設定された。2005年の食品安全委員会 農薬専門調査会においても同様に評価され、このADIに基づいて農薬残留基準値が設定されている。2008年の食品安全委員会 農薬専門調査会においても同様の評価を受け、今に至っている。

### 3. 諸外国での登録状況および使用状況等

チアメトキサムの開発は、種子消毒剤としてのCruiser<sup>®</sup>が先行し、 年にニュージーランドとパラグアイで初めて登録となっている。農業用の商標はActara<sup>®</sup>(日本語商標名アクタラ<sup>®</sup>)で世界

統一されており、 年 9 月に綿のコナジラミに対する緊急登録をブラジルで取得し、同年 12 月に正式登録となっている。2010 年 4 月現在、113 カ国で登録を取得している。

諸外国における評価状況は、米国 EPA では 2007 年、豪州では 2000 年に評価され、ラットにおける 2 世代繁殖試験から米国 EPA は NOAEL を 1.2mg/kg/日、豪州では NOAEL を 2mg/kg/日とし、いずれも安全係数は 100 としてそれぞれ cRfD を 0.012mg/kg/日、ADI を 0.02mg/kg/日と設定している。EU では 2006 年にマウスにおける 18 カ月間発がん性試験から NOAEL を 2.6mg/kg/日とし、安全係数を 100 として ADI を 0.026mg/kg/日と設定している。

JMPR による国際評価は、2010 年に予定されている。

主な諸外国における登録状況を下記の表にまとめた。

国名	商品名	主な適用作物
アルゼンチン	Actara、Cruiser 他	りんご、綿花、レモン、もも、なし、ばれいしょ、たばこ類、トマト、とうもろこし、だいず、小麦他
オーストラリア	Actara、Cruiser、Meridian 他	綿花、芝、ソルガム、とうもろこし、ひまわり他
バングラデシュ	Actara、Cruiser 他	なす、バナナ、綿花、うり類、マンゴー、水稲、さとうきび、茶他
ブラジル	Actara、Cruiser	豆類、キャベツ類、きく、かんきつ類、コーヒー、ぶどう、レタス、パパイヤ、ばれいしょ、水稲、小麦他
カナダ	Actara、Cruiser 他	ベリー類、果菜類、なし、ばれいしょ、大麦、小麦他
中国	Actara、Cruiser	水稲類、綿花類
デンマーク	Cruiser	てんさい、菜種、えんどうまめ
チリ	Actara、Cruiser 他	あぶらな科野菜類、とうがらし、仁果類、核果類、豆類、穀類、とうもろこし、ばれいしょ、菜種他
フィンランド	Cruiser	ばれいしょ、ライ麦、小麦、てんさい、菜種他
フランス	Cruiser 他	とうもろこし、ビート類
英国	Cruiser	飼料ビート、てんさい
ハンガリー	Actara、Cruiser 他	とうがらし類、穀類、きゅうり、ぶどう類、たまねぎ、観葉植物、トマト、大麦、とうもろこし、小麦他
インド	Actara、Cruiser 他	綿花、オクラ、水稲
インドネシア	Actara、Cruiser 他	りんご、カカオ、かんきつ類、油やし、水稲、だいず、茶、とうもろこし他

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

国名	商品名	適用作物
韓国	Actara 他	朝鮮ニンジン類、こしょう類、りんご、とうがらし類、キウイフルーツ、うり類他
マレーシア	Actara 他	キャベツ類、とうがらし、かんきつ類、なす、ライム、マンゴー、油やし、水稻類、メロン他
メキシコ	Actara、Cruiser、Meridian 他	あぶらな科野菜類、メロン類、パパイヤ、こしょう類、ばれいしょ、たばこ類、トマト他
オランダ	Actara、Cruiser	観葉植物、とうもろこし、飼料ビート、てんさい、レタス、エンダイブ
ニュージーランド	Actara、Durivo、Cruiser	りんご、キウイフルーツ、なし、ばれいしょ、とうもろこし、あぶらな科野菜類
フィリピン	Actara、Cruiser	バナナ、なす類、マンゴー、パイナップル、水稻類、とうもろこし他
ポーランド	Cruiser	飼料ビート、てんさい、菜種
南アフリカ共和国	Actara、Cruiser、Meridian 他	りんご、かんきつ類、芝、ばら類、綿花類、とうもろこし、ソルガム類、ひまわり、小麦類他
スペイン	Actara	なす、綿花類、きゅうり、レタス、メロン、もも、ばれいしょ、たばこ、メロン他
スイス	Actara、Cruiser	おうとう、レタス、観葉植物、仁果類、とうもろこし、てんさい、穀類他
タイ	Actara、Cruiser 他	ドリアン、グレープフルーツ、ライム、オクラ、水稻、トマト、ケール類、とうもろこし、綿花類
トルコ	Actara、Cruiser 他	りんご、綿花類、なす、こしょう類、たばこ、ヘーゼルナッツ、ピスタチオ、なし、てんさい、小麦他
アメリカ	Actara、Cruiser、Meridian 他	ベリー類、果菜類、仁果類、根菜・塊茎類、あぶらな科葉菜類、うり類、葉菜類、大麦、とうもろこし、豆類、ばれいしょ、ソルガム、小麦、芝他
ベトナム	Actara 他	あぶらな科野菜類、キャベツ、コーヒー類、グアバ、かぼちゃ、水稻、茶類、すいか、綿花

2010年4月現在

## II. 物理的・化学的性状

### 1. 有効成分の名称および化学構造

#### 1) 一般名

チアメトキサム thiamethoxam (ISO 名)

#### 2) 別名

商品名：アクタラ (ACTARA)

試験名：CGA293343、CG-216、CG-217、CG-234

#### 3) 化学名

(和名) 3-(2-クロロ-1,3-チアゾール-5-イルメチル)-5-メチル-1,3,5-オキサジアジナン-4-イリデン(ニトロ)アミン (MAFF 名)

(EZ)-3-(2-クロロ-1,3-チアゾール-5-イルメチル)-5-メチル-1,3,5-オキサジアジナン-4-イリデン(ニトロ)アミン (IUPAC 名)

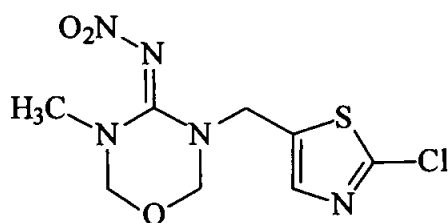
3-[(2-クロロ-5-チアゾリル)メチル]テトラヒドロ-5-メチル-N-ニトロ-4H-1,3,5-オキサジアジン-4-イミン (CAS 名)

(英名) 3-(2-chloro-1,3-thiazol-5-ylmethyl)-5-methyl-1,3,5-oxadiazinan-4-ylidene(nitro)amine (MAFF 名)

(EZ)-3-(2-chloro-1,3-thiazol-5-ylmethyl)-5-methyl-1,3,5-oxadiazinan-4-ylidene(nitro)amine (IUPAC 名)

3-[(2-chloro-5-thiazolyl)methyl]tetrahydro-5-methyl-N-nitro-4H-1,3,5-oxadiazin-4-imine (CAS 名)

#### 4) 構造式



#### 5) 分子式

$C_8H_{10}ClN_5O_3S$

#### 6) 分子量

291.7

#### 7) CAS No.

153719-23-4

2. 有効成分の物理化学的性質

項目	測定値	測定方法	試験施設名(報告年)		
1) 外観・臭気	白色固体(粉末)・無臭	JIS Z 8723(色調) 官能法(形状および臭気)	ハルティス アグロ社 (1998年)		
2) 密度	1.57 g/cm <sup>3</sup> (22°C)	空気比較比重計法 OECD 109	チカガイター社 <sup>*1</sup> (スイス国) (1995年、GLP適用)		
3) 融点	139.1°C	毛細管光電検出法 OECD 102	チカガイター社 <sup>*1</sup> (スイス国) (1995年、GLP適用)		
4) 沸点	約 147°Cで分解するため 測定不能	Siwoloboff法, 示差走査熱量分析法 OECD 103	ハルティス社 <sup>*2</sup> (スイス国) (1997年、GLP適用)		
5) 蒸気圧	6.6×10 <sup>-9</sup> Pa(25°C, pH7)	気体流動法 OECD 104	チカガイター社 <sup>*1</sup> (スイス国) (1995年、GLP適用)		
6) 溶解度	水	4.1g/L(25°C)	フラスコ法 OECD 105	チカガイター社 <sup>*1</sup> (スイス国) (1995年、GLP適用)	
	有機溶媒	ヘキサン	<1mg/L(25°C)	フラスコ法 OECD 105	ハルティス社 <sup>*2</sup> (スイス国) (1998年、GLP適用)
		トルエン	680mg/L(25°C)	フラスコ法 OECD 105	
		アセトン	48g/L(25°C)	フラスコ法 OECD 105	
		メタノール	13mg/L(25°C)	フラスコ法 OECD 105	
		オクタノール	620mg/L(25°C)	フラスコ法 OECD 105	
		ジクロロメタン	110g/L(25°C)	フラスコ法 OECD 105	
酢酸エチル	7g/L(25°C)	フラスコ法 OECD 105			
7) 解離定数 (pKa)	解離せず(室温)	分光光度法	チカガイター社 <sup>*1</sup> (スイス国) (1995年、GLP適用)		
8) オクタノール/水分配係数 (log Pow)	-0.13(25°C)	フラスコ振とう法 OECD 107	チカガイター社 <sup>*1</sup> (スイス国) (1995年、GLP適用)		
9) 安定性	① 熱	150°Cまで分解せず	示差熱分析法	安全保証研究所(スイス国) (1998年、GLP適用)	
		約 147°Cで分解	示差走査熱量分析法 OECD 113	ハルティス社 <sup>*2</sup> (スイス国) (1997年、GLP適用)	
	② 加水分解性	( 標識) t <sub>1/2</sub> =安定(20°C、pH1.5) t <sub>1/2</sub> =1114日(20°C、pH7) t <sub>1/2</sub> =7.3日(20°C、pH9)	EPA法 N161-1, OECD111	ハルティス社 <sup>*3</sup> (米国) (1998年、GLP適用)	
( 標識) t <sub>1/2</sub> =安定(20°C、pH1.5) t <sub>1/2</sub> =1253日(20°C、pH7) t <sub>1/2</sub> =15.6日(20°C、pH9)	ハルティス社 <sup>*3</sup> (米国) (1997年、GLP適用)				

\*1:チカガイター ミュンヒッヘン社、\*2:ハルティス クロップ プロテクション ミュンヒッヘン社、\*3:ハルティス クロップ プロテクション社

項目		測定値 (測定条件)	測定方法	試験機関 (報告年)
9) 安定性	③ 水中光分解性	非ラベル体 蒸留水 (滅菌) 照射下: $t_{1/2}=4.4$ 時間 (25±1°C) 遮光下: $t_{1/2}=172$ 日 (25±1°C) 光源: キセノンランプ 照度: 47.9W/m <sup>2</sup> (300~400nm) 1日12時間照射	農林水産省提示 暫定試験指針	(財)日本食品分析センター (1998年)
		非ラベル体 自然水 照射下: $t_{1/2}=4.3$ 時間 (25±1°C) 遮光下: $t_{1/2}=4382$ 日 (25±1°C) 光源: キセノンランプ 照度: 49.4W/m <sup>2</sup> (300~400nm) 1日12時間照射		
	標準体	緩衝液 (滅菌) 照射下: $t_{1/2}=3.08$ 日 (25°C) 遮光下: $t_{1/2}=2.56$ 年 (25°C) 光源: キセノンランプ 照度: 205W/m <sup>2</sup> (290~700nm) 1日12時間照射	EPA法 N161-2	ハルティス社* <sup>3</sup> (米国) (1998年、GLP適用)
		標準体 緩衝液 (滅菌) 照射下: $t_{1/2}=2.29$ 日 (25°C) 遮光下: $t_{1/2}=595$ 日 (25°C) 光源: キセノンランプ 照度: 205W/m <sup>2</sup> (290~700nm) 1日12時間照射		ハルティス社* <sup>3</sup> (米国) (1997年、GLP適用)
④ 土壌吸着係数		K=0.9496、0.3514、 1.018、0.2177 Koc'=32.0、29.0、 30.6、16.4 (25±1°C)	OECD106	(財)日本食品分析センター (1998年)

\*1:チバ・ガイヤー・ミュンヒヴァーレン社、\*2:ハルティス クロップ プロテクション ミュンヒヴァーレン社、\*3:ハルティス クロップ プロテクション社

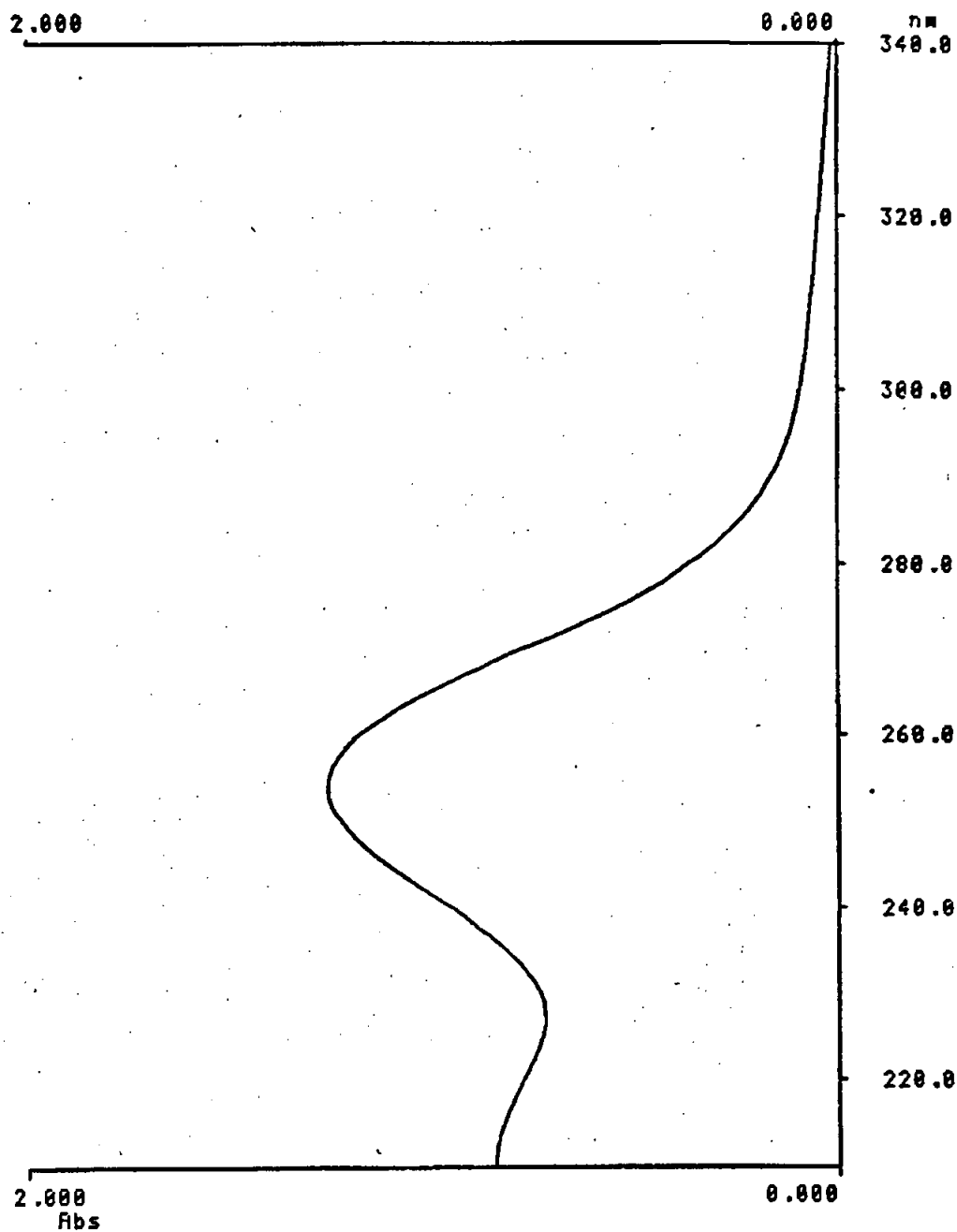
10) UV/VIS スペクトル、IR スペクトル、MS スペクトル、NMR スペクトル

UV/VIS、IR、MS、<sup>1</sup>H-NMR スペクトル: チバ・ガイヤー・ミュンヒヴァーレン社(スイス国)1995年、GLP適用

<sup>13</sup>C-NMR スペクトル: ハルティス クロップ プロテクション ミュンヒヴァーレン社(スイス国)1998年、GLP適用



UV/VIS スペクトル (酸性溶液)

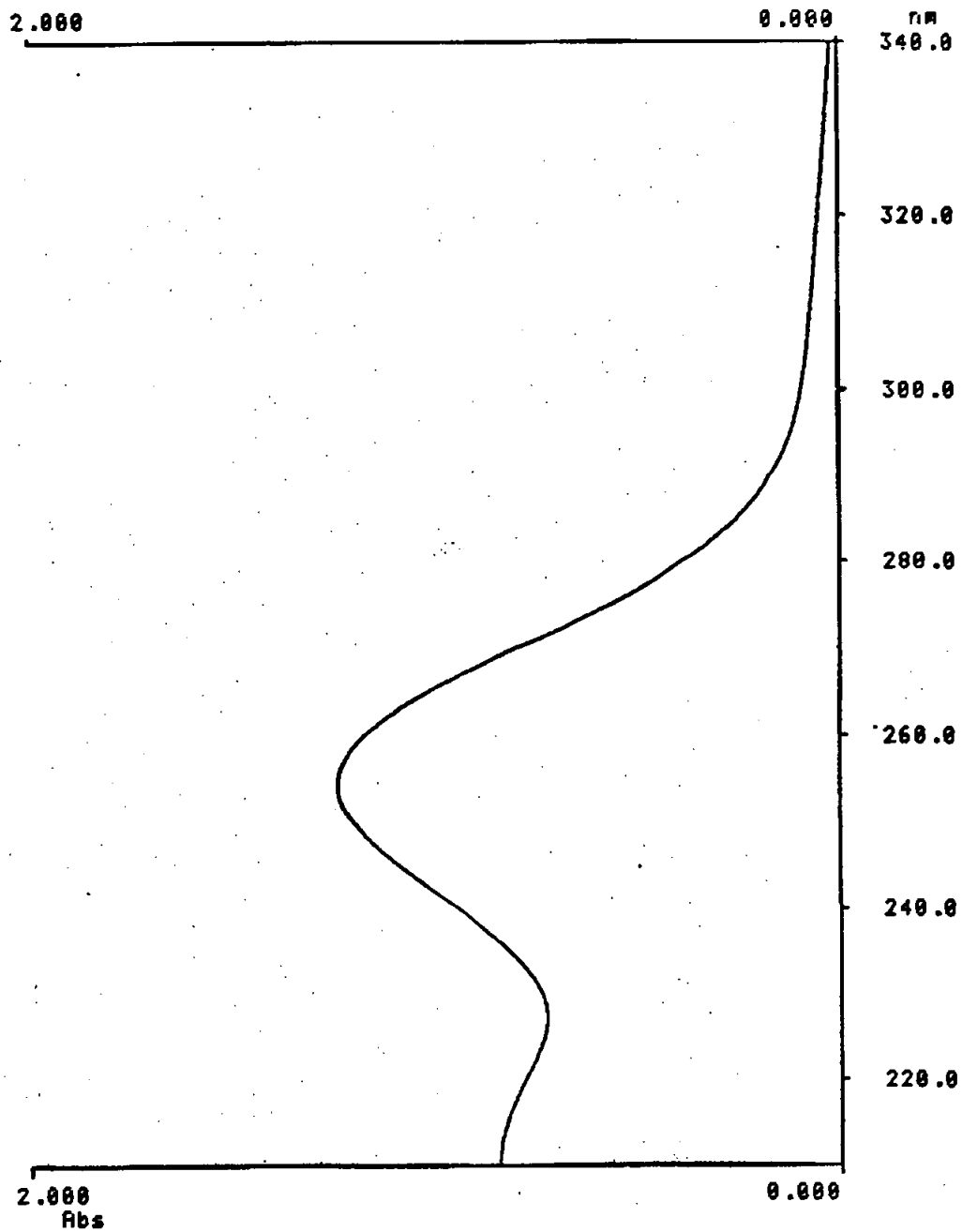


特有な吸収帯のリスト

吸収波長 [nm]	吸光度	モル吸光係数 [L/(mol×cm)]
255	1.266	17000

290nm から 750nm 間に最大吸収はみられなかった。

UV/VIS スペクトル (中性溶液)

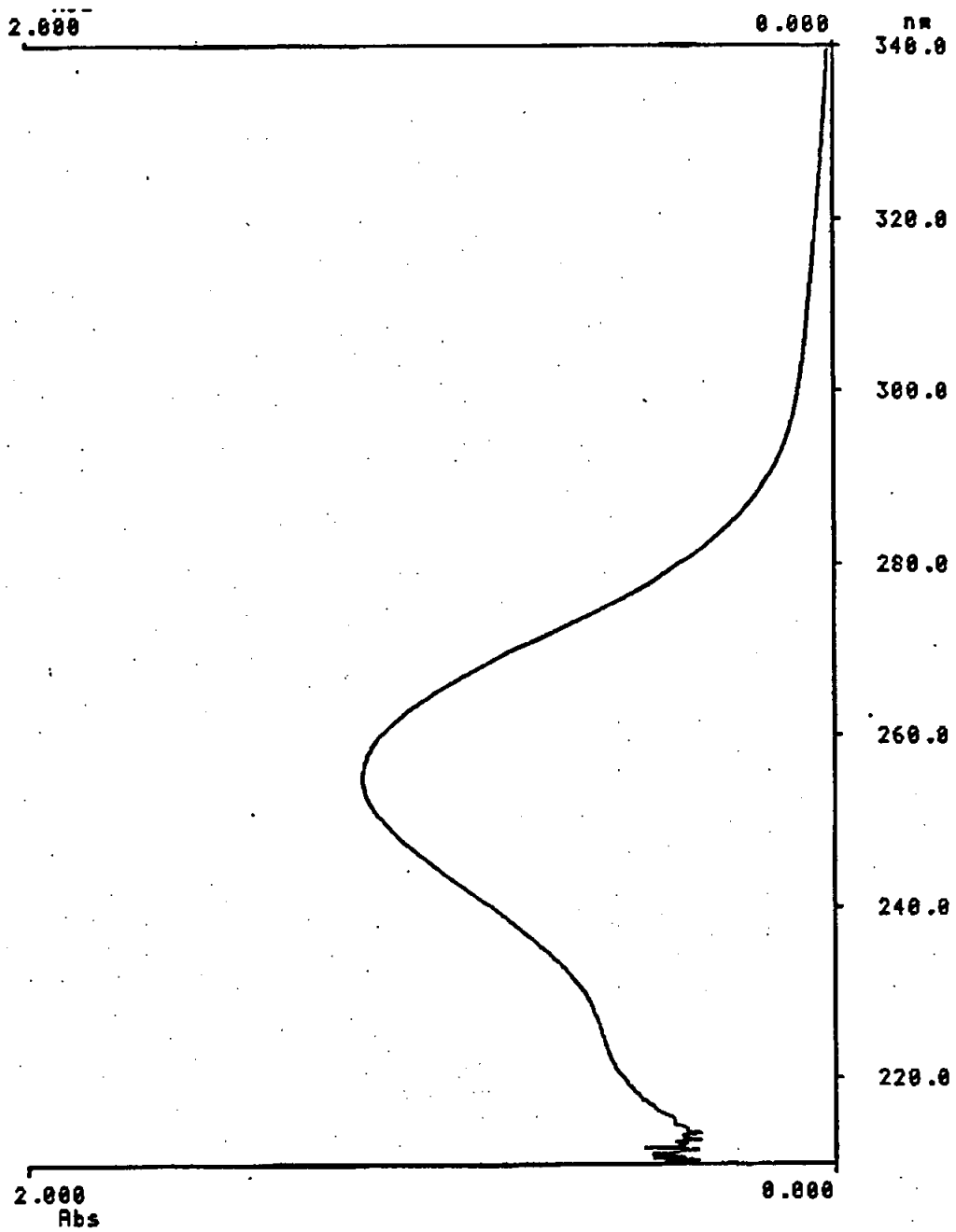


特有な吸収帯のリスト

吸収波長 [nm]	吸光度	モル吸光係数 [L/(mol×cm)]
255	1.256	16800

290nm から 750nm 間に最大吸収はみられなかった。

UV/VIS スペクトル (塩基性溶液)

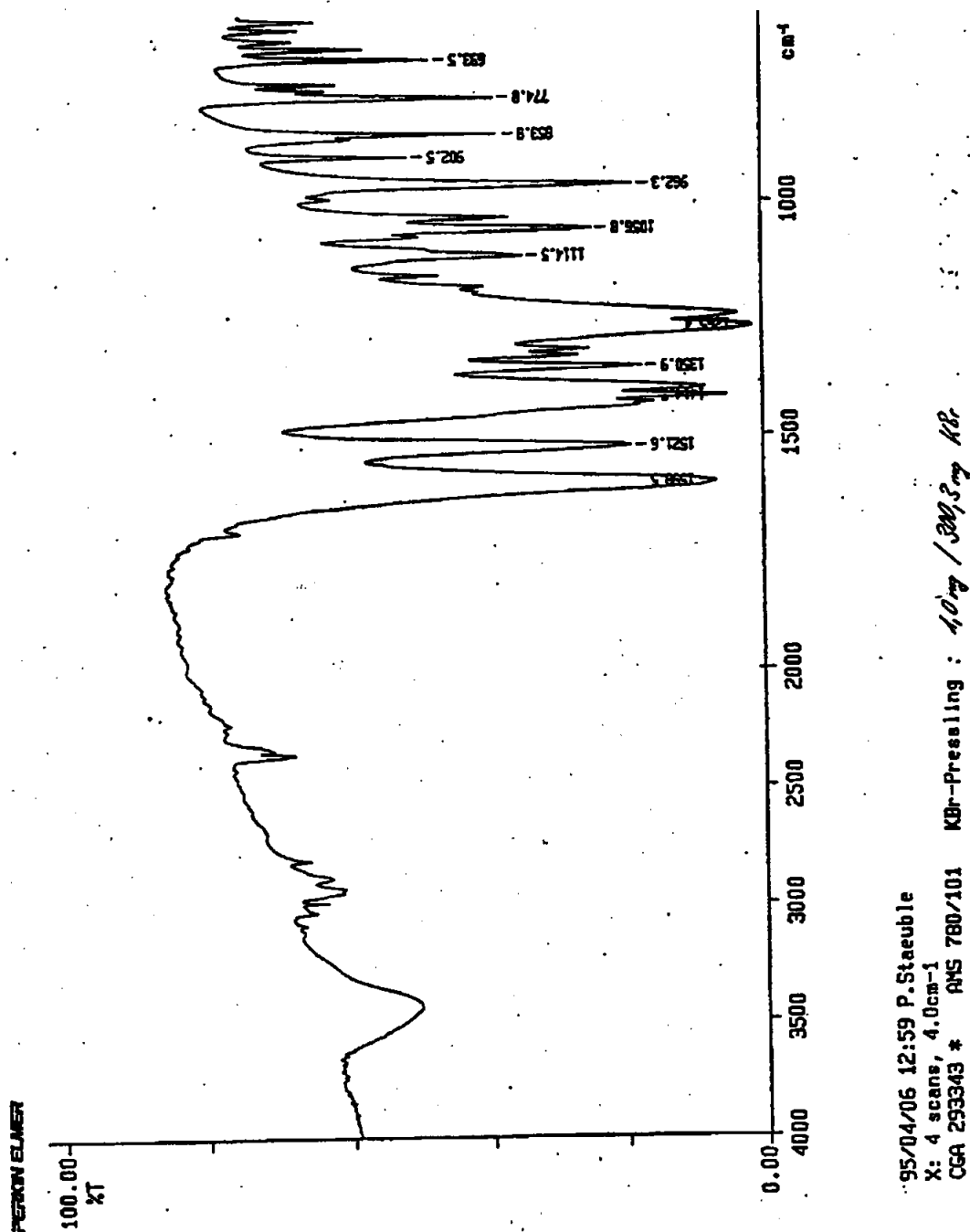


特有な吸収帯のリスト

吸収波長 [nm]	吸光度	モル吸光係数 [L/(mol×cm)]
255	1.183	15900

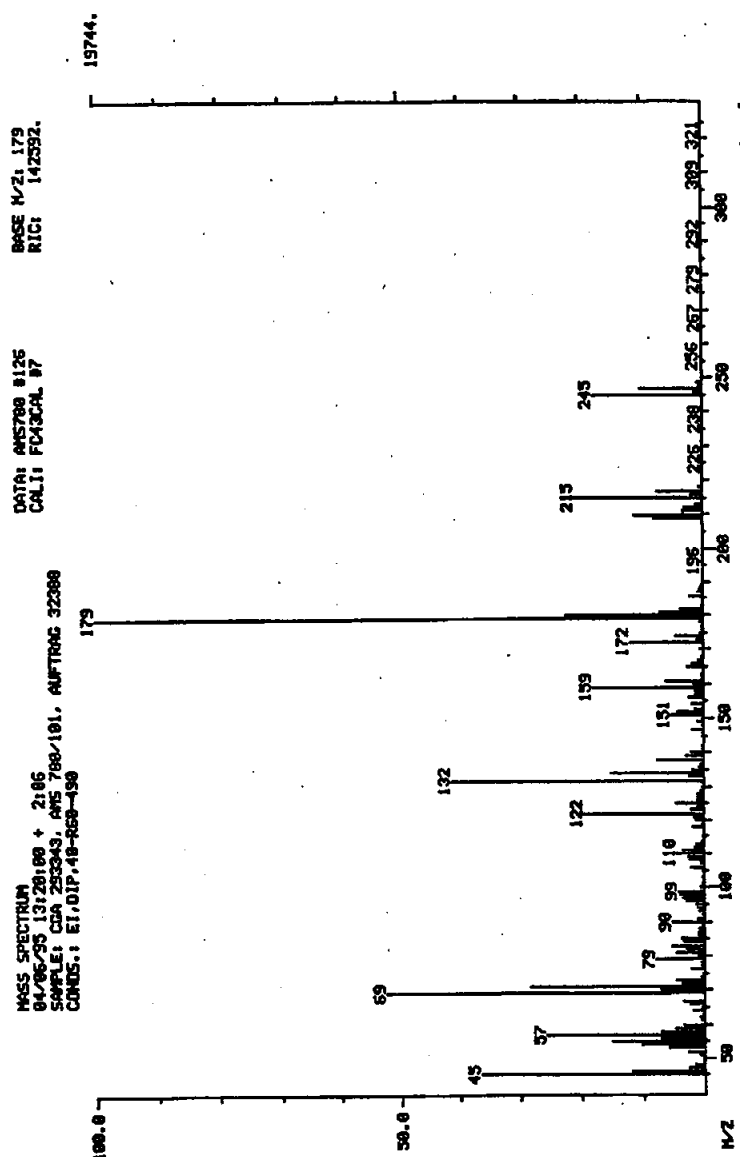
290nm から 750nm 間に最大吸収はみられなかった。

IR スペクトル



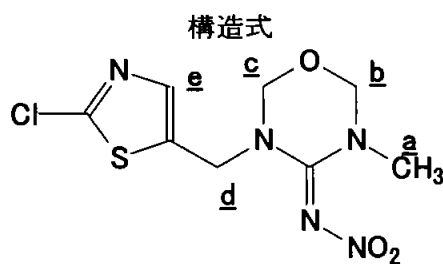
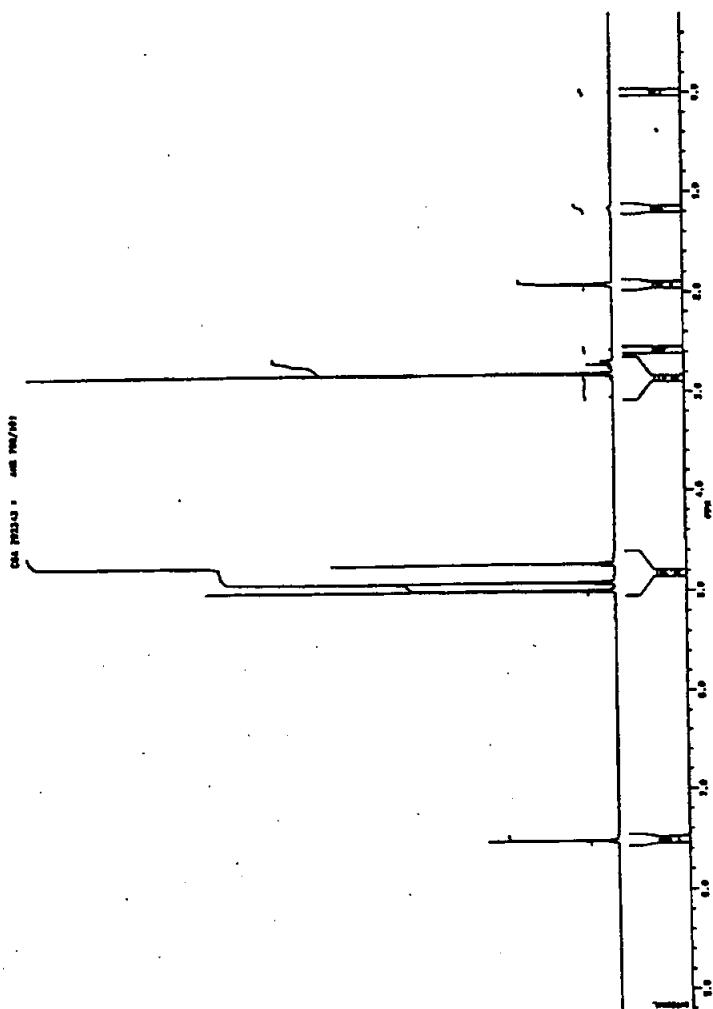
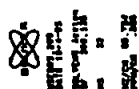
波数 [cm <sup>-1</sup> ]	帰属
1598	NO <sub>2</sub> stretch, assym. -C=N- stretch, sym.
1265	NO <sub>2</sub> stretch
Ca.1250	-C-O-C- stretch, assym. -C-O-C- stretch

MS スペクトル



m/z	フラグメント イオン
291	M <sup>+</sup> 、検出せず
247	M <sup>+</sup> -CH <sub>2</sub> OCH <sub>2</sub>
245	M <sup>+</sup> -NO <sub>2</sub>
215	m/z245-CH <sub>2</sub> O
209	m/z245-HCl
179	m/z209-CH <sub>2</sub> O
159	<chem>ClC1=NC=C(S1)C</chem>
132	<chem>ClC1=NC=C(S1)CN=C</chem>

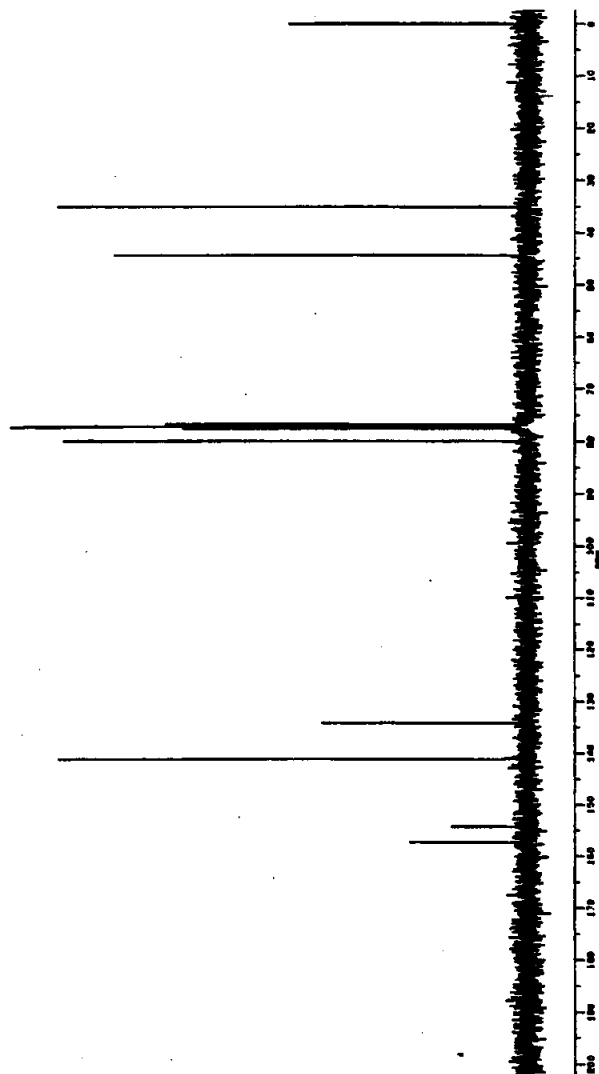
<sup>1</sup>H-NMR スペクトル



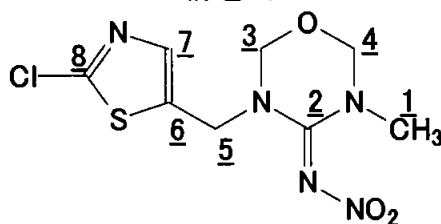
化学シフト表

化学シフト	プロトン数	帰属
7.54	1	e
5.02	2	
4.94	2	d, c, b
4.74	2	
2.82	3	a

$^{13}\text{C}$ -NMR スペクトル



構造式

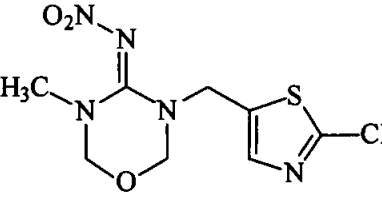


化学シフト表

化学シフト	帰属
35	1
44	5
80	3, 4
134	6
141	7
154	8
157	2

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

3. 原体の成分組成

区分	名称		構造式	分子式	分子量	含有量 (%)	
	一般名	化学名				規格値	通常値
有効成分	チアトキサム CGA 293343	3-(2-クロロ-1,3-チアゾ -ル-5-イミダゾ)-5-メチル -1,3,5-オキサジマジン -4-リチン(ニトロ) アミン		$C_8H_{10}ClN_5O_3S$	291.7		



#### 4. 製剤の組成

- 1) 10.0%チアメトキサム水溶剤 (アクタラ顆粒水溶剤)

チアメトキサム原体	10.0%
界面活性剤、無機塩類等	90.0%
  
- 2) 0.5%チアメトキサム粒剤 (アクタラ粒剤5)

チアメトキサム原体	0.5%
鋳物質微粉等	99.5%
  
- 3) 2.0%チアメトキサム粒剤 (アクタラ箱粒剤)

チアメトキサム原体	2.0%
鋳物質微粉末等	98.0%
  
- 4) 21.4%チアメトキサム水和剤 (アクタラフロアブル)

チアメトキサム原体	21.4%
水、界面活性剤等	78.6%
  
- 5) 30.0%チアメトキサム水和剤 (クルーザーFS30)

チアメトキサム原体	30.0%
水、界面活性剤等	70.0%
  
- 6) 23.5%チアメトキサム水和剤 (ビートルコップ顆粒水和剤)

チアメトキサム原体	23.5%
鋳物質微粉、界面活性剤等	76.5%
  
- 7) 4.0%チアメトキサム液剤 (アトラック液剤)

チアメトキサム原体	4.0%
水、界面活性剤等	96.0%
  
- 8) 0.005%チアメトキサム液剤 (アクタラAL)

チアメトキサム原体	0.005%
水、界面活性剤等	99.995%
  
- 9) 0.5%チアメトキサム・0.5%テフルトリン粒剤 (アクタラフォース粒剤)

チアメトキサム原体	0.5%
テフルトリン原体	0.5%
水、界面活性剤等	99.0%

### III. 生物活性

#### 1. 活性の範囲

本剤は広範な害虫種に対して高い活性を持っており、半翅目、アザミウマ目、甲虫目、鱗翅目、双翅目など多岐にわたる。

これまでに日本および海外の試験結果等から、以下に示す害虫に防除効果を示すことが確認されている。

作物	害虫名	処理方法	処理薬量 (有効成分量)
野菜類	ワタアブラムシ ジヤカイモヒゲナガアブラムシ モモアブラムシ チュールップヒゲナガアブラムシ	散布	2.5-5g/100L
	オンツコナジラミ タハコナジラミ	散布	3.3-10g/100L
		土壌処理	90-180g/ha
	ミナキイロアザミウマ ダイスウスイロアザミウマ	散布	5-10g/100L
		土壌処理	90-180g/ha
	コガネムシ類	土壌処理	300-450g/ha
	さとうきび	モモアブラムシ	散布
まめ類	マメアブラムシの一種	散布	50-100g/ha
アブラナ科 そ菜類	コガネ アオムシ	土壌処理	350-700g/ha
ばれいしょ	ジヤカイモヒゲナガアブラムシ モモアブラムシ ワタアブラムシ	散布	2.5-5g/100L
	コロラトホテトビートル	散布	25-50g/ha
	ヒメヨコバイの一種	散布	25-50g/ha
綿	ワタアブラムシ ヒメヨコバイの一種	散布	30-50g/ha 10-30g/ha
稲	トビイロウンカ	散布	2.5-3.3g/100L
	ヒメトビウンカ・セジロウンカ	本田処理	50-150g/ha
	ツマグロヨコバイ	育苗箱処理	0.5-2g/育苗箱
	カメムシ類	散布	5g/100L
	イネズミゾウムシ	育苗箱処理	0.5-2g/育苗箱
		本田処理	50-150g/ha
かんきつ	イネトロイムシ	育苗箱処理	0.5-2g/育苗箱
	ヤノコカイガラムシ	散布	5g/100L
	ツノロウムシ		
	ルビロウムシ		
	ミカンヒメコナカイガラムシ		3.3-5g/100L
	フジコナカイガラムシ		
	チャノキイロアザミウマ		
	ミカンハモクリガ		2.5-5g/100L
ワタアブラムシ			
ユキヤナギアブラムシ			
コマダラカミキリ			

作物	害虫名	処理方法	処理薬量 (有効成分量)
果樹	モモアブラムシ ワタアブラムシ チューリップネアブラムシの近縁種 ナシアブラムシ モモコキアブラムシ ユキナキアブラムシ	散布	2.5-5g/100L
	キジラミの一種 ( <i>Psylla</i> 属)		6-10g/100L
	キンモンボカ		10g/100L
	モモハモグリガ		5g/100L
	ナンヒメシクイ		
	モモシクイガ		
	ツノロウムシ		
	茶		チャノミトリヒメコハイ
チャノキイロアザミウマ		5g/100L	
チャノボカ			

## 2. 作用機構

本剤は昆虫中枢神経系のニコチン性アセチルコリン受容体に作用し、昆虫を死に至らしめると考えられている。これまで一連の生理生化学的研究がなされてきたが、結合部位など詳細な作用点の解明には至っていない。

既存の有機リン系薬剤、カーバメイト系薬剤、ピレスロイド系薬剤と作用点が異なり、これらの薬剤に高度の抵抗性を発達させた害虫に対して交差抵抗性を示さないことが確認されている。クロロニコチル系薬剤は本剤と化学構造が類似しているが、シルバーリーフコナジラミを対象に行った試験では、本剤との交差抵抗性を否定する結果が得られている。

本剤を土壌中に処理した場合、植物体の根部より速やかに吸収されて地上部の茎葉部へ移行するので、茎葉部を加害する害虫の防除ができる。茎葉散布では、本剤の浸透移行性から、果樹などで新芽が急速に伸びる時期でも展開葉を加害する害虫の防除が可能である。

## 3. 作用特性と防除上の利点

上述の活性の範囲および作用機構から、本剤の害虫防除場面での利点は次の通りであり、その使用時安全性・利便性・新規性から有用であると考えられる。

- (1) 広範な殺虫スペクトラムから、本剤の処理により同時期に発生する害虫の同時防除が可能である。
- (2) アブラムシ類、コナジラミ類、ウンカ類などに対して、本剤の効果差は実用薬量でほとんど見られないため、これら害虫類の近似種間の判別が十分できなくても安心して使用でき

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

る。

- (3) 標的害虫に対する残効性が長く、一度の薬剤処理で長期間害虫の密度を抑制することができる。特に粒剤による土壌処理等での残効は長く、野菜類でのアブラムシ、コナジラミ類に対して4~5週間、水稻の育苗箱処理でウンカ・ヨコバイ類に対して稲生育期後半まで実用的な密度抑制効果を発揮する。
- (4) 防除が困難なコガネムシ類に対して、植え付け時の土壌処理によって卓効を示す。
- (5) 一般の使用薬量では各種作物に薬害の心配がなく安全に使用できる。
- (6) 魚毒性が低いため、水系の近くでの散布でも問題が少ない。
- (7) 急性毒性、皮膚感作性、眼刺激性等の使用者に対する安全性が高い。

#### IV. 適用および使用上の注意

##### 1. 適用害虫の範囲および使用方法

##### (1) 10.0%チアメトキサム水溶剤 (アクタラ顆粒水溶剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
未成熟とうもろこし	アブラムシ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	3回以内 (は種前の塗沫処理は1回以内、は種後は2回以内)
だいず	アブラムシ類 かみ類						3回以内 (は種前の塗沫処理は1回以内、は種後は2回以内)
いんげんまめ	アブラムシ類	3000倍	25L/10a	収穫14日前まで	3回以内		4回以内 (植付時の作条混和は1回以内、植付後は3回以内)
ばれいしょ	テントウムシダマシ類 ナストビハムシ	2000倍					
	てんさい	アブラムシ類	750倍	ペーパーポット 1冊当り 1L (3L/m <sup>2</sup> )	定植前	1回	苗床 灌注
テントウムシハムシ		50~200倍					
カメノコハムシ		50倍					
アブラムシ類		100倍					
やまのいも	テントウムシクリハナハエ	100~200倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内 (粒剤の処理は1回以内、散布は3回以内)
	アブラムシ類	3000倍					
だいこん	アブラムシ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内		3回以内 (は種時の作条混和は1回以内、散布は2回以内)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	チアトキサムを 含む農薬の 総使用回数	
キャベツ	アブラムシ類	2000～ 3000 倍	100～300 L/10a	収穫3日前 まで	3回 以内	散布	4回以内 (粒剤の処理、水溶剤及び水 和剤の灌注は合計1回以内、 水溶剤及び液剤の散布は合計 3回以内)	
はくさい		100 倍	セル成型 育苗トレイまた はペーパーポッ ト1冊 (30×60cm、 使用土壌 約3～4L) 当り 0.5L	育苗期 後半	1回	灌注	4回以内 (粒剤の処理、水溶剤及び水 和剤の灌注は合計1回以内、 散布は3回以内)	
ブロッコリー	アブラムシ類	3000 倍	100～300 L/10a	収穫3日前 まで	3回 以内	散布	4回以内 (粒剤の処理及び水溶剤の灌 注は合計1回以内、 散布は3回以内)	
カリフラワー		2000～ 3000 倍		収穫前日 まで				4回以内 (育苗期の株元散布は1回以 内、散布は3回以内)
非結球 あぶらな科 葉菜類 (こまつな、 ケル、チンゲンサイを 除く)		2000 倍		収穫 3日前まで				
こまつな					3回以内 (は種時の作条混和は 1回以内、 は種後は2回以内)			
チンゲンサイ					3回以内 (定植時の作条混和は 1回以内、 散布は2回以内)			
レタス					3回以内 (種子への処理、水和剤の灌 注及び粒剤の処理は合計1回 以内、散布は2回以内)			
しそ					3000 倍		収穫 7日前まで	2回 以内

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	777キヤムを含む農薬の総使用回数
ねぎ	ネバグリハエ	1000～2000倍	100～300 L/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	4回以内 (は種時及び植付時の作条混和は合計1回以内、 散布は3回以内)
	にら			収穫14日前まで			
アスパラガス	収穫7日まで	3回以内		4回以内 (植付時の作条混和は1回以内、 植付後は3回以内)			
わけぎ	ネバグリハエ ネバグリハエ						収穫3日前まで
トマト	コナジラミ類	2000倍		収穫前日まで	2回以内		3回以内 (育苗期の株元散布及び 定植時の植穴処理は 合計1回以内、 散布は2回以内)
ミニトマト	コナジラミ類						
なす	アブラムシ類 コナジラミ類	3000倍		3回以内	3回以内		4回以内 (種子への処理、育苗期の株 元散布及び定植時の植穴処理 は合計1回以内、散布は3回 以内)
	シシトウアブラムシ マメハグリハエ	2000倍					

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	チマトキムを 含む農薬の 総使用回数	
ピーマン	シシトウアザミヤ	2000倍	100~300 L/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	4回以内 (種子への処理及び定植時 の植穴処理は合計1回以 内、散布は3回以内)	
	アブラムシ類 コカバアブラムシ類 マメハモグリバエ	3000倍						
とうがらし類 (ししとうを 除く)	アブラムシ類							
ししとう	アブラムシ類 コカバアブラムシ類 マメハモグリバエ							
きゅうり	アブラムシ類 コガネアブラムシ類							3000倍
	シシトウアザミヤ							2000倍
すいか	アブラムシ類							3000倍
								3000倍
食用へちま								
にがうり	カブラアブラムシ							2000倍
メロン	アブラムシ類	3000倍	150~300 L/10a	収穫前日まで			4回以内 (種子への処理及び定植時 の植穴処理は合計1回以 内、散布は3回以内)	
	シシトウアザミヤ トマトモグリバエ							
ほうれんそう	アブラムシ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫 3日前まで	2回 以内	3回以内 (種子への処理及びは種時 の作条混和は合計1回以 内、散布は2回以内)		
オクラ	アブラムシ類	3000倍		収穫前日 まで	3回 以内	3回以内		
さやいんげん								
えだまめ	アブラムシ類 カメムシ類			収穫7日前 まで	2回 以内	3回以内 (は種前の塗沫 処理は1回以内、 は種後は 2回以内)		



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用 時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	アトキムを 含む農薬の 総使用回数		
うこぎ	アブラムシ類	3000 倍	100~300 L/10a	収穫 3 日前まで	2 回 以内	散布	2 回以内		
エンサイ				収穫 14 日前まで					
みょうが (花穂)	コカイラムシ類	2000 倍		収穫前日 まで	3 回 以内	散布、但し花穂 の発生期にはマル チフィルム被 覆により散布液 が直接花穂に飛 散しない状態で 使用する	3 回以内		
みょうが (茎葉)				みょうが(花 穂)の収穫前 日まで 但し、花穂 を収穫しない 場合にあつて は開花期終了 まで					
モロヘイヤ				ネアザミヤ				収穫 7 日前まで	
かんきつ	ゴマダカミドリ成虫	4000 倍	200~ 700L/10a	収穫 14 日前 まで				散布	
	アブラムシ類	3000 倍							
	コカイラムシ類 ミカンハダカ コオハナムグリ ケキスイ類	2000~ 3000 倍							
	アザミヤ類 ロウソク類 カメムシ類 ミカンハダ カキジラミ	2000 倍							

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用 時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	チアトキムを 含む農薬の 総使用回数			
りんご	アブラムシ類 キンモンハモクリガ キンモンホリガ コナカイラムシ類	2000～ 3000 倍	200～700 L/10a	収穫7日前 まで	2回 以内	散布	2回以内			
	シクイムシ類 カメムシ類	2000 倍								
	リンゴワタムシ	3000 倍								
なし	シクイムシ類 カメムシ類 コナカイラムシ類	2000 倍		収穫前日まで	3回 以内			3回以内		
	アブラムシ類	3000 倍								
もも	モモハモクリガ	2000～ 3000 倍							シクイムシ類 シロキイロアザミヤ カメムシ類	2000 倍
小粒核果類 (うめを 除く)	アブラムシ類	2000～ 3000 倍		収穫7日前 まで	2回 以内			2回以内		
うめ										
おうとう	カメムシ類	2000 倍		収穫前日まで	2回 以内			2回以内		
	オウトウショウジヨウハエ									
いちじく	アザミヤ類	2000 倍	収穫7日前 まで	2回 以内	2回以内					
ぶどう	コナカイラムシ類 チャノキイロアザミヤ	2000～ 3000 倍								
	フタテンヒメコバエ									

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用 時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	チノキアミンを 含む農薬の 総使用回数	
かき	アザミウマ類 カメシ類 コナカイラムシ類 カキノハダシカ	2000 倍	200~700 L/10a	収穫 3 日前まで	3 回 以内	散布	3 回以内	
バナナ	ハナツヤオザリウシ			収穫 7 日前まで				
マンゴー	アザミウマ類			収穫 14 日前まで	2 回 以内			
アセロラ	アブラムシ類			収穫 7 日前まで				
グアバ (果実)	ハシロコウツエカリヒメ ハマキ							
茶	チャノキアザミウマ	2000~ 3000 倍	200~400 L/10a	摘採 7 日前 まで	1 回		1 回	
	チャノミドリヒメ ヨコバイ							
	コミカンアブラムシ ツマクノオオカスミカメ							
セージ	コナジラミ類	2000 倍	100~300 L/10a	収穫 21 日前まで	3 回 以内		3 回以内	
花き類 ・観葉植物 (宿根アスター、トルコ ギキョウ、きくを除く)	シロキアザミウマ	1000 倍		発生初期	6 回 以内		6 回以内	
	ハマグリハエ類	2000 倍						
宿根アスター トルコギキョウ	シロキアザミウマ	1000 倍						
	ハマグリハエ類 コナジラミ類	2000 倍						
きく	シロキアザミウマ	1000 倍						
	ハマグリハエ類	2000 倍						
つつじ類	ツツジグンバイ	2000 倍		200~400 L/10a		5 回 以内	5 回以内	
かんきつ (苗木)	シロハマグリハエ アブラムシ類 コマダラカミキリ	10 倍		樹当り 10~ 100mL	春芽・夏芽 又は 秋芽の 発生前	3 回 以内	主幹部に吹きつけ	3 回以内
		25 倍		樹当り 20~100mL				

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
きく	ミカンキイロアザミウマ ウスモンミドリカスミカメ	300g/10a	300~1000 L/10a	発生初期	6回以内	灌水チューブを用いた灌注処理	6回以内

(2) 0.5%チアメトキサム粒剤 (アクタラ粒剤5)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数	
かんしょ	アブラムシ類	6kg/10a	育苗期	1回	株元散布	1回	
	コナジラミ類	6~9kg/10a	植付時		作条混和		4回以内 (植付時の作条混和は1回以内、 植付後は3回以内)
さといも	6kg/10a	6kg/10a				は種時	
ばれいしょ	3~6kg/10a		育苗期後半		散布		4回以内 (粒剤の処理は1回以内、 散布は3回以内)
こんにゃく	6kg/10a	培土時 (但し、 出芽前まで)				株元散布	
やまのいも		萌芽期	4kg/10a		作条混和		
だいこん	アブラムシ類	4kg/10a				は種時	
キャベツ	セル成型 育苗トレイまたはペーパーポット1冊 (30×60cm、 使用土壌 約3~4L) 当り 30g	株当り 1~2g	育苗期後半		散布	4回以内 (粒剤の処理、水溶剤及び 水和剤の灌注は合計1回以内、 水溶剤及び液剤の散布は合計3回以内)	
			定植時				
			は種前				植穴処理
			定植時	全面土壌混和			
	育苗期後半	植穴処理					
	は種前	株元散布					
ハイマダラノメイガ	培土 1L 当り 15g	は種前	床土混和				
アオムシ			株元散布				
コナジラミ							

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アトキサムを含む農薬の総使用回数
はくさい	アオシ	株当たり 2g	育苗期後半	1回	株元散布	4回以内 (粒剤の処理、水溶剤及び水和剤の灌注は合計1回以内、散布は3回以内)
	コガ	培土 1L 当り 15g	は種前		床土混和	
		株当たり 1~2g	育苗期後半		株元散布	
のざわな	アブラムシ類	6kg/10a	は種時		作条混和	3回以内 (は種時の作条混和は1回以内、は種後は2回以内)
こまつな			定植時			
チンゲンサイ	アブラムシ類 ハモグリバエ類		定植時			
ブロッコリー	アオシ コガ ハイマダラノメイガ	株当たり 2g		1回	株元散布	4回以内 (粒剤の処理及び水和剤の灌注は合計1回以内、散布は3回以内)
カリフラワー	アブラムシ類	株当たり 0.5g	育苗期後半			4回以内 (育苗期の株元散布は1回以内、散布は3回以内)
レタス	ハモグリバエ	培土 1L 当り 15g	は種前			床土混和
非結球レタス	アブラムシ類	株当たり 0.5g	育苗期後半		株元散布	1回
	ハモグリバエ	培土 1L 当り 15g	は種前		床土混和	
ねぎ	ネギアザミヤ	6kg/10a			作条混和	4回以内 (は種時及び植付時の作条混和は合計1回以内、散布は3回以内)
	ネギハモグリバエ	6~9kg/10a				
わけぎ	ネギアザミヤ ネギハモグリバエ	6kg/10a	植付時			4回以内 (植付時の作条混和は1回以内、植付後は3回以内)
あさつき						1回

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアトキムを含む農薬の総使用回数
セルリー	ハモグリアエ	株当たり 2g	鉢上時	2回以内	土壌混和	2回以内 (鉢上時の土壌混和は1回以内、 定植時の植穴処理は1回以内)
			定植時		植穴処理	
トマト	ハモグリアエ類	株当たり 1~2g	定植時	1回	植穴処理	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の植穴処理は合計1回以内、 散布は3回以内)
	コジラミ類	株当たり 1g	育苗期後半		株元散布	
ミニトマト			ハモグリアエ類		株当たり 1~2g	定植時
	なす	ミナキイロアザミマ マハモグリアエ コジラミ類				
アブラムシ類		植穴処理				
ミナキイロアザミマ		株当たり 2g	定植時		植穴処理	
ピーマン	アブラムシ類	株当たり 1g	定植時		植穴処理	4回以内 (種子への処理及び定植時の植穴処理は合計1回以内、 散布は3回以内)
とうがらし類						4回以内 (定植時の植穴処理は1回以内、 散布は3回以内)
きゅうり						コジラミ類 トマトハモグリアエ
すいか	アブラムシ類	株当たり 2g	定植時		植穴処理	4回以内 (定植時の植穴処理は1回以内、 散布は3回以内)
メロン	ハモグリアエ類	株当たり 1g		4回以内 (種子への処理及び定植時の植穴処理は合計1回以内、 散布は3回以内)		
	アブラムシ類 ミナキイロアザミマ		4回以内 (種子への処理及び定植時の植穴処理は合計1回以内、 散布は3回以内)			
ほうれんそう	アブラムシ類	6kg/10a	は種時	作条混和	3回以内 (種子への処理及びは種時の作条混和は合計1回以内、 散布は2回以内)	
れんこん	クイヒレアブラムシ		収穫 14日前まで	3回以内	湛水散布	3回以内
いちご	アブラムシ類	株当たり 1g	定植時	2回以内	植穴処理	4回以内 (定植時の植穴処理は2回以内、 散布は2回以内)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
かんきつ (苗木)	シロハモグリガ	樹当たり 20~40 g	育苗期	2回以内	株元散布	3回以内
	コカイガラムシ類 シロキジラミ	樹当たり 20g				
つつじ類	コガネムシ類	9kg/10a	生育期	1回	全面土壌混和	5回以内
	ツツジクンバイ		植付時			
げっきつ	シロキジラミ	樹当たり 40g	生育期	3回以内	株元散布	3回以内
花き類 ・観葉植物	アブラムシ類	6kg/10a		1回		6回以内

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
せり	水田	アブラムシ類	3kg/10a	親株養成期 但し、収穫 100日前まで	1回	湛水散布	1回

(3) 2.0%チアメトキサム粒剤 (アクタラ箱粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ウンカ類 ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ イネドロオイムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約 5L) 1箱当たり 50 g	移植前 3日 ~ 移植当日	1回	育苗箱中の苗 の上から均一 に散布する	3回以内 (育苗箱への処理は 1回以内、本田では 2回以内)

(4) 21.4%チアメトキサム水和剤 (アクタラフロアブル)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
稲	カメムシ類	5000倍	100~150L /10a	収穫 21日前 まで	2回以内	散布	3回以内 (育苗箱への処理は 1回以内、本田で は2回以内)

(5) 30.0%チアメトキサム水和剤 (クルーザーFS30)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
だいず えだまめ	アブラムシ類 タネバエ ネキリムシ類 フタスジヒメハムシ	乾燥種子 1kg 当り原液 6mL	は種前	1回	塗沫処理	3回以内 (は種前の塗沫処理は1回以内、 は種後は2回以内)
いんげんまめ	アブラムシ類 タネバエ					
豆類 (種実、但し、ら っかせい、だい ず、いんげんまめ を除く)	アブラムシ類 タネバエ					1回
とうもろこし (子実)	ハリガネムシ類					3回以内 (は種前の塗沫処理は1回以内、 は種後は2回以内)
未成熟 とうもろこし						
飼料用 とうもろこし						
	タネバエ					

(6) 25.0%チアメトキサム水和剤 (ビートルコップ顆粒水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
芝	コガネムシ類幼虫	4000倍	1~2L/m <sup>2</sup>	発生初期	3回以内	散布	3回以内
		400~800倍	0.1L/m <sup>2</sup>				
		800~1600倍	0.2L/m <sup>2</sup>				
	シバオサゾウムシ成虫	2000倍	0.5L/m <sup>2</sup>				
	シバオサゾウムシ幼虫	4000倍	1L/m <sup>2</sup>				
		400~800倍	0.1L/m <sup>2</sup>				
		800~1600倍	0.2L/m <sup>2</sup>				



(7) 4.0%チアメトキサム液剤 (アトラック液剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
さくら	アメリカシロヒトリ	胸高直径 (樹幹部) 6~10cm 30mL	幼虫発生 前~幼虫 発生期	3回以内	樹幹注入	3回以内
けやき		11~15cm 60mL 16~20cm 90mL 21~25cm 120mL				
まつ	26~30cm 180mL 30cm以上は胸高直径 が5cm増すごとに30					
プラタナス	マツカレハ プラタナスグンバイ	~60mLを 増量する	新葉 展開後			
ヤシ	ヤシオオオサゾウムシ	幹材積1㎡当り400~ 600mL	幼虫 発生期			
デイゴ	デイゴヒメコバチ	胸高直径(樹幹部) 6~10cm 30~60mL 11~20cm 60~120mL 20cm以上は胸高直径 が10cm増すごとに60 ~120mLを 増量する	成虫 発生前 又は 虫えい 形成期			

(8) 0.005%チアメトキサム液剤 (アクタラ AL)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
えだまめ だいず	アブラムシ類	原液	収穫7日前まで	2回以内	散布	3回以内 (は種前の塗沫処理は1回 以内、は種後は2回以内)
きゅうり	コナジラミ類		収穫前日まで	3回以内		4回以内 (定植時の植穴処理は1回以 内、散布は3回以内)
なす	マメハモグリバエ					4回以内 (育苗期の株元散布及び定植 時の植穴処理は合計1回以 内、散布は3回以内)
トマト	アブラムシ類					4回以内 (定植時の植穴処理は1回以 内、散布は3回以内)
ピーマン			4回以内 (定植時の植穴処理は1回以 内、散布は3回以内)			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アブラムシ類	原液	収穫3日前まで	3回以内	散布	4回以内 (粒剤の処理、水溶剤及び水和剤の灌注は合計1回以内、水溶剤及び液剤の散布は合計3回以内)
かんきつ	カメムシ類 コナカイガラムシ類		収穫14日前まで			3回以内
うめ	アブラムシ類		収穫7日前まで	2回以内		2回以内
花き類・観葉植物	アブラムシ類		発生初期	6回以内		6回以内
ポインセチア	コナジラミ類					
つつじ類	ツツジグンバイ					

(9) 48.0%チアメトキサム水和剤 (クルーザー48)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
なす	アブラムシ類	原液	乾燥種子1000粒 当り0.83mL	は種時	1回	種子処理機による塗沫処理	4回以内 (種子への処理、育苗期の株元散布及び定植時の植穴処理は合計1回以内、散布は3回以内)
ピーマン			乾燥種子1000粒 当り0.83~1.67mL				4回以内 (種子への処理及び定植時の植穴処理は合計1回以内、散布は3回以内)
きゅうり							3回以内 (種子への処理、水和剤の灌注及び粒剤の処理は合計1回以内、散布は2回以内)
メロン							
レタス	ハダカトリハエ類		乾燥種子1000粒 当り0.83~1.66mL				3回以内 (種子への処理及びは種時の作条混和は合計1回以内、散布は2回以内)
ほうれんそう	アブラムシ類		乾燥種子1000粒 当り0.083~0.17mL				3回以内 (種子への処理及びは種時の作条混和は合計1回以内、散布は2回以内)

## 2. 使用上の注意事項

### (1) 10.0%チアメトキサム水溶剤（アクタラ顆粒水溶剤）

- 1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 2) 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態、散布器具及び散布方法に合わせて調節すること。
- 3) 散布液は調製した日に使い切ること。
- 4) グアバ（果実）に使用する場合は、葉を食用に供しないこと。
- 5) かんきつ（苗木）に本剤を用いる場合は、今期に収穫見込のない苗木に対して使用すること。
- 6) かんきつ（苗木）に主幹部に吹きつけで使用する場合は、次の点に注意すること。
  - ① 使用量は主幹の直径（接木部より上約 10cm の箇所）により調整すること。  
10 倍希釈  
主幹部直径 2cm 以下 樹当り 10 mL  
主幹部直径 2～3cm 樹当り 10～50 mL  
主幹部直径 3cm 以上 樹当り 50～100 mL  
25 倍希釈  
主幹部直径 2cm 以下 樹当り 20 mL  
主幹部直径 2cm 以上 樹当り 20～100 mL
- 7) 茶でチアメトキサムを含む農薬を使用した場合は、同一茶期内では本剤を使用はしないこと。
- 8) きくで灌水チューブを利用して本剤を処理する場合は、薬剤が圃場内に均等に処理できるように処理水量を調節し、製剤として 10 アール当り 300 g を処理すること。液肥混入装置を利用して本剤を処理する場合は一次希釈液の希釈倍数が 30 倍より薄い濃度になるよう注意すること。
- 9) ばれいしょに対して希釈倍数 750 倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の地上液剤散布装置を使用すること。
- 10) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 11) ミツバチ及びマルハナバチ等に対して影響があるので、以下のことに注意すること。
  - ① ミツバチ及びマルハナバチ等の巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
  - ② 受粉促進を目的としてミツバチ及びマルハナバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけること。
  - ③ 養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチ及びマルハナバチ等の危害防止に努めること。
- 12) 間引き菜、つまみ菜に使用しないこと。
- 13) 本剤の散布液を調製した容器ならびに散布器具は使用后十分に水で洗浄すること。また、散布器具及び容器の洗浄水は河川等に流さないこと。
- 14) 使用後の空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理すること。
- 15) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けること。
- 16) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめで使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、普及指導センター、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

(2) 0.5%チアメトキサム粒剤（アクタラ粒剤5）

- 1) かんきつに本剤を用いる場合は、今期に収穫見込のない苗木に対して使用し、散布後軽く散水すること。なお、本剤を処理してから効果を発揮するまでに2週間程度期間を要するため、対象害虫の発生前に予防的に散布すること。
- 2) こんにやくに使用する場合には、培土作業をする直前に、株元散布すること。
- 3) 床土混和处理では、薬剤を均一に混和すること。
- 4) 床土混和处理では育苗期間中の苗管理において、過度の乾燥後に灌水するなど薬剤が急激に吸収されるような条件では薬害を生ずる恐れがあるので、十分注意すること。
- 5) キャベツのセル成型育苗トレイに使用する場合は、散布後に軽く散水などを行い本剤が茎葉に残らないようにすること。
- 6) れんこん、せりに使用する場合には、湛水状態を保ち、散布後少なくとも7日間は落水、かけ流しはしないこと。
- 7) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 8) ミツバチ及びマルハナバチ等に対して影響があるので、ミツバチ及びマルハナバチ等の巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
- 9) 間引き菜、つまみ菜に使用しないこと。
- 10) 使用後の空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理すること。
- 11) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けること。
- 12) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、普及指導センター、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

(3) 2.0%チアメトキサム粒剤（アクタラ箱粒剤）

- 1) 移植当日に使用する場合は、育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植え機にかけて移植すること。  
移植1～3日前に使用する場合には、散布後通常の管理を移植日まで行うこと。
- 2) 育苗箱の土壌表面が乾燥していて、苗を田植え機にのせる際、薬剤落下のおそれがある場合は散布後灌水すること。
- 3) 稲苗の葉が濡れている場合は、葉についている露を払い落としてから薬剤を散布し、軽く散水すること。
- 4) 本田が砂質土壌の水田や、漏水田、未熟堆肥多用田の場合は使用をさけること。
- 5) 移植後低温が続く、苗の活着遅延が予測される場合は使用をさけること。また、移植後極端な高温が続くと予測される場合も使用をさけること。
- 6) 使用後の空き袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理すること。
- 7) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けること。

(4) 21.4%チアメトキサム水和剤（アクタラフロアブル）

- 1) 使用前に容器をよく振ってから本剤の所要量を所定量の水にうすめること。
- 2) 使用直前に希釈液を良くかき混ぜてから散布すること。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

- 3) 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節すること。
- 4) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 5) ミツバチ及びマルハナバチ等に対して影響があるので、以下のことに注意すること。
  - ① ミツバチ及びマルハナバチ等の巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
  - ② 養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチ及びマルハナバチ等の危害防止に努めること。
- 6) 本剤の使用にあたっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

(5) 30.0%チアメトキサム水和剤（クルーザーFS30）

- 1) 使用前に容器をよく振ってから塗抹処理に供すること。
- 2) 薬剤を水等で希釈せずに使用すること。
- 3) 薬剤が種子に均一に付着するように処理すること。
- 4) 薬剤を処理した種子を食用など農業以外の分野で利用しないこと。
- 5) 本剤の使用にあたっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 6) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

(6) 25.0%チアメトキサム水和剤（ビートルコップ顆粒水和剤）

- 1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 2) 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態、散布器具及び散布方法に合わせて調節すること。
- 3) 散布液は調製した日に使い切ること。
- 4) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 5) ミツバチ及びマルハナバチ等に対して影響があるので、以下のことに注意すること。
  - ① ミツバチ及びマルハナバチ等の巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
  - ② 養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチ及びマルハナバチ等の危害防止に努めること。
- 6) 本剤の散布液を調製した容器ならびに散布器具は使用后十分に水で洗浄すること。また、洗浄した廃液ならびにやむを得ず使い残した散布液は、河川などに影響がないように適切に処理すること。
- 7) 使用後の空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理すること。本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けること。
- 8) 本剤をマツノマダラカミキリ防除で用いる場合、次の注意事項を守ること。
  - ① 散布液量は、樹高 10m のまつ 1 本当たり 3L を標準とし、木の大きさにより適宜増減し、樹冠部を中心に全面に散布すること。
  - ② 水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意すること。
  - ③ 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意

し、特に初めて使用する場合は、林業関係機関、林業技術者などの指導を受けること。

(7) 4.0%チアメトキサム液剤（アトラック液剤）

- 1) 必要量を購入し、使い切ること。
- 2) 他剤との混用はさけること。
- 3) 降雨時の使用はさけ、できるだけ朝夕の涼しい時間帯に処理すること。
- 4) 低温下（0℃以下）で保管した場合、沈殿が生じる可能性があるため、よく振ってから使用すること。
- 5) 樹幹の胸高直径が 6cm 未満の小径木、移植後まもない木、空洞や腐朽部がある木、強剪定等で樹勢が弱った木、極端な老齢木への使用はさけること。
- 6) 本剤のさくら・まつ・プラタナス・けやきに対する使用液量は、幹材積 1 m<sup>3</sup> 当り 400mL を標準としているので、矯正木や剪定木、胸高直径が 30cm を超える大径木に使用する場合は、葉量、木の大きさ、枝張り等を勘案して適宜増減すること。
- 7) 本剤のデイゴに対する使用液量は、胸高直径に対する使用液量の範囲内で、矯正や剪定の有無、木の大きさ、枝張り、葉量等を勘案して適宜増減すること。
- 8) 本剤は、ドリル等で斜め下方に孔径4mm～6mm程度の注入孔を開け、薬液が形成層に触れないように注意して注入容器のノズル先端を押し込み樹幹注入すること。  
さくら、まつ、プラタナス、けやき、デイゴに使用する場合は、注入部位は地上高 30cm～1m の樹幹、孔深は 5cm 程度とするが、分枝、剪定枝、節、瘤等の直下からの注入は薬液の分散が悪くなるのでさけること。  
ヤシに使用する場合は、注入部位は地上高 50cm～1m の樹幹、孔深は 10～20cm とし、注入部位に旧葉柄等が付着している際は取り除いてから樹幹注入すること。
- 9) 本剤を加圧注入する場合は、専用の注入容器を用いること。
- 10) 注入孔が複数となる場合は、樹幹の周辺に等間隔に分散させること。
- 11) 対象木が二股以上に分かれている場合、それぞれを 1 本の木とみなして所定量を処理すること。
- 12) 注入が終了した孔は、雨水や雑菌等の浸入およびヤニ流出を防ぐため、癒合剤や木栓等で充填して適切に処置すること。
- 13) さくらに使用する場合は、以下の項目を守ること。
  - ① アメリカシロヒトリ幼虫発生前～幼虫発生期に時期を失しないように処理すること。
  - ② 落花直後や展葉初期には薬液が分散しにくいので、葉が十分に展開してから処理すること。
  - ③ 花・葉・果実等を食用とするさくらには使用しないこと。
  - ④ 個体や品種によって葉変色や落葉の時期が通常よりも早くなることがあるので、当該木に連続して使用しないこと。
- 14) まつのマツカレハ防除に使用する場合は、幼虫発生前～幼虫発生期に時期を失しないように処理すること。
- 15) けやきのアメリカシロヒトリ防除に使用する場合は、幼虫発生前～幼虫発生期に時期を失しないように処理すること。
- 16) ヤシに使用する場合は、以下の項目を守ること。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

- ① ヤシオオオサゾウムシ幼虫発生期に時期を失ないように処理すること。
- ② 本剤の使用液量は、樹冠部の葉量に応じて、幹材積 1m<sup>3</sup> 当り 400～600ml の範囲内で適宜増減すること。
- 17) デイゴのデイゴヒメコバチ防除に使用する場合、成虫発生前又は虫えい形成期に時期を失ないように処理すること。
- 18) ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにすること。
- 19) 本剤は自動車、壁等の塗装面、大理石や御影石等に薬液が付着すると変色する恐れがあるので、こぼさないように注意すること。
- 20) 本剤を河川、湖沼、海域および養魚池に廃棄しないこと。
- 21) 空容器等は必ず回収し、環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 22) 本剤の使用に当たっては使用液量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、林業関係機関、林業技術者、病害虫防除所等関係機関などの指導を受けることが望ましい。

(8) 0.005%チアメトキサム液剤 (アクタラ AL)

- 1) 日中、高温時、強風時、降雨前の使用は避けること。
- 2) 飲食物、自動車、家具等にかからないようにすること。
- 3) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にかからないようにすること。
- 4) ミツバチ、マルハナバチに対して強い影響があるので、ミツバチ、マルハナバチにかかることがないように注意し、朝夕の涼しい時間帯に使用すること。
- 5) 容器の洗浄水及び残りの薬液は河川等に流さず、空の容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 6) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。

(9) 48.0%チアメトキサム水和剤 (クルーザー48)

- 1) 使用量に合わせ秤量し、使い切ること。
- 2) 使用前に容器をよく振ってから塗沫処理に供すること。
- 3) 薬剤を水等で希釈せずに使用すること。
- 4) 薬剤が種子に均一に付着するように処理すること。
- 5) 薬剤を処理した種子を食用など農業以外の分野で利用しないこと。
- 6) 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理すること。
- 7) 本剤の使用にあたっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

3. 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

(1) 10.0%チアメトキサム水溶剤（アクタラ顆粒水溶剤）

この登録に係る使用方法では該当がない。

(2) 0.5%チアメトキサム粒剤（アクタラ粒剤5）

水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養殖池等周辺での使用は避けること。

(3) 2.0%チアメトキサム粒剤（アクタラ箱粒剤）

(4) 21.4%チアメトキサム水和剤（アクタラフロアブル）

(5) 30.0%チアメトキサム水和剤（クルーザーFS30）

(6) 25.0%チアメトキサム水和剤（ビートルコップ顆粒水和剤）

(7) 4.0%チアメトキサム液剤（アトラック液剤）

(8) 0.005%チアメトキサム液剤（アクタラAL）

(9) 48.0%チアメトキサム水和剤（クルーザー48）

この登録に係る使用方法では該当がない。



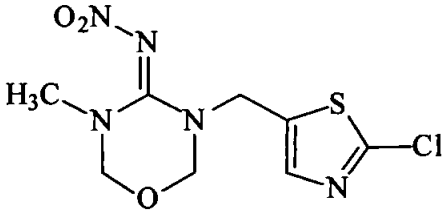
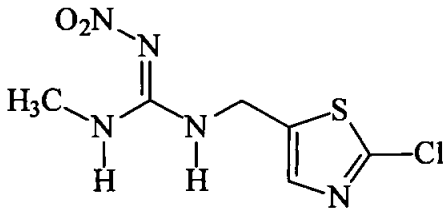
## V. 残留性及び環境中予測濃度算定関係

### 1. 作物残留性試験

#### (1) 分析法の原理および操作概要

含水アセトンで抽出後、多孔性ケイソウ土カラムおよび陽イオン交換ミニカラム等で精製し、高速液体クロマトグラフ（UV 検出器）または高速液体クロマトグラフ/質量分析計（LC/MS/MS）で定量する。

#### (2) 分析対象の化合物

分析対象 化合物	化合物名	分子式	分子量	代謝経路図 上での記号	親化合物へ の換算係数
CGA293343	3-(2-クロロ-1, 3-チアゾール-5-イルメチル)-5-メチル-1, 3, 5-オキサジアゼパン-4-イルテン(ニトロ)アミン	$C_8H_{10}ClN_5O_3S$	291.7	[A]	-
(チアメトキサム) [A]					
[B]	<i>N</i> -(2-クロロ-チアゾール-5-イルメチル)- <i>N'</i> -メチル- <i>N''</i> -ニトロ-グアニジン	$C_6H_8ClN_5O_2S$	249.7	[B]	1.17
					

(3) 残留試験結果

[親化合物：チアメトキサム[A] および代謝物： [B]]

(定量限界未満の分析値の場合、定量限界として合計を算出した)

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年 度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)							
						(財) 残留農業研究所				北興化学工業(株)			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-1	水稻 (露地移植) [玄米] 1998年	粒剤(2%) 50g/育苗箱 育苗箱処理 (移植当日)	日植防 (高知)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				1	125	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			広島 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				1	146	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			日植防 (高知)	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
				1	125	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
	広島 植防	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04		
		1	146	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04		
	水稻 (露地移植) [玄米] 1998年	粒剤(2%) 50g/育苗箱 育苗箱処理 (移植当日) 1回粒剤(0.5%) 1.5kg/10a 散布1回	日植防 (高知)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	20	0.027	0.027	0.029	0.029	0.026	0.026	0.030	0.029
			広島 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	21	0.024	0.024	0.011	0.011	0.021	0.020	0.009	0.008
	水稻 (露地移植) [稲わら] 1998年	顆粒水溶剤(10%) 2000倍 150L/10a 散布1回	日植防 (高知)	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
				3	20	0.06	0.06	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			広島 植防	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
				3	21	0.08	0.08	<0.02	<0.02	0.07	0.07	<0.04	<0.04
	水稻 (露地移植) [玄米] 1998年	粒剤(2%) 50g/育苗箱 育苗箱処理 (移植当日) 1回	日植防 (高知)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	6	0.052	0.052	0.063	0.063	0.057	0.056	0.069	0.068
				3	13	0.078	0.077	0.079	0.078	0.080	0.078	0.078	0.077
			広島 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	7	0.031	0.030	0.022	0.022	0.046	0.045	0.025	0.025
				3	14	0.021	0.021	0.022	0.022	0.020	0.019	0.020	0.020
			日植防 (高知)	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
				3	6	0.28	0.27	0.04	0.04	0.21	0.20	<0.04	<0.04
3				13	0.17	0.16	0.02	0.02	0.15	0.15	<0.04	<0.04	
広島 植防			0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	
			3	7	0.19	0.18	<0.02	<0.02	0.29	0.28	<0.04	<0.04	
			3	14	0.08	0.07	<0.02	<0.02	0.09	0.08	<0.04	<0.04	
水稻 (露地移植) [稲わら] 1998年	顆粒水溶剤(10%) 2000倍 150L/10a 散布2回	日植防 (高知)	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	
			3	20	0.10	0.10	<0.02	<0.02	0.07	0.06	<0.04	<0.04	
			3	21	0.09	0.08	<0.02	<0.02	0.10	0.10	<0.04	<0.04	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)								
						(財) 残留農薬研究所				(株) 化学分析コンサルタント				
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]		
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
CR- 33	水稻 (露地移植) [玄米] 2002年	粒剤 (2%) 50g/育苗箱 育苗箱処理 1回 (移植当日)	新潟 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				4	7	0.065	0.065	0.029	0.028	0.069	0.067	0.026	0.026	
				4	14	0.102	0.100	0.063	0.062	0.095	0.092	0.056	0.055	
				4	21	0.045	0.045	0.054	0.054	0.037	0.036	0.045	0.044	
			大分 肥料 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				4	7	0.085	0.085	0.037	0.036	0.073	0.072	0.034	0.033	
				4	14	0.096	0.094	0.040	0.040	0.072	0.071	0.046	0.046	
				4	21	0.071	0.070	0.046	0.046	0.064	0.064	0.030	0.030	
	水稻 (露地移植) [稲わら] 2002年	粒剤(0.5%) 6kg/10a 湛水処理 1回 (穂揃時)  フロアブル (21.6%) 5000倍 150L/10a 散布 2回	新潟 植防	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
				4	7	1.34	1.33	0.06	0.06	1.87	1.84	0.07	0.07	
				4	14	1.52	1.48	0.06	0.06	1.49	1.44	0.06	0.06	
				4	21	0.53	0.50	0.04	0.04	0.33	0.31	0.03	0.03	
			大分 肥料 植防	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
				4	7	0.97	0.94	0.04	0.04	0.57	0.56	0.03	0.02	
				4	14	0.34	0.33	0.03	0.02	0.63	0.61	0.04	0.04	
				4	21	0.27	0.26	0.02	0.02	0.20	0.20	<0.02	<0.02	

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)								
						(財)日本食品分析センター				(株)化学分析コンサルタント				
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]		
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
CR-86	水稻 (露地移植) [玄米] 2007年	粒剤(8%) 50g/育苗箱 育苗箱処理 (移植当日)	岩手 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				1	134	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			福井 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				1	122	<0.005	<0.005	0.008	0.008	<0.005	<0.005	0.008	0.008	
			岩手 植防	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
				1	134	0.03	0.03	<0.02	<0.02	0.04	0.04	<0.02	<0.02	
	福井 植防	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02		
		1	122	0.06	0.06	<0.02	<0.02	0.06	0.06	<0.02	<0.02			
	水稻 (露地移植) [玄米] 2007年	粒剤(8%) 50g/育苗箱 育苗箱処理 (移植当日) 1回	岩手 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				4	7	0.077	0.076	0.034	0.034	0.085	0.085	0.046	0.046	
				4	14	0.096	0.096	0.047	0.046	0.075	0.074	0.040	0.040	
				4	21	0.071	0.069	0.052	0.052	0.062	0.062	0.046	0.046	
				4	28	0.083	0.083	0.065	0.064	0.072	0.071	0.058	0.057	
				4	28	0.083	0.083	0.065	0.064	0.072	0.071	0.058	0.057	
			福井 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				4	7	0.087	0.086	0.050	0.050	0.085	0.084	0.055	0.055	
				4	14	0.029	0.028	0.044	0.044	0.028	0.027	0.050	0.048	
				4	21	0.026	0.026	0.050	0.049	0.029	0.028	0.051	0.050	
				4	28	0.044	0.044	0.074	0.072	0.049	0.048	0.076	0.076	
				4	28	0.044	0.044	0.074	0.072	0.049	0.048	0.076	0.076	
	水稻 (露地移植) [稲わら] 2007年	粒剤(0.5%) 6kg/10a 散布 1回	岩手 植防	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
				4	7	2.40	2.36	0.08	0.08	3.08	2.98	0.11	0.11	
				4	14	0.46	0.44	0.02	0.02	0.48	0.46	0.03	0.03	
				4	21	0.11	0.10	<0.02	<0.02	0.13	0.13	<0.02	<0.02	
4			28	0.10	0.10	<0.02	<0.02	0.11	0.10	<0.02	<0.02			
4			28	0.10	0.10	<0.02	<0.02	0.11	0.10	<0.02	<0.02			
福井 植防	7077 <sup>※</sup> (6.5%) 1000倍 150L/10a 散布 2回	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02			
		4	7	0.38	0.38	0.03	0.03	1.13	1.10	0.08	0.08			
		4	14	0.14	0.14	0.02	0.02	0.13	0.13	0.02	0.02			
		4	21	0.12	0.12	<0.02	<0.02	0.12	0.12	0.02	0.02			
4	28	0.11	0.11	<0.02	<0.02	0.11	0.11	0.02	0.02					

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)								
						(財)日本食品分析センター				(株)化学分析コンサルタント				
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]		
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
CR-87	水稲 (露地移植) [玄米] 2006年	粒剤(8%) 50g/育苗箱 育苗箱処理 (移植当日) 1回	岩手 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				4	7	0.066	0.066	0.014	0.014	0.047	0.047	0.012	0.012	
				4	14	0.074	0.073	0.019	0.019	0.047	0.046	0.014	0.014	
				4	21	0.042	0.040	0.017	0.016	0.043	0.041	0.018	0.018	
			福井 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				4	7	0.061	0.060	0.025	0.024	0.050	0.050	0.024	0.023	
				4	14	0.051	0.048	0.025	0.024	0.056	0.055	0.031	0.030	
				4	21	0.059	0.058	0.049	0.048	0.069	0.068	0.054	0.054	
	水稲 (露地移植) [稲わら] 2006年	7077 <sup>®</sup> N (6.5%) 8倍 800mL/10a 無人ヘリコプター散布 2回	岩手 植防	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
				4	7	0.57	0.56	0.02	0.02	0.51	0.49	0.03	0.03	
				4	14	0.28	0.28	<0.02	<0.02	0.35	0.35	0.02	0.02	
				4	21	0.16	0.16	<0.02	<0.02	0.24	0.24	0.02	0.02	
			福井 植防	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
				4	7	1.80	1.78	0.07	0.06	2.89	2.83	0.08	0.08	
				4	14	0.27	0.26	0.02	0.02	0.94	0.94	0.06	0.06	
				4	21	0.18	0.18	0.03	0.03	0.12	0.12	<0.02	<0.02	
目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)								
						(財)日本食品分析センター				シンジェンタジャパン(株)				
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]		
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
	CR-87	水稲 (露地移植) [玄米] 2007年	粒剤(8%) 育苗箱処理1回 粒剤(0.5%) 6kg/10a散布1回	宮城 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
					4	7	0.034	0.032	0.025	0.024	0.029	0.028	0.023	0.023
					4	14	0.030	0.029	0.022	0.022	0.024	0.024	0.022	0.022
					4	21	0.053	0.052	0.038	0.038	0.047	0.047	0.039	0.038
				宮城 植防	4	28	0.041	0.040	0.034	0.032	0.036	0.036	0.034	0.034
					0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
					4	7	0.12	0.12	<0.02	<0.02	0.09	0.08	<0.02	<0.02
					4	14	0.08	0.08	<0.02	<0.02	0.06	0.06	<0.02	<0.02
		水稲 (露地移植) [稲わら] 2007年	7077 <sup>®</sup> N (6.5%) 8倍 800~960mL/10a 散布2回	宮城 植防	4	21	0.12	0.12	<0.02	<0.02	0.11	0.11	<0.02	<0.02
					4	28	0.08	0.08	<0.02	<0.02	0.06	0.06	<0.02	<0.02

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剂 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分 析 結 果 (ppm)							
						(財)日本食品分析センター				(株)化学分析コンサルタント			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-91	水稲 (露地) [玄米] 2008年	粒剤(8%) 50g/箱 育苗箱処理1回  7077N(6.5%) 1000倍 150L/10a 散布 2回	石川県 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004
				3	7	0.041	0.040	0.023	0.022	0.047	0.045	0.031	0.030
				3	14	0.045	0.044	0.028	0.028	0.052	0.050	0.035	0.034
				3	21	0.044	0.044	0.057	0.057	0.052	0.052	0.069	0.068
				3	28	0.053	0.052	0.075	0.074	0.065	0.064	0.089	0.088
				3	35	0.010	0.010	0.019	0.018	0.012	0.012	0.024	0.024
				3	42	0.011	0.010	0.022	0.022	0.013	0.013	0.030	0.029
			高知県 日植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004
				3	7	0.061	0.060	0.024	0.024	0.067	0.064	0.028	0.027
				3	14	0.051	0.050	0.025	0.024	0.058	0.056	0.029	0.029
				3	21	0.101	0.100	0.068	0.067	0.077	0.076	0.065	0.063
				3	28	0.097	0.094	0.068	0.067	0.094	0.092	0.070	0.068
				3	35	0.034	0.034	0.044	0.044	0.033	0.033	0.044	0.044
				3	42	0.034	0.034	0.043	0.043	0.038	0.036	0.046	0.046
CR-91	水稲 (露地) [稲わら] 2008年	粒剤(8%) 50g/箱 育苗箱処理1回  7077N(6.5%) 1000倍 150L/10a 散布 2回	石川県 植防	0	—					<0.02	<0.02	<0.016	<0.016
				3	7					0.31	0.31	0.030	0.030
				3	14					0.23	0.22	0.021	0.021
				3	21					0.13	0.13	0.020	0.020
				3	28					0.09	0.08	<0.016	<0.016
				3	35					0.04	0.04	<0.016	<0.016
				3	42					0.04	0.04	<0.016	<0.016
			高知県 日植防	0	—					<0.02	<0.02	<0.016	<0.016
				3	7					0.22	0.22	<0.016	<0.016
				3	14					0.09	0.08	<0.016	<0.016
				3	21					0.06	0.06	<0.016	<0.016
				3	28					0.04	0.04	<0.016	<0.016
				3	35					<0.02	<0.02	<0.016	<0.016
				3	42					<0.02	<0.02	<0.016	<0.016

目録 No	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分 析 結 果 (ppm)							
						(財)日本食品分析センター				(株)化学分析コンサルタント			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-92	水稲 (露地) [玄米] 2008年	粒剤(8%) 50g/箱 育苗箱処理1回 7077 <sup>®</sup> (6.5%) 8倍 800mL/10a 散布 2回	鹿児島 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004
				3	7	0.134	0.132	0.024	0.024	0.131	0.131	0.024	0.024
				3	14	0.067	0.067	0.016	0.016	0.041	0.040	0.011	0.010
				3	21	0.047	0.046	0.033	0.033	0.029	0.028	0.018	0.018
				3	28	0.046	0.046	0.036	0.036	0.053	0.052	0.039	0.038
				3	35	0.015	0.014	0.016	0.016	0.015	0.015	0.015	0.014
				3	42	0.021	0.021	0.019	0.018	0.023	0.022	0.021	0.020
			福井 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004
				3	7	0.054	0.053	0.021	0.020	0.058	0.058	0.023	0.022
				3	14	0.048	0.048	0.023	0.022	0.042	0.042	0.021	0.020
				3	21	0.056	0.056	0.043	0.042	0.053	0.052	0.044	0.044
				3	28	0.049	0.048	0.040	0.040	0.057	0.054	0.046	0.046
				3	35	0.024	0.024	0.033	0.032	0.027	0.027	0.039	0.038
				3	42	0.022	0.022	0.031	0.030	0.027	0.026	0.037	0.037
CR-92	水稲 (露地) [稲わら] 2008年	粒剤(8%) 50g/箱 育苗箱処理1回 7077 <sup>®</sup> (6.5%) 8倍 800mL/10a 散布 2回	鹿児島 植防	0	—	/	/	/	/	<0.02	<0.02	<0.016	<0.016
				3	7	/	/	/	/	2.85	2.72	0.148	0.142
				3	14	/	/	/	/	0.95	0.94	0.061	0.061
				3	21	/	/	/	/	0.03	0.03	<0.016	<0.016
				3	28	/	/	/	/	0.03	0.03	<0.016	<0.016
				3	35	/	/	/	/	<0.02	<0.02	<0.016	<0.016
				3	42	/	/	/	/	<0.02	<0.02	<0.016	<0.016
			福井 植防	0	—	/	/	/	/	<0.02	<0.02	0.068	0.068
				3	7	/	/	/	/	0.56	0.55	0.050	0.050
				3	14	/	/	/	/	0.67	0.66	0.035	0.034
				3	21	/	/	/	/	0.32	0.31	0.046	0.044
				3	28	/	/	/	/	0.16	0.16	0.022	0.021
				3	35	/	/	/	/	0.09	0.08	0.046	0.045
				3	42	/	/	/	/	0.12	0.12	0.029	0.028
目録 No	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分 析 結 果 (ppm)							
						(財)残留農業研究所				(株)化学分析コンサルタント			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-51	未成熟 とうもろこし (露地) [生食用子実] 2004年	顆粒水溶剤(10%) 2000倍 200L/10a(北海道) 300L/10a(長野) 散布	植防協会 (北海道)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	42	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			植防協会 (長野)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	42	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数または使用 量使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)										
						-				シンジェンタジャパン(株)						
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]				
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値			
CR-93	とうもろこし (露地) [乾燥子実] 2009年	7077* (30%) 6mL/kg (種子) 塗沫処理 1回	北海道 植防	0	-	/	/	/	/	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004			
				1	126	/	/	/	/	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004			
			日植防研 (成東)	0	-	/	/	/	/	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004			
				1	131	/	/	/	/	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004			
CR-94	未成熟 とうもろこし (露地) [子実] 2009年	7077* (30%) 6mL/kg (種子) 塗沫処理 1回	北海道 植防	0	-	/	/	/	/	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004			
				1	101	/	/	/	/	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004			
			日植防研 (成東)	0	-	/	/	/	/	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004			
				1	83	/	/	/	/	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004			
CR-95	飼料用 とうもろこし (露地) [青刈り] 2010年	7077* (30%) 6mL/kg (種子) 塗沫処理 1回	日植防研 (成東)	0	-	/	/	/	/	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004			
				1	85	/	/	/	/	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004			
			福井 植防	0	-	/	/	/	/	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004			
				1	98	/	/	/	/	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004			
目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数または使用 量使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)										
						(財) 残留農業研究所				シンジェンタジャパン(株)						
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]				
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値			
CR-41	大豆 (露地) [乾燥子実] 2003年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 150L/10a (北海道) 300L/10a (新潟) 散布	北海道 中央 農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
				2	6	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
				2	13	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
				2	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
			新潟 植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
				2	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
				2	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
				2	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
		北海道 中央 農試	7077* (35%) 12mL/kg (種子) 塗沫処理 1回	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 2回 150L/10a (北海道) 300L/10a (新潟) 散布 2回	北海道 中央 農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
						4	6	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
						4	13	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
						4	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			新潟 植防	7077* (35%) 12mL/kg (種子) 塗沫処理 1回	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 2回 150L/10a (北海道) 300L/10a (新潟) 散布 2回	新潟 植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
							4	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
							4	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
							4	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005



目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)										
						(財) 残留農業研究所				シンジェンタジャパン(株)						
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]				
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値			
CR-79	小豆 (露地) [乾燥子実] 2006年	7077 <sup>h</sup> (30%) 6mL/kg (種子) 塗沫処理 1回  顆粒水溶剤 (10%) 3000倍 150L/10a (北海道) 300L/10a (長野) 散布 2回	北海道 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
				1	126	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
				3	1	0.010	0.010	<0.005	<0.005	0.010	0.010	<0.005	<0.005			
				3	7	0.009	0.008	<0.005	<0.005	0.011	0.010	<0.005	<0.005			
			長野 植防	3	14	0.013	0.013	0.008	0.008	0.015	0.014	0.009	0.008			
				0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
				1	143	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
				3	1	0.012	0.012	0.009	0.009	0.013	0.012	0.010	0.010			
			3	7	0.023	0.022	0.018	0.018	0.013	0.013	0.019	0.018				
			3	14	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.009	0.008				
CR-25	いんげん (露地) [乾燥子実] 2001年	顆粒水溶剤 (10%) 3000倍 300L/10a 散布	北海道 中央 農試	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
				3	3	0.015	0.014	0.046	0.045	0.005	0.005	0.055	0.054			
				3	7	0.009	0.008	0.043	0.042	<0.005	<0.005	0.050	0.049			
				3	14	0.013	0.012	0.040	0.040	<0.005	<0.005	0.038	0.038			
			長野 農事 試験場	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
				3	3	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.007	0.006	<0.005	<0.005			
				3	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
				3	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
			CR-62	いんげん (露地) [乾燥子実] 2005年	7077 <sup>h</sup> (35%) 12mL/kg (種子) (播種前) 塗沫処理 1回  粒剤 (0.5%) 6kg/10a 作条処理 1回 (播種時)  顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 200L/10a (北海道) 175-200L/10a (新潟) 散布 3回	植防協会 (北海道)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01				
							5	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01				
							5	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01				
							5	21	<0.01	<0.01	0.01	0.01				
植防協会 (新潟)	0	—				<0.01	<0.01	<0.01	<0.01							
	5	7				<0.01	<0.01	<0.01	<0.01							
	5	14				<0.01	<0.01	<0.01	<0.01							
	5	21				<0.01	<0.01	<0.01	<0.01							

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)								
						(財)残留農業研究所				(株)トモテグ				
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]		
最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値							
CR-4	ばれいしょ (露地) [塊茎] 1998年	粒剤 (0.5%) 9kg/10a 作条土壤混和 処理 1回 (植付時)  顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 200L/10a 散布 3回	日植防 (牛久)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				4	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				4	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				4	28	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			兵庫 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				4	14	0.095	0.094	0.020	0.020	0.059	0.059	0.011	0.011	
				4	21	0.070	0.068	0.014	0.014	0.102	0.100	0.013	0.013	
				4	28	0.040	0.040	0.013	0.012	0.033	0.032	0.006	0.006	
CR-66	ばれいしょ (露地) [塊茎] 2005年	粒剤 (0.5%) 6kg/10a 作条土壤混和 処理 1回 (植付時)  顆粒水溶剤 (10%) 750倍 25L/10a 散布 3回	福島 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
				4	14	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	
				4	21	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	
				4	28	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	
			日植防 (牛久)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				4	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
				4	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
				4	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)							
						(財) 残留農薬研究所				シンジェンタ(株)			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-35	さといも (露地) [塊茎] 2003年	粒剤 (0.5%) 6kg/10a 株元散布 (生育期)	日植防 (牛久)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	30	0.15	0.14	<0.01	<0.01	0.111	0.110	<0.005	<0.005
				2	37	0.06	0.06	<0.01	<0.01	0.053	0.051	<0.005	<0.005
				2	45	0.10	0.10	<0.01	<0.01	0.084	0.083	<0.005	<0.005
			日植防 (宮崎)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	30	0.03	0.03	<0.01	<0.01	0.041	0.039	<0.005	<0.005
				2	37	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.029	0.026	<0.005	<0.005
				2	45	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.011	0.010	<0.005	<0.005
		顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 250L/10a 散布	日植防 (牛久)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	7	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.023	0.022	<0.005	<0.005
				2	14	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.022	0.022	<0.005	<0.005
				2	21	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.017	0.016	<0.005	<0.005
			日植防 (宮崎)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.007	0.006	<0.005	<0.005
				2	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		粒剤 (0.5%) 6kg/10a 植溝処理 1回 (植付時)	日植防 (牛久)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	7	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.039	0.038	<0.005	<0.005
				3	14	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.025	0.024	<0.005	<0.005
				3	21	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.030	0.030	<0.005	<0.005
			日植防 (宮崎)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
3	7			<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.007	0.007	<0.005	<0.005		
3	14			<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
3	21			<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.007	0.006	<0.005	<0.005		
CR-5	かんしょ (露地) [塊根] 1998年	粒剤 (0.5%) 9kg/10a 作条土壌混和 処理 (植付時)	日植防 (高知)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				1	112	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			大分 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				1	117	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		粒剤 (0.5%) 9kg/10a 作条土壌混和 処理 1回 (植付時)	日植防 (高知)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	21	0.012	0.012	<0.005	<0.005	0.011	0.010	<0.005	<0.005
				3	28	0.008	0.008	<0.005	<0.005	0.009	0.008	<0.005	<0.005
			3	42	0.008	0.008	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
		6kg/10a 株元茎葉散布 (生育期) 2回	大分 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	28	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.006	0.006	<0.005	<0.005
				3	42	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)								
						(財) 残留農業研究所				(株)化学分析コンソリウム				
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]		
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
CR-90	やまのいも (露地) [塊茎] 2007年	粒剤 (0.5%) 6kg/10a 株元処理 1回 (生育期(萌芽期))	北海道 農試	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				4	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				4	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				4	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
		青森県 農総研	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			4	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			4	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			4	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
CR-77	こんにゃくいも (露地) [塊茎] (泥を水で軽く 洗い落とす) 2004年	粒剤(0.5%) 6kg/10a 株元土壌 混和 (培土時)	福島 農業 試験場	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
				1	132	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				1	139	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				1	146	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			群馬県農 業技術 センター	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				1	145	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				1	152	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				1	159	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01
目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)								
						(財) 残留農業研究所				ハルティスアグロ(株)				
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]		
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
CR-22	てんさい (露地) [根部] 2000年	顆粒水溶剤 (10%) 50倍 1L/冊 灌注処理 (定植直前)	北海道 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				1	150	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				1	157	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				1	164	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			北海道 植防 (音更)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				1	156	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				1	163	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				1	170	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)								
						-				シンジェンタジャパン(株)				
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]		
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
CR-97	てんさい (露地) [根部] 2009年	7077L (22.61%) 8mL/100000粒 (種子) 塗沫処理 1回	北海道 植防 (有明)	0	—	/	/	/	/	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004	
				1	208	/	/	/	/	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004	
			北海道 植防 (北糖)	0	—	/	/	/	/	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004	
				1	188	/	/	/	/	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004	
目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)								
						(財) 残留農業研究所				(株)化学分析コンソリウム				
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]		
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
CR-99	てんさい (露地) [根部] 2009年	顆粒水溶剤 (10%) 50倍、1L/冊 灌注処理 (定植前)	北海道 植防 (有明)	0	—	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004	
				4	7	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004	
				4	14	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004	
				4	21	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004	
		北海道 植防 (北糖)	0	—	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004		
			4	7	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004		
			4	14	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004		
			4	21	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004		

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)								
						(財) 残留農業研究所				(株) 化学分析コンサルタント				
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]		
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
CR-47	だいこん (露地) [葉部] 2002年	水和剤 (70%) 4.3g/1000 種子 種子粉衣	和歌山 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				1	66	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.009	0.009	<0.005	<0.005	
				1	73	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.006	0.006	<0.005	<0.005	
				1	80	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			日植防 (宮崎)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				1	66	0.008	0.008	<0.005	<0.005	0.006	0.006	<0.005	<0.005	
				1	73	0.013	0.012	0.006	0.006	0.012	0.012	0.006	0.006	
				1	80	0.010	0.010	<0.005	<0.005	0.010	0.009	<0.005	<0.005	
		水和剤 (70%) 4.3g/1000 種子 種子粉衣 1回 粒剤 (0.5%) 6kg/10a 作条処理 1回 (播種時)  顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 150L/10a 散布 2回	和歌山 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				4	7	1.33	1.30	0.254	0.254	1.33	1.32	0.204	0.204	
				4	14	0.630	0.629	0.189	0.188	0.708	0.696	0.204	0.202	
				4	21	0.233	0.228	0.110	0.108	0.222	0.212	0.094	0.090	
			日植防 (宮崎)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				4	7	0.251	0.247	0.138	0.137	0.208	0.207	0.108	0.106	
4	14			0.154	0.149	0.075	0.074	0.167	0.166	0.078	0.074			
4	21			0.126	0.124	0.061	0.061	0.111	0.108	0.052	0.052			
CR-47	だいこん (露地) [根部] 2002年	水和剤 (70%) 4.3g/1000 種子 種子粉衣	和歌山 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				1	66	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.007	0.006	<0.005	<0.005	
				1	73	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				1	80	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			日植防 (宮崎)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				1	66	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				1	73	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				1	80	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
		水和剤 (70%) 4.3g/1000 種子 種子粉衣 1回 粒剤 (0.5%) 6kg/10a 作条処理 1回 (播種時)  顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 150L/10a 散布 2回	和歌山 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				4	7	0.008	0.008	<0.005	<0.005	0.011	0.010	<0.005	<0.005	
				4	14	0.008	0.008	<0.005	<0.005	0.008	0.008	<0.005	<0.005	
				4	21	0.011	0.011	<0.005	<0.005	0.007	0.007	<0.005	<0.005	
			日植防 (宮崎)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				4	7	0.031	0.028	<0.005	<0.005	0.024	0.022	<0.005	<0.005	
4	14			0.025	0.024	<0.005	<0.005	0.019	0.018	<0.005	<0.005			
4	21			0.014	0.012	<0.005	<0.005	0.021	0.021	<0.005	<0.005			

目録No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数または使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過 日数	分析結果 (ppm)									
						(財) 残留農業研究所				(株) 化学分析コンサルタント					
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値		
CR-48	だいこん (露地) [葉部] 2004年	水和剤 (70%) 2.86g/1000 種子 種子粉衣 1回 粒剤 (0.5%) 6kg/10a 播溝処理 1回	日植防 (牛久)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
				4	7	0.159	0.154	0.052	0.050	0.358	0.358	0.137	0.136		
				4	14	0.036	0.034	0.012	0.012	0.039	0.038	0.020	0.020		
				4	21	0.007	0.006	<0.005	<0.005	0.014	0.014	<0.005	<0.005		
			4	28	0.006	0.006	<0.005	<0.005	0.026	0.025	<0.005	<0.005			
			石川 植防 協会	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
				4	7	0.309	0.308	0.075	0.074	0.389	0.378	0.124	0.122		
				4	14	0.009	0.009	<0.005	<0.005	0.039	0.038	<0.005	<0.005		
	4	21		0.014	0.014	<0.005	<0.005	0.015	0.014	0.005	0.005				
	4	28	0.070	0.070	0.033	0.030	0.077	0.074	0.034	0.034					
	だいこん (露地) [根部] 2004年	水和剤 (70%) 2.86g/1000 種子 種子粉衣 1回 粒剤 (0.5%) 6kg/10a 播溝処理 1回 顆粒水溶剤 (10%) 2000 倍 150L/10a 散布 2回	日植防 (牛久)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
				4	7	0.011	0.011	<0.005	<0.005	0.015	0.015	<0.005	<0.005		
				4	14	0.009	0.008	<0.005	<0.005	0.010	0.010	<0.005	<0.005		
				4	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	0.005	<0.005	<0.005		
			4	28	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	0.005	<0.005	<0.005			
			石川 植防 協会	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
4				7	0.010	0.010	<0.005	<0.005	0.011	0.010	<0.005	<0.005			
4				14	0.005	0.005	<0.005	<0.005	0.006	0.006	<0.005	<0.005			
4	21	0.008		0.008	<0.005	<0.005	0.007	0.007	<0.005	<0.005					
4	28	0.008	0.008	<0.005	<0.005	0.008	0.008	<0.005	<0.005						
目録No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数または使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過 日数	分析結果 (ppm)									
						チアメトキサム[A]				[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値		

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)								
						(財) 残留農業研究所				シンジェンタジャパン(株)				
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]		
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
CR-28	はくさい (露地) [茎葉] 2001年	粒剤 (0.5%) 2g/株 植穴処理 (植付時)	長野 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				1	67	0.012	0.011	<0.005	<0.005	0.016	0.016	<0.005	<0.005	
				1	74	0.013	0.012	<0.005	<0.005	0.015	0.014	<0.005	<0.005	
				1	81	0.013	0.012	<0.005	<0.005	0.016	0.016	<0.005	<0.005	
			日植防 (高知)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				1	48	0.006	0.006	<0.005	<0.005	0.011	0.010	<0.005	<0.005	
				1	55	0.005	0.005	<0.005	<0.005	0.010	0.009	<0.005	<0.005	
				1	62	0.007	0.006	<0.005	<0.005	0.008	0.008	<0.005	<0.005	
		粒剤 (0.5%) 2g/株 植穴処理 1回 (植付時)	長野 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				4	3	0.038	0.038	<0.005	<0.005	0.073	0.072	0.007	0.007	
				4	7	0.033	0.032	<0.005	<0.005	0.021	0.021	<0.005	<0.005	
				4	14	0.022	0.022	<0.005	<0.005	0.019	0.018	<0.005	<0.005	
		顆粒水溶剤 (10%) 3000倍 200L/10a(長野) 120~200L/10a (高知) 散布 3回	日植防 (高知)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				4	3	0.338	0.336	0.021	0.020	0.355	0.354	0.020	0.020	
				4	7	0.062	0.060	0.007	0.006	0.079	0.078	0.009	0.009	
				4	14	0.044	0.042	0.009	0.008	0.040	0.038	0.010	0.010	
			4	21	0.030	0.029	0.006	0.006	0.035	0.032	0.007	0.007		
CR-14	キャベツ (露地) [葉球] 2000年	粒剤 (0.5%) 2g/株 植穴処理 1回 (植付時)  顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 200L/10a 散布 3回	日植防 (牛久)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				4	3	0.245	0.239	0.008	0.008	0.311	0.310	0.030	0.028	
				4	7	0.109	0.108	<0.005	<0.005	0.208	0.208	0.022	0.022	
				4	14	0.127	0.127	0.007	0.006	0.162	0.162	0.012	0.012	
			岐阜 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				4	3	0.080	0.078	<0.005	<0.005	0.031	0.031	<0.005	<0.005	
				4	7	0.038	0.038	<0.005	<0.005	0.029	0.029	<0.005	<0.005	
				4	14	0.032	0.032	<0.005	<0.005	0.018	0.017	<0.005	<0.005	

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)							
						(財) 残留農業研究所				シンジェンタジャパン(株)			
						チアメトキサム[A]		CGA322704[B]		チアメトキサム[A]		CGA322704[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-36	こまつな (施設) [茎葉] 2003年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 200~700L/10a (埼玉) 300L/10a(兵庫) 散布	埼玉 植防	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.005	<0.005	<0.05	<0.05
				2	3	0.93	0.92	0.10	0.10	0.762	0.752	0.097	0.096
				2	7	0.42	0.42	0.06	0.06	0.343	0.340	0.054	0.054
				2	14	0.21	0.20	0.05	0.05	0.174	0.166	0.054	0.052
			兵庫 農林	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.005	<0.005	<0.05	<0.05
				2	3	2.46	2.34	0.33	0.32	1.820	1.780	0.361	0.360
				2	7	0.88	0.87	0.22	0.22	1.020	0.981	0.203	0.200
				2	14	0.21	0.21	0.11	0.11	0.188	0.184	0.114	0.113
		顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 200~700L/10a (埼玉) 300L/10a(兵庫) 散布 2回	埼玉 植防	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.005	<0.005	<0.05	<0.05
				3	3	1.59	1.58	0.14	0.14	1.430	1.300	0.142	0.130
				3	7	0.79	0.78	0.10	0.10	0.675	0.667	0.097	0.096
			兵庫 農林	3	14	0.22	0.22	0.06	0.06	0.274	0.262	0.084	0.082
				0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.005	<0.005	<0.05	<0.05
				3	3	1.70	1.70	0.40	0.40	2.150	2.100	0.357	0.352
3	7	1.62	1.56	0.34	0.34	1.270	1.260	0.293	0.290				
3	14	0.39	0.39	0.14	0.14	0.285	0.270	0.105	0.102				
目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)							
						(財) 残留農業研究所				-			
						チアメトキサム[A]		CGA322704[B]		チアメトキサム[A]		CGA322704[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-55	みずな (露地) [茎葉] 2004年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 300L/10a(滋賀) 185.2L/10(大分) 散布 2回	植防協会 (滋賀)	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	/	/	/	/
				3	3	0.94	0.93	0.08	0.08	/	/	/	/
				3	7	0.35	0.35	0.05	0.05	/	/	/	/
				3	14	0.17	0.16	<0.05	<0.05	/	/	/	/
		植防協会 (大分)	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	/	/	/	/	
			3	3	1.19	1.18	0.18	0.18	/	/	/	/	
			3	7	0.15	0.15	0.05	0.05	/	/	/	/	
			3	14	0.05	0.05	<0.05	<0.05	/	/	/	/	



目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						(財) 残留農業研究所				(株) 化学分析コンサルタント			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-54	フカンサイ (施設) [茎葉] 2004年	粒剤 (0.5%) 15g/1L 培土 床土混和 1回 粒剤 (0.5%) 6kg/10a 作条処理 1回	農研 センター (埼玉)	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
				4	3	0.68	0.67	0.08	0.08	0.79	0.78	0.09	0.09
				4	7	0.38	0.37	0.08	0.08	0.43	0.42	0.09	0.08
				4	14	0.20	0.20	0.06	0.06	0.24	0.24	0.08	0.08
		農技 センター (兵庫)	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			4	3	1.84	1.76	0.20	0.20	2.87	2.82	0.33	0.32	
			4	7	0.98	0.96	0.19	0.19	1.80	1.76	0.31	0.30	
			4	14	0.70	0.68	0.16	0.16	0.62	0.60	0.19	0.18	
目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						(財) 残留農業研究所				シンジェンタジャパン(株)			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-29	ブロッコリー (露地) [花蕾] 2001年	粒剤 (0.5%) 2g/株 植穴処理 (植付時)	北海道 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				1	59	0.011	0.010	<0.005	<0.005	0.010	0.010	<0.005	<0.005
				1	61	0.012	0.012	<0.005	<0.005	0.011	0.011	<0.005	<0.005
				1	65	0.012	0.012	<0.005	<0.005	0.019	0.018	<0.005	<0.005
			長野 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				1	56	0.052	0.052	<0.005	<0.005	0.060	0.060	<0.005	<0.005
				1	58	0.047	0.047	<0.005	<0.005	0.052	0.051	<0.005	<0.005
				1	62	0.036	0.036	<0.005	<0.005	0.037	0.037	<0.005	<0.005
		顆粒水溶剤 (10%) 3000倍 300L/10a 散布 3回	北海道 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				4	1	0.833	0.825	0.082	0.081	0.786	0.785	0.087	0.086
				4	3	0.621	0.608	0.082	0.082	0.504	0.487	0.077	0.074
				4	7	0.337	0.336	0.065	0.065	0.242	0.239	0.058	0.058
			長野 植防	4	14	0.071	0.069	0.014	0.014	0.069	0.068	0.013	0.013
				0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				4	1	0.154	0.152	0.010	0.010	0.367	0.359	0.019	0.019
				4	3	0.089	0.089	0.007	0.006	0.097	0.096	0.007	0.007
4	7	0.160	0.157	0.016	0.016	0.153	0.152	0.014	0.014				
4	14	0.081	0.080	0.010	0.010	0.054	0.052	<0.005	<0.005				

目録No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数または使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過 日数	分析結果 (ppm)													
						(財) 残留農業研究所				(株) 化学分析コンサルタント									
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]							
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値						
CR-81	カリフラワー (露地) [花蕾] 2006年	粒剤 (0.5%) 1g/株 育苗箱処理 1回 (定植直前)  顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 300L/10 散布 3回	日植防 (牛久)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005						
				4	7	0.065	0.064	<0.005	<0.005	0.128	0.128	<0.005	<0.005						
				4	14	0.022	0.022	<0.005	<0.005	0.040	0.040	<0.005	<0.005						
				4	21	0.013	0.012	<0.005	<0.005	0.011	0.011	<0.005	<0.005						
			長野 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005					
				4	7	0.055	0.055	<0.005	<0.005	0.032	0.032	<0.005	<0.005						
				4	14	0.005	0.005	<0.005	<0.005	0.006	0.006	<0.005	<0.005						
				4	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005						
目録No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数または使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過 日数	分析結果 (ppm)													
						(財) 残留農業研究所				I・M・S・P (株)									
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]							
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値						
						CR-24	レタス (施設) [茎葉] 2000年	粒剤 (0.5%) 1g/株 植穴処理 1回 (植付時)  顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 250L/10a (岩手) 300L/10a (長野) 散布 2回	岩手 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
										3	3	0.218	0.217	0.005	0.005	0.432	0.426	0.011	0.011
										3	7	0.306	0.290	0.011	0.010	0.249	0.246	0.010	0.010
										3	14	0.221	0.215	0.015	0.015	0.185	0.184	0.010	0.010
長野 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005				<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005						
	3	3	1.44	1.43	0.035				0.034	1.331	1.300	0.032	0.032						
	3	7	0.630	0.614	0.020				0.020	0.584	0.576	0.021	0.020						
	3	14	0.536	0.534	0.025				0.024	0.247	0.246	0.010	0.010						
目録No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数または使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過 日数	分析結果 (ppm)													
						(財) 日本食品分析センター				(株) 化学分析コンサルタント									
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]							
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値						
						CR-98	レタス (施設) [茎葉] 2011年	水和剤(48%) 原液 1.66mL/1000 種子 は種前塗抹処理  粒剤 (0.5%) 1g/株 株元散布 1回 (育苗後半)  顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 295L/10a (茨城) 208-209L/10a (千葉) 散布 2回	植防 茨城	0	—	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004
										1	125	0.084	0.082	<0.004	<0.004	0.048	0.048	<0.004	<0.004
										4	3	1.43	1.43	0.014	0.014	0.817	0.813	0.018	0.018
										4	7	1.13	1.13	0.015	0.015	0.532	0.524	0.017	0.016
4	14	1.18	1.17	0.018	0.018					0.522	0.514	0.019	0.019						
植防 千葉	0	—	<0.005	<0.005	<0.004				<0.004	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004						
	1	128	0.021	0.021	<0.004				<0.004	0.010	0.010	<0.004	<0.004						
	4	3	1.03	1.01	0.016				0.016	0.135	0.134	<0.004	<0.004						
	4	7	0.907	0.900	0.016				0.016	0.255	0.250	0.007	0.006						
	4	14	0.620	0.618	0.013				0.013	0.177	0.176	0.005	0.005						

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)							
						(財) 残留農業研究所							
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-50	サラダ菜 (施設) [茎葉] 2004年	粒剤 (0.5%) 1g/株	南信 農試 (長野)	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05				
				1	59	0.34	0.34	<0.05	<0.05				
				1	63	0.27	0.26	<0.05	<0.05				
				1	70	0.41	0.40	<0.05	<0.05				
			三重 植防 (三重)	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05				
				1	42	1.27	1.26	<0.05	<0.05				
				1	46	1.37	1.36	<0.05	<0.05				
				1	53	0.65	0.64	<0.05	<0.05				
		粒剤 (0.5%) 1g/株 1回 顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 300L/10a 散布 2回	南信 農試 (長野)	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05				
				3	3	8.01	7.81	0.11	0.10				
				3	7	5.75	5.54	0.10	0.10				
				3	14	3.34	3.23	0.09	0.08				
			三重 植防 (三重)	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05				
				3	3	9.98	9.87	0.09	0.09				
				3	7	8.90	8.63	0.09	0.09				
				3	14	4.15	3.99	0.08	0.08				
CR-49	リーフレタス (露地) [茎葉] 2004年	粒剤 (0.5%) 1g/株 植穴処理 (植付時)	植防協会 (宮城)	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05				
				1	61	0.18	0.18	<0.05	<0.05				
				1	65	0.28	0.28	<0.05	<0.05				
				1	72	0.11	0.11	<0.05	<0.05				
			南信 農試 (長野)	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05				
				1	62	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05				
				1	66	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05				
				1	73	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05				
		粒剤 (0.5%) 1g/株 植穴処理 1回 (植付時)  顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 250, 300L/10a 散布 2回	植防協会 (宮城)	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05				
				3	3	7.37	7.34	0.21	0.20				
				3	7	2.64	2.64	0.10	0.10				
				3	14	1.77	1.70	0.07	0.07				
			南信 農試 (長野)	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05				
				3	3	3.28	3.14	0.07	0.07				
				3	7	1.09	1.09	0.05	0.05				
				3	14	0.41	0.40	<0.05	<0.05				

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)														
						(財) 残留農薬研究所				シンジェンタジャパン(株)										
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]								
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値							
CR-27	ねぎ (露地) [茎葉] 2001年	粒剤 (0.5%) 9kg/10a 作条処理 (植付時)	北海道 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005							
				1	117	0.049	0.049	0.011	0.011	0.094	0.094	0.022	0.022							
				1	124	0.019	0.019	<0.005	<0.005	0.030	0.027	0.008	0.008							
				1	131	0.012	0.012	<0.005	<0.005	0.034	0.034	0.010	0.010							
			三重 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005						
				1	69	0.081	0.078	0.023	0.022	0.064	0.063	0.015	0.015							
				1	77	0.055	0.054	0.014	0.014	0.059	0.058	0.014	0.014							
				1	84	0.020	0.019	0.006	0.006	0.025	0.024	0.005	0.005							
		粒剤 (0.5%) 9kg/10a 作条処理 1回 (植付時)	北海道 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005							
				4	3	0.159	0.158	0.010	0.010	0.575	0.566	0.059	0.059							
				4	7	0.127	0.127	0.025	0.024	0.165	0.163	0.032	0.032							
				4	14	0.086	0.082	0.023	0.022	0.082	0.076	0.015	0.014							
			三重 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005							
				4	3	0.558	0.557	0.078	0.076	0.418	0.412	0.059	0.059							
				4	6	0.247	0.240	0.054	0.052	0.231	0.230	0.047	0.047							
				4	14	0.142	0.140	0.029	0.028	0.186	0.186	0.032	0.032							
4	21	0.075	0.072	0.017	0.016	0.061	0.060	0.011	0.010											
目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)														
						(財) 残留農薬研究所				(株)化学分析コンサメント										
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]								
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値							
						CR-82	にら (施設) [茎葉] 2006, 2007年	粒剤 (0.5%) 6kg/10a 作条処理 1回 (定植時)	福島 植防	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	
										4	1	3.57	3.54	0.22	0.22	2.41	2.40	0.21	0.21	
										4	7	2.11	2.09	0.26	0.26	1.57	1.50	0.25	0.25	
										4	14	0.74	0.74	0.15	0.15	0.64	0.64	0.19	0.19	
										4	21	0.29	0.29	0.09	0.09	0.26	0.24	0.14	0.14	
									群馬 植防 (2006年)	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
										4	1	1.08	1.06	0.46	0.46	0.79	0.78	0.37	0.36	
										4	7	0.72	0.71	0.61	0.59	0.68	0.68	0.54	0.54	
										4	14	0.38	0.38	0.68	0.67	0.25	0.25	0.46	0.46	
									群馬 植防 (2007年)	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 200L/10a(福島) 230L/10a(群馬) 散布 3回	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
											4	1	2.31	2.30	1.17	1.16	1.46	1.46	0.86	0.86
											4	7	0.73	0.70	0.97	0.96	0.65	0.63	0.80	0.80
4	14	0.13	0.12	0.43	0.42						0.17	0.15	0.36	0.35						
4	21	<0.05	<0.05	0.15	0.15						0.08	0.08	0.20	0.20						

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)															
						(財) 残留農業研究所															
						チアメトキサム[A]				[B]				チアメトキサム[A]				[B]			
						最高値		平均値		最高値		平均値		最高値		平均値		最高値		平均値	
CR-63	わけぎ (露地) [茎葉] (外皮および ひげ根を 除去したもの) 2005年	粒剤 (0.5%) 9kg/10a 作条処理 (植付時)	大分 植防	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	/	/	/	/	/	/	/	/				
				1	63	0.05	0.05	<0.05	<0.05	/	/	/	/	/	/	/	/				
				1	70	0.05	0.05	<0.05	<0.05	/	/	/	/	/	/	/	/				
				1	77	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	/	/	/	/	/	/	/	/				
			沖縄 病害虫 防除所	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	/	/	/	/	/	/	/	/	/			
				1	23	0.63	0.61	0.06	0.06	/	/	/	/	/	/	/	/	/			
				1	30	0.32	0.32	<0.05	<0.05	/	/	/	/	/	/	/	/	/			
				1	36	0.16	0.16	<0.05	<0.05	/	/	/	/	/	/	/	/	/			
		大分 植防	粒剤 (0.5%) 9kg/10a 作条処理 1回 (植付時)	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	/	/	/	/	/	/	/	/				
				5	3	1.30	1.28	0.08	0.08	/	/	/	/	/	/	/	/				
				5	7	0.65	0.64	0.06	0.06	/	/	/	/	/	/	/	/				
				5	14	0.25	0.25	<0.05	<0.05	/	/	/	/	/	/	/	/				
沖縄 病害虫 防除所	粒剤 (0.5%) 9kg/10a 株元処理 1回 (土寄時)		0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	/	/	/	/	/	/	/	/					
			5	3	3.96	3.96	0.20	0.20	/	/	/	/	/	/	/	/					
			5	7	2.84	2.83	0.21	0.21	/	/	/	/	/	/	/	/					
			5	14	1.64	1.63	0.14	0.14	/	/	/	/	/	/	/	/					
沖縄 病害虫 防除所	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 200L/10a (大分) 300L/10a (沖縄) 散布 3回	5	3	3.96	3.96	0.20	0.20	/	/	/	/	/	/	/	/						
		5	7	2.84	2.83	0.21	0.21	/	/	/	/	/	/	/	/						
沖縄 病害虫 防除所	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 200L/10a (大分) 300L/10a (沖縄) 散布 3回	5	14	1.64	1.63	0.14	0.14	/	/	/	/	/	/	/	/						
		5	14	1.64	1.63	0.14	0.14	/	/	/	/	/	/	/	/						
目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)															
						(株)化学分析センター															
						チアメトキサム[A]				[B]				チアメトキサム[A]				[B]			
						最高値		平均値		最高値		平均値		最高値		平均値		最高値		平均値	
CR-80	アスパラガス (施設) [若茎] 2006年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 300L/10a 散布	長野 植防	0	—	/	/	/	/	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005						
				3	1	/	/	/	/	0.010	0.010	0.014	0.014	0.014	0.014						
				3	3	/	/	/	/	<0.005	<0.005	0.007	0.006	<0.005	<0.005						
				3	7	/	/	/	/	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005						
			香川 農試	0	—	/	/	/	/	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005						
				3	1	/	/	/	/	0.018	0.018	0.006	0.006	0.006	0.006						
				3	3	/	/	/	/	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005						
				3	7	/	/	/	/	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005						

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

目録No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)											
						チアメトキサム[A]				チアメトキサム[B]							
						最高値		平均値		最高値		平均値		最高値		平均値	
CR-52	セルリー (施設) [茎葉] 2004年	粒剤 (0.5%) 2g/株 株元処理 1回 植穴処理 1回	植防協会 (長野)	0	—	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1				
				2	75	0.04	0.04	<0.04	<0.04	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1				
				2	82	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1				
				2	89	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1				
				0	—	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1				
			植防協会 (静岡)	2	98	0.20	0.20	<0.04	<0.04	0.2	0.2	<0.1	<0.1				
				2	105	0.18	0.18	<0.04	<0.04	0.3	0.2	<0.1	<0.1				
				2	112	0.31	0.30	<0.04	<0.04	0.3	0.3	<0.1	<0.1				
				分 析 結 果 (ppm)													
				長野県農場総合試験場						(株) 化学分析コンサルタント							
目録No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)											
						チアメトキサム[A]				チアメトキサム[B]							
						最高値		平均値		最高値		平均値		最高値		平均値	
CR-96	せり (露地) [茎葉] 2010年	粒剤 (0.5%) 3kg/10a 湛水散布 1回	互理農改 普センター	0	—	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004								
				1	99	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004								
				1	123	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004								
				1	147	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004								
			石巻農改 普センター	0	—	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004								
				1	98	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004								
				1	125	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004								
				1	147	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004								

目録No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数または使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)								
						(財) 残留農業研究所				(株) ハルティスタグロ(株)				
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]		
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
CR-30	トマト (施設) [果実] 1999年	粒剤 (0.5%) 2g/株 植穴処理 (植付時)	徳島 植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				1	44	0.009	0.008	<0.005	<0.005	0.009	0.008	<0.005	<0.005	
		粒剤 (0.5%) 2g/株 植穴処理 1回 (植付時)		0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	1	0.107	0.104	0.019	0.018	0.062	0.060	0.015	0.013	
		顆粒水溶剤 (10%) 3000倍 200L/10a(徳島) 散布 2回		0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	1	0.077	0.077	0.011	0.010	0.082	0.066	0.011	0.010	
				4	1	0.151	0.146	0.023	0.022	0.113	0.111	0.019	0.018	
				4	3	0.156	0.154	0.025	0.024	0.148	0.132	0.016	0.016	
CR-30	トマト (施設) [果実] 1999年	粒剤 (0.5%) 2g/株 植穴処理 1回 (植付時)	徳島 植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				3	1	0.077	0.077	0.011	0.010	0.082	0.066	0.011	0.010	
				4	1	0.151	0.146	0.023	0.022	0.113	0.111	0.019	0.018	
				4	3	0.156	0.154	0.025	0.024	0.148	0.132	0.016	0.016	
				4	7	0.082	0.082	0.018	0.018	0.053	0.052	0.011	0.010	
CR-31	トマト (施設) [果実] 2002年	粒剤 (0.5%) 2g/株 植穴処理 1回 (植付時)	熊本 農研	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				4	1	0.154	0.153	0.038	0.038	0.104	0.101	0.024	0.024	
				4	3	0.157	0.156	0.027	0.026	0.150	0.150	0.018	0.018	
				4	7	0.140	0.134	0.022	0.021	0.134	0.134	0.018	0.018	

目録No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数または使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)													
						(財) 残留農業研究所				(株) 化学分析コンサルタント									
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]							
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値						
CR-46	ミニトマト (露地) [果実] 2004年	粒剤 (0.5%) 2g/株 植穴処理	農研センター (岩手)	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01						
				1	72	0.06	0.06	0.02	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01						
			植防協会 (岐阜)	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01						
				1	60	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01						
		粒剤 (0.5%) 2g/株 植穴処理 1回  顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 300-360L/10a (岩手) 350L/10a (岐阜) 散布 1回又は2回	農研センター (岩手)	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01						
				2	1	0.32	0.32	0.07	0.07	0.44	0.44	0.07	0.07						
				2	7	0.19	0.19	0.09	0.09	0.26	0.26	0.10	0.10						
				2	14	0.16	0.16	0.07	0.07	0.18	0.18	0.08	0.08						
				3	1	0.64	0.64	0.13	0.13	0.79	0.79	0.14	0.14						
				3	7	0.39	0.38	0.16	0.16	0.44	0.44	0.16	0.16						
			植防協会 (岐阜)	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01						
				2	1	0.05	0.05	0.05	0.05	0.03	0.03	0.04	0.04						
				2	7	0.08	0.08	0.08	0.08	0.07	0.06	0.09	0.08						
				2	14	0.04	0.04	0.05	0.05	0.04	0.04	0.06	0.06						
				3	1	0.14	0.14	0.13	0.13	0.17	0.16	0.15	0.14						
				3	7	0.18	0.17	0.19	0.19	0.15	0.14	0.18	0.18						
3	14	0.14	0.14	0.15	0.15	0.10	0.10	0.13	0.12										
目録No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数または使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)													
						(財) 残留農業研究所				ハ・ア・イ・ア・ロ(株)									
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]							
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値						
						CR-13	ピーマン (施設) [果実] 1999年	粒剤 (0.5%) 2g/株 植穴処理 (植付時)	岩手 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
										1	42	0.021	0.020	0.008	0.008	0.023	0.023	0.008	0.008
									長野 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
										1	82	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
								粒剤 (0.5%) 2g/株 植穴処理 1回 (植付時)	岩手 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
										3	1	0.169	0.166	0.016	0.016	0.207	0.200	0.016	0.016
								顆粒水溶剤 (10%) 3000倍 180L/10a(岩手) 300L/10a(長野) 散布 2回	長野 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
										3	1	0.277	0.267	0.016	0.016	0.153	0.150	0.014	0.014
								粒剤 (0.5%) 2g/株 植穴処理 1回 (植付時)  顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 180L/10a(岩手) 300L/10a(長野) 散布 2回又は3回	岩手 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
										3	1	0.357	0.357	0.044	0.044	0.420	0.411	0.044	0.044
										4	1	0.332	0.322	0.025	0.024	0.448	0.439	0.032	0.032
										4	3	0.238	0.234	0.021	0.020	0.263	0.261	0.023	0.023
長野 植防	4	7	0.167	0.163	0.020				0.020	0.095	0.095	0.018	0.018						
	0	—	<0.005	<0.005	<0.005				<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005						
	3	1	0.285	0.280	0.028				0.028	0.315	0.310	0.034	0.034						
	4	1	0.408	0.402	0.048				0.048	0.380	0.378	0.056	0.056						
4	3	0.329	0.326	0.052	0.052	0.321	0.320	0.041	0.040										
4	7	0.230	0.230	0.048	0.048	0.216	0.210	0.048	0.048										



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						(財) 残留農薬研究所				(株) トモアグリカ			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR- 3	なす (施設) [果実] 1998年	粒剤 (0.5%) 2g/株 植穴処理 (植付時)	群馬 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				1	97	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			大阪 農技	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				1	108	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		群馬 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			3	1	0.073	0.069	<0.005	<0.005	0.057	0.054	<0.005	<0.005	
		大阪 農技	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			3	1	0.040	0.040	<0.005	<0.005	0.021	0.020	<0.005	<0.005	
		粒剤 (0.5%) 2g/株 植穴処理 1回 (植付時)	群馬 植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	1	0.125	0.121	<0.005	<0.005	0.091	0.079	<0.005	<0.005
				4	1	0.107	0.106	<0.005	<0.005	0.091	0.091	<0.005	<0.005
				4	3	0.084	0.083	<0.005	<0.005	0.058	0.056	<0.005	<0.005
		顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 200L/10a(群馬) 250L/10a(大阪) 散布 2回又は3回	大阪 農技	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	1	0.029	0.026	<0.005	<0.005	0.055	0.054	<0.005	<0.005
				4	1	0.043	0.043	<0.005	<0.005	0.058	0.055	<0.005	<0.005
				4	3	0.039	0.039	<0.005	<0.005	0.021	0.019	<0.005	<0.005
4	7	0.022	0.022	<0.005	<0.005	0.013	0.011	<0.005	<0.005				

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						(財)日本食品分析センター				-			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-53	ししとう (施設) [果実] (へたを除く) 2004年	粒剤 (0.5%) 1g/株 植穴処理 1回 (定植時)	農技 センター (窪川)	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	/	/	/	/
				4	1	0.42	0.42	0.04	0.04	/	/	/	/
				4	3	0.54	0.53	0.08	0.08	/	/	/	/
				4	7	0.09	0.08	0.03	0.03	/	/	/	/
		顆粒水溶剤 (10%) 3000倍 150L/10a (窪川) 250L/10a (南国) 散布 3回	農技 センター (南国)	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	/	/	/	/
				4	1	0.61	0.60	0.04	0.04	/	/	/	/
				4	3	0.47	0.46	0.05	0.05	/	/	/	/
				4	7	0.21	0.20	0.04	0.04	/	/	/	/
目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						(財)残留農薬研究所				-			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-65	とうがらし (施設) [果実] (へたを除く) 2006年	粒剤 (0.5%) 1g/株 植穴処理 1回 (定植時)	農業 総合 研究所 (京都)	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	/	/	/	/
				4	1	0.79	0.76	0.17	0.16	/	/	/	/
				4	3	0.54	0.53	0.16	0.16	/	/	/	/
				4	7	0.41	0.41	0.14	0.14	/	/	/	/
		顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 200L/10a (京都) 100~150L/10a (高知) 散布 3回	日植防 (高知)	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	/	/	/	/
				4	1	0.34	0.34	0.02	0.02	/	/	/	/
				4	3	0.23	0.23	0.03	0.03	/	/	/	/
				4	7	0.14	0.14	0.03	0.03	/	/	/	/

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)													
						(財) 残留農薬研究所				北興化学工業(株)									
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]							
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値						
CR-2	きゅうり (施設) [果実] 1998年	粒剤 (0.5%) 1g/株 植穴処理 (植付時)	日植防 (牛久)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005						
				1	43	0.008	0.008	<0.005	<0.005	0.008	0.006	<0.005	<0.005						
			日植防 (高知)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005						
				1	34	0.005	0.005	<0.005	<0.005	0.005	0.005	<0.005	<0.005						
		顆粒水溶剤 (10%) 3000倍	日植防 (牛久)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005						
				2	1	0.077	0.076	0.005	0.005	0.079	0.076	0.005	0.005						
			日植防 (高知)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005						
				2	1	0.107	0.104	0.006	0.006	0.088	0.084	0.005	0.005						
		250L/10 <sup>a</sup> (牛久) 208L/10 <sup>a</sup> (高知) 散布 2回	粒剤 (0.5%) 1g/株 植穴処理 1回 (植付時)	日植防 (牛久)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005					
					3	1	0.174	0.172	0.010	0.010	0.152	0.151	0.008	0.008					
					4	1	0.139	0.138	0.008	0.008	0.147	0.141	0.006	0.006					
				4	3	0.124	0.124	0.008	0.008	0.123	0.118	0.008	0.008						
				4	7	0.074	0.072	0.006	0.006	0.072	0.072	0.006	0.006						
				顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 250L/10 <sup>a</sup> (牛久) 208L/10 <sup>a</sup> (高知) 散布 2回又3回	日植防 (高知)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005				
3	1		0.164			0.162	0.008	0.008	0.125	0.122	0.008	0.007							
4	1		0.140			0.132	0.008	0.008	0.117	0.114	0.006	0.006							
4	3		0.100			0.100	0.007	0.007	0.088	0.085	0.005	0.005							
4	7		0.039	0.038	0.005	0.005	0.037	0.037	0.005	0.005									
目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)													
						(財) 残留農薬研究所				パナソニック(株)									
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]							
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値						
						CR-21	すいか (施設) [果実] 2000年	粒剤 (0.5%) 2g/株 植穴処理 1回 (植付時)	日植防 (牛久)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
										4	1	0.011	0.010	<0.005	<0.005	0.017	0.017	<0.005	<0.005
										4	3	0.009	0.009	<0.005	<0.005	0.012	0.011	<0.005	<0.005
										4	7	0.011	0.011	<0.005	<0.005	0.013	0.013	<0.005	<0.005
								顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 176.5~200L/10 <sup>a</sup> (牛久) 76.1~272.4L/10 <sup>a</sup> (宮崎) 散布 3回	日植防 (宮崎)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
										4	1	0.038	0.037	0.005	0.005	0.047	0.046	0.007	0.007
4	3	0.034	0.032	<0.005	<0.005					0.042	0.040	0.007	0.007						
4	7	0.028	0.028	<0.005	<0.005					0.033	0.032	0.007	0.007						

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)													
						(財) 残留農業研究所													
						チアメトキサム[A]				[B]									
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値						
CR-32	メロン (施設) [果実] 1998年	粒剤(0.5%) 2g/株 植穴処理 (植付時)	日植防 (牛久)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005										
				1	83	0.009	0.008	<0.005	<0.005										
			石川 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005										
				1	87	0.007	0.007	<0.005	<0.005										
		粒剤(0.5%) 2g/株 植穴処理 1回 (植付時) 顆粒水溶剤(10%) 2000倍 250L/10a(牛久) 300L/10a(石川) 散布 3回	日植防 (牛久)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005										
				4	3	0.047	0.046	0.005	0.005										
				4	7	0.046	0.046	0.005	0.005										
				4	14	0.050	0.049	0.007	0.006										
			石川 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005										
				4	3	0.025	0.024	<0.005	<0.005										
				4	7	0.026	0.026	<0.005	<0.005										
				4	14	0.029	0.029	<0.005	<0.005										
目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)													
						(財) 残留農業研究所													
						チアメトキサム[A]				[B]									
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値						
						CR-32	メロン (施設) [果実] 2000年	粒剤(0.5%) 2g/株 植穴処理 1回 (植付時) 顆粒水溶剤(10%) 2000倍 250L/10(高知) 300L/10(熊本) 散布 3回	日植防 (高知)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
										4	1	0.023	0.023	<0.005	<0.005	0.019	0.018	0.005	0.005
										4	3	0.015	0.015	<0.005	<0.005	0.019	0.018	<0.005	<0.005
										4	7	0.015	0.015	<0.005	<0.005	0.018	0.018	0.005	0.005
										4	14	0.022	0.022	<0.005	<0.005	0.018	0.018	0.005	0.005
										4	21	0.020	0.020	0.005	0.005	0.017	0.017	0.005	0.005
										4	28	0.022	0.022	0.006	0.006	0.021	0.021	0.005	0.005
										4	35	0.021	0.021	0.008	0.008	0.019	0.019	0.008	0.008
熊本農研	0	—	<0.005	<0.005	<0.005					<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005					
	4	1	0.021	0.020	<0.005					<0.005	0.033	0.031	<0.005	<0.005					
	4	3	0.023	0.023	<0.005					<0.005	0.024	0.023	<0.005	<0.005					
	4	7	0.033	0.032	<0.005					<0.005	0.033	0.032	0.005	0.005					
	4	14	0.043	0.042	<0.005	<0.005	0.064	0.064	0.008	0.008									
	4	21	0.054	0.052	0.011	0.010	0.060	0.060	0.008	0.008									
4	28	0.039	0.038	0.010	0.010	0.046	0.045	0.014	0.014										
4	35	0.045	0.044	0.013	0.012	0.048	0.046	0.014	0.014										
目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)													
						シンジェンタジャパン(株)													
						チアメトキサム[A]				[B]									
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値						
						CR-32	メロン (施設) [果実] 2002年	粒剤(0.5%) 2g/株 植穴処理 1回 (植付時) 顆粒水溶剤(10%) 2000倍 200~217L/10a 散布 2回	石川 植防	0	—			<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
										3	3			0.006	0.006	<0.005	<0.005		
										3	7			0.007	0.006	<0.005	<0.005		
										3	14			0.008	0.008	<0.005	<0.005		
									日植防 (宮崎)	0	—			<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
										3	3			0.008	0.008	<0.005	<0.005		
										3	7			0.010	0.010	<0.005	<0.005		
										3	14			0.008	0.008	<0.005	<0.005		

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)							
						(財) 残留農薬研究所				-			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-59	にがうり (施設) [果実] 2004年	粒剤 (0.5%) 2g/株 植穴処理 1回 (定植時)	植防 協会 (高知)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	/	/	/	/
				4	1	0.23	0.23	<0.01	<0.01	/	/	/	/
				4	3	0.20	0.20	<0.01	<0.01	/	/	/	/
				4	7	0.17	0.17	<0.01	<0.01	/	/	/	/
		顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 100-200L/10a (高知) 202L/10a(宮崎) 散布 3回	植防 協会 (宮崎)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	/	/	/	/
				4	1	0.13	0.13	0.01	0.01	/	/	/	/
				4	3	0.11	0.11	0.01	0.01	/	/	/	/
				4	7	0.06	0.06	0.01	0.01	/	/	/	/
目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)							
						(株) 南西環境研究所				-			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-70	食用へちま (施設) [果実] 2005年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 200L/10a(うるま市) 180L/10a(平良市) 散布	沖縄 農試 (うるま市)	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	/	/	/	/
				3	1	0.11	0.11	<0.02	<0.02	/	/	/	/
				3	3	0.10	0.10	<0.02	<0.02	/	/	/	/
				3	7	0.03	0.03	<0.02	<0.02	/	/	/	/
			沖縄 農試 (平良市)	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	/	/	/	/
				3	1	0.04	0.04	<0.02	<0.02	/	/	/	/
				3	3	0.09	0.09	<0.02	<0.02	/	/	/	/
				3	7	0.02	0.02	<0.02	<0.02	/	/	/	/

目録No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数または使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)													
						(財) 残留農薬研究所				シンジェンタジャパン(株)									
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]							
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値						
CR-37	えだまめ (露地) [さや] 2003年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 200L/10a (群馬) 400L/10a (徳島) 散布	群馬 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005						
				2	7	0.062	0.061	0.020	0.020	0.050	0.047	0.020	0.019						
				2	14	0.017	0.017	0.011	0.010	0.016	0.015	0.012	0.012						
			2	21	0.006	0.006	<0.005	<0.005	0.005	0.005	<0.005	<0.005							
			徳島 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005						
				2	7	0.026	0.025	0.022	0.020	0.023	0.021	0.015	0.014						
		2		14	0.007	0.007	<0.005	<0.005	0.005	0.005	<0.005	<0.005							
		群馬 植防	7077 <sup>®</sup> N (35%) 12mL/kg (種子) 塗抹処理 1回  粒剤 (0.5%) 6kg/10a 株元処理 (生育期) 1回	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005						
				4	7	0.091	0.090	0.029	0.028	0.068	0.066	0.026	0.026						
				4	14	0.025	0.025	0.013	0.012	0.025	0.024	0.017	0.017						
				4	21	0.012	0.012	0.005	0.005	0.010	0.010	0.006	0.006						
				徳島 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005					
4	7				0.026	0.025	0.019	0.018	0.021	0.020	0.019	0.019							
4	14	0.006	0.006		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005									
4	21	0.009	0.008	0.008	0.008	0.005	0.005	0.005	0.005										
目録No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数または使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)													
						(財) 残留農薬研究所				シンジェンタジャパン(株)									
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]							
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値						
						CR-26	未成熟 いんげん (施設) [さや] 2001年	顆粒水溶剤 (10%) 3000倍 300L/10a (長野) 150L/10a (高知) 散布	長野 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
										3	1	0.068	0.068	0.075	0.074	0.071	0.071	0.071	0.071
										3	7	<0.005	<0.005	0.038	0.038	0.005	0.005	0.038	0.037
										3	14	<0.005	<0.005	0.007	0.006	<0.005	<0.005	0.011	0.011
									日植防 (高知)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
										3	1	0.053	0.053	0.119	0.118	0.041	0.040	0.100	0.099
										3	7	0.006	0.006	0.051	0.050	<0.005	<0.005	0.049	0.048
										3	14	<0.005	<0.005	0.010	0.010	<0.005	<0.005	0.013	0.013

目録No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数または使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						(財) 残留農薬研究所				シンジェンタジャパン(株)			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-76	ほうれんそう (施設) [茎葉] 2003年	顆粒水溶液 (10%) 2000倍 200、300L/10a (新潟) 250L/10a (岐阜) 散布 2回	新潟 植防	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	3	1.08	1.02	0.54	0.53	1.29	1.26	0.683	0.680
				2	7	0.38	0.38	0.44	0.44	0.440	0.412	0.484	0.474
				2	14	<0.05	<0.05	0.23	0.22	0.052	0.049	0.241	0.233
			岐阜 植防	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	3	2.62	2.62	0.78	0.75	1.25	1.24	0.495	0.494
		新潟 植防	2	7	0.69	0.66	0.51	0.50	1.10	1.036	0.673	0.660	
			2	14	0.06	0.06	0.17	0.17	0.080	0.076	0.171	0.167	
			岐阜 植防	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	3	0.98	0.96	0.58	0.58	0.944	0.840	0.599	0.536
				3	7	0.32	0.30	0.41	0.40	0.321	0.311	0.516	0.510
				3	14	<0.05	<0.05	0.16	0.16	0.021	0.018	0.157	0.152
岐阜 植防	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
	3	3	2.98	2.87	1.06	1.04	4.08	4.02	1.21	1.20			
	3	7	1.01	1.00	0.74	0.73	0.891	0.880	0.744	0.742			
	3	14	0.26	0.26	0.45	0.44	0.153	0.134	0.354	0.324			
目録No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数または使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						沖縄病害虫防除所				-			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-69	オクラ (露地) [果実] (へたを除く) 2005年	顆粒水溶液 (10%) 2000倍 150~210L/10a (沖縄病害虫防除所) 200L/10a (沖縄農試) 散布	沖縄 病害虫防除所 (うるま市)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01				
				3	1	0.30	0.30	<0.01	<0.01				
				3	3	0.12	0.12	<0.01	<0.01				
				3	7	0.02	0.02	<0.01	<0.01				
			沖縄 農試 (石垣市)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01				
				3	1	0.21	0.21	<0.01	<0.01				
				3	3	0.14	0.14	0.01	0.01				
				3	7	0.01	0.01	<0.01	<0.01				

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						(財) 残留農薬研究所				シンジェンタジャパン(株)			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-34	れんこん (露地) [塊茎] 2002年	粒剤 (0.5%) 6kg/10a 湛水処理	徳島 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	14	0.005	0.005	<0.005	<0.005	0.008	0.008	<0.005	<0.005
				2	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	28	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	35	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			佐賀 農試	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	28	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	35	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			徳島 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	14	0.007	0.006	<0.005	<0.005	0.006	0.006	<0.005	<0.005
				3	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	28	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	35	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			佐賀 農試	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
3	14	<0.005		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
3	21	<0.005		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
3	28	<0.005		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
3	35	<0.005		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						(株) クレハ分析センター				-			
目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-56	ウユギ (露地) [茎葉部] 2004年	顆粒水溶剤 (10%) 3000倍 150L/10a 散布	山形県 病害虫 防除所 (南陽)	0	—	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2				
				2	3	0.5	0.4	<0.2	<0.2				
				2	7	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2				
				2	14	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2				
			山形県 病害虫 防除所 (米沢)	0	—	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2				
				2	3	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2				
				2	7	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2				
				2	14	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2				



目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)							
						(財)日本食品分析センター							
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-57	エンサイ (施設) [茎葉] 2004年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 200L/10a 散布	静岡県 農試 (磐田)	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	/	/	/	/
				3	3	2.22	2.16	0.13	0.12	/	/	/	/
				3	7	0.69	0.68	0.07	0.07	/	/	/	/
				3	14	0.07	0.07	<0.02	<0.02	/	/	/	/
			静岡県 農試 (浜北)	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	/	/	/	/
				3	3	2.98	2.90	0.09	0.09	/	/	/	/
				3	7	1.23	1.20	0.07	0.06	/	/	/	/
				3	14	0.43	0.42	0.04	0.04	/	/	/	/
CR-58	みょうが (施設) [花穂] 2004年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 300L/10a 散布	高知県 農技 センター (須崎)	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	/	/	/	/
				3	1	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	/	/	/	/
				3	3	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	/	/	/	/
				3	7	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	/	/	/	/
			高知県 農技 センター (芸西)	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	/	/	/	/
				3	1	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	/	/	/	/
				3	3	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	/	/	/	/
				3	7	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	/	/	/	/
CR-67	モロヘイヤ (施設) [茎葉] 2006年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 200~211L/10a 散布	群馬県 農技 センター	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	/	/	/	/
				3	3	1.83	1.76	0.80	0.76	/	/	/	/
				3	7	0.67	0.66	0.43	0.43	/	/	/	/
				3	14	0.11	0.11	0.15	0.14	/	/	/	/
			静岡県 農試	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	/	/	/	/
				3	3	0.63	0.63	0.91	0.88	/	/	/	/
				3	7	0.37	0.36	0.35	0.34	/	/	/	/
				3	14	<0.05	<0.05	0.12	0.12	/	/	/	/

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						(財) 残留農業研究所				(株) トモアグ 勃			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR- 7	温州みかん (施設) [果肉] 1998年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 500L/10a 散布	日植防 (宮崎)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	14	0.028	0.028	0.007	0.006	0.025	0.023	0.014	0.013
				3	21	0.038	0.038	0.010	0.010	0.024	0.021	0.013	0.013
				3	28	0.042	0.040	0.011	0.011	0.018	0.017	0.010	0.010
				2	21	0.016	0.016	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.007	0.007
				2	28	0.018	0.018	0.005	0.005	<0.005	<0.005	0.007	0.007
			徳島 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	14	0.005	0.005	<0.005	<0.005	0.008	0.008	<0.005	<0.005
				3	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	28	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	28	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	温州みかん (施設) [果皮] 1998年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 500L/10a 散布	日植防 (宮崎)	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.005	<0.005	0.008	0.008
				3	14	0.66	0.65	0.28	0.28	0.654	0.651	0.279	0.279
				3	21	0.56	0.55	0.29	0.28	0.517	0.513	0.247	0.233
				3	28	0.41	0.40	0.22	0.22	0.282	0.271	0.141	0.137
2				21	0.49	0.47	0.25	0.24	0.367	0.360	0.185	0.184	
2				28	0.34	0.33	0.18	0.18	0.209	0.209	0.147	0.136	
徳島 植防			0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			3	14	0.74	0.74	0.12	0.12	0.689	0.686	0.121	0.120	
			3	21	0.50	0.48	0.11	0.11	0.503	0.465	0.125	0.119	
			3	28	0.51	0.50	0.10	0.10	0.407	0.406	0.115	0.114	
			2	21	0.58	0.58	0.12	0.12	0.483	0.480	0.082	0.080	
			2	28	0.46	0.44	0.07	0.07	0.350	0.344	0.093	0.090	

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)							
						(財)残留農業研究所				(株)トモクミ			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR- 12	温州みかん (施設) [果肉] 1999年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 500L/10a 散布	愛知 農試	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	3	0.090	0.088	0.007	0.006	0.162	0.136	0.008	0.008
				3	7	0.061	0.061	0.008	0.008	0.143	0.139	0.010	0.009
				3	14	0.072	0.070	0.011	0.011	0.084	0.080	0.012	0.012
				3	21	0.058	0.057	0.013	0.013	0.087	0.080	0.012	0.010
				3	28	0.054	0.052	0.014	0.014	0.058	0.054	0.009	0.008
		顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 1000L/10a 散布	大分 柑試	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	3	0.078	0.074	0.012	0.012	0.060	0.058	0.011	0.010
				3	7	0.111	0.109	0.018	0.018	0.127	0.127	0.018	0.017
				3	14	0.091	0.088	0.019	0.019	0.100	0.092	0.021	0.021
	温州みかん (施設) [果皮] 1999年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 500L/10a 散布	愛知 農試	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				3	3	3.84	3.82	0.35	0.34	3.70	3.67	0.31	0.27
				3	7	2.10	2.08	0.40	0.40	3.33	3.24	0.44	0.42
				3	14	1.73	1.72	0.47	0.46	2.01	1.99	0.47	0.47
				3	21	1.53	1.52	0.51	0.51	1.32	1.32	0.49	0.47
				3	28	0.82	0.79	0.39	0.38	0.96	0.88	0.52	0.48
		顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 1000L/10a 散布	大分 柑試	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				3	3	1.56	1.50	0.35	0.34	1.78	1.70	0.32	0.31
				3	7	2.12	2.06	0.45	0.44	2.14	1.89	0.40	0.38
				3	14	1.02	0.97	0.35	0.35	0.96	0.92	0.22	0.22
				3	21	1.12	1.12	0.47	0.47	1.11	1.08	0.38	0.35
				3	28	0.72	0.72	0.40	0.40	0.82	0.80	0.44	0.42

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						(財) 残留農薬研究所				(株) 化学分析コンサルタント			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR- 44	温州みかん (施設) [果肉] 2002年	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 500L/10a 散布	愛知 農総試	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	14	0.021	0.021	0.006	0.006	0.022	0.022	<0.005	<0.005
				3	21	0.028	0.028	0.008	0.008	0.032	0.030	0.006	0.006
				3	28	0.020	0.020	0.007	0.007	0.024	0.023	0.005	0.005
				3	35	0.021	0.020	0.007	0.006	0.014	0.012	<0.005	<0.005
		0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
		3	14	0.032	0.031	0.006	0.006	0.053	0.050	0.008	0.008		
		3	21	0.040	0.040	0.009	0.009	0.042	0.040	0.008	0.008		
	3	28	0.037	0.036	0.011	0.011	0.033	0.033	0.009	0.009			
	3	35	0.036	0.036	0.011	0.011	0.033	0.032	0.010	0.010			
	温州みかん (施設) [果皮] 2002年	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 500L/10a 散布	愛知 農総試	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
				3	14	1.00	1.00	0.28	0.28	0.97	0.96	0.28	0.27
				3	21	0.99	0.98	0.31	0.30	0.74	0.71	0.23	0.22
				3	28	0.32	0.31	0.29	0.28	0.32	0.31	0.20	0.19
				3	35	0.31	0.30	0.23	0.23	0.21	0.20	0.17	0.17
		0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02		
3		14	1.16	1.12	0.25	0.24	1.36	1.36	0.37	0.36			
3		21	0.78	0.76	0.26	0.26	0.75	0.72	0.28	0.27			
3	28	0.66	0.64	0.27	0.26	0.62	0.60	0.21	0.20				
3	35	0.77	0.76	0.24	0.23	0.53	0.53	0.20	0.20				

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 または 使用量 使用方法	試料調 製場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分 析 結 果 (ppm)							
						(財) 残留農薬研究所				パルティスアグロ株式会社			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR- 8	なつみかん (露地) [果肉] 1998年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 500L/10a 散布	徳島 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	14	0.016	0.016	<0.005	<0.005	0.024	0.024	0.007	0.007
				3	28	0.019	0.018	0.005	0.005	0.010	0.009	0.005	0.005
				3	42	0.011	0.011	0.006	0.006	0.012	0.012	0.009	0.008
				3	49	0.014	0.014	0.008	0.008	0.010	0.010	0.005	0.005
				3	64	0.008	0.008	0.010	0.010	0.007	0.007	0.006	0.006
				2	28	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.013	0.012	0.005	0.005
				2	42	0.007	0.006	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	49	0.007	0.006	<0.005	<0.005	0.005	0.005	<0.005	<0.005
			2	64	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			大分 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	14	0.013	0.013	<0.005	<0.005	0.014	0.014	0.005	0.005
				3	28	0.014	0.014	0.006	0.006	0.012	0.012	0.005	0.005
				3	42	0.014	0.014	0.007	0.007	0.018	0.018	0.008	0.008
				3	49	0.013	0.013	0.007	0.007	0.010	0.010	0.005	0.005
				3	60	0.010	0.010	0.007	0.006	0.010	0.010	0.005	0.005
				2	28	0.008	0.008	<0.005	<0.005	0.006	0.006	<0.005	<0.005
				2	42	0.007	0.007	<0.005	<0.005	0.006	0.006	<0.005	<0.005
	2	49		0.006	0.006	<0.005	<0.005	0.005	0.005	<0.005	<0.005		
	2	60	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	0.005	<0.005	<0.005			
	なつみかん (露地) [果皮] 1998年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 500L/10a 散布	徳島 植防	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
				3	14	0.19	0.19	0.04	0.04	0.40	0.38	0.13	0.13
				3	28	0.32	0.30	0.11	0.10	0.34	0.34	0.12	0.12
				3	42	0.18	0.17	0.09	0.09	0.19	0.18	0.09	0.08
3				49	0.21	0.20	0.14	0.14	0.20	0.20	0.11	0.10	
3				64	0.11	0.10	0.10	0.10	0.14	0.14	0.09	0.08	
2				28	0.11	0.11	0.03	0.03	0.20	0.20	0.04	0.04	
2				42	0.08	0.08	0.03	0.03	0.08	0.08	0.03	0.03	
大分 植防			2	49	0.14	0.14	0.05	0.04	0.13	0.13	0.03	0.03	
			2	64	0.06	0.06	0.03	0.03	0.06	0.06	0.03	0.03	
			0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
			3	14	0.49	0.48	0.08	0.08	0.56	0.55	0.09	0.09	
			3	28	0.24	0.23	0.12	0.12	0.29	0.28	0.10	0.10	
			3	42	0.22	0.21	0.13	0.13	0.25	0.24	0.10	0.10	
			3	49	0.17	0.16	0.11	0.11	0.22	0.22	0.11	0.11	
			3	60	0.15	0.14	0.11	0.10	0.12	0.12	0.08	0.08	
2	28	0.20	0.20	0.06	0.06	0.21	0.20	0.07	0.06				
2	42	0.17	0.16	0.08	0.08	0.20	0.20	0.08	0.08				
2	49	0.11	0.10	0.06	0.06	0.14	0.14	0.04	0.04				
2	60	0.10	0.10	0.08	0.08	0.09	0.09	0.05	0.04				

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 または使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
						(財) 残留農業研究所		/バトリスアグロ株式会社	
						チアメトキサム[A]		チアメトキサム[B]	
						最高値	平均値*	最高値	平均値*
CR- 8	なつみかん (露地) [全果実] 1998年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 500L/10a 散布	徳島 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				3	14	0.06	0.01	0.1	0.04
				3	28	0.09	0.03	0.09	0.04
				3	42	0.05	0.03	0.06	0.03
				3	49	0.06	0.04	0.06	0.04
				3	64	0.03	0.03	0.04	0.03
				2	28	0.03	<0.01	0.06	0.02
				2	42	0.03	<0.01	0.02	0.01
				2	49	0.04	0.01	0.04	0.01
			2	64	0.02	<0.01	0.02	0.01	
			大分 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				3	14	0.14	0.02	0.09	0.04
				3	28	0.08	0.04	0.09	0.04
				3	42	0.07	0.04	0.08	0.04
				3	49	0.06	0.04	0.07	0.04
				3	60	0.05	0.04	0.04	0.03
				2	28	0.07	0.02	0.06	0.02
				2	42	0.05	0.02	0.05	0.02
2	49	0.04		0.02	0.04	0.01			
2	60	0.03	0.02	0.03	0.02				

\*: 全果実中の残留値は、果肉・果皮それぞれの平均残留値に重量比を乗じ、和することによって求めた。

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)								
						(財) 残留農業研究所				(株) 化学分析コンサルタント				
						チアメトキサム [A]		[B]		チアメトキサム [A]		[B]		
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
CR- 60	なつみかん (露地) [果実全体] (へたを除く) 2005年	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 1224L/10a (山口) 600L/10a (大分) 散布	柑きつ 試験場 (山口)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
				3	14	0.34	0.33	<0.01	<0.01	0.21	0.20	0.01	0.01	
				3	21	0.50	0.48	0.02	0.02	0.13	0.12	0.01	0.01	
				3	28	0.37	0.36	0.02	0.02	0.20	0.20	0.02	0.02	
				3	45	0.17	0.16	0.02	0.02	0.14	0.14	0.03	0.03	
			植防協会 (大分)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				3	14	0.23	0.22	0.01	0.01	0.11	0.11	0.01	0.01	
				3	21	0.22	0.22	0.03	0.03	0.11	0.11	0.02	0.02	
				3	28	0.12	0.12	0.01	0.01	0.14	0.14	0.02	0.02	
				3	45	0.17	0.17	0.03	0.03	0.12	0.12	0.03	0.03	

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 または使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						ハ <sup>*</sup> マリスプロ(株)				-			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-9	すだち (露地) [果実] 1998年		徳島 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005				
				3	14	0.040	0.040	0.038	0.038				
				3	28	0.019	0.019	0.032	0.032				
				3	42	0.011	0.01	0.020	0.020				
CR-10	かぼす (露地) [果実] 1998年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 500L/10a 散布	大分 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005				
				3	14	0.058	0.058	0.010	0.010				
				3	28	0.014	0.014	0.009	0.009				
				3	42	0.013	0.013	0.006	0.006				
CR-11	ゆず (露地) [果実] 1998年		高知 農技 山間	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005				
				3	14	0.098	0.097	0.063	0.063				
				3	28	0.054	0.054	0.053	0.053				
				3	42	0.035	0.035	0.048	0.048				
目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						(株)化学分析コンサルタント				-			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-61	すだち (露地) [果実全体] 2004年	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 500L/10a (徳島) 640L/10a (大分) 散布	植防協会 (徳島)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01				
				3	14	0.13	0.13	0.07	0.06				
				3	21	0.09	0.09	0.06	0.06				
				3	28	0.07	0.07	0.06	0.06				
				3	45	0.03	0.03	0.05	0.05				
	かぼす (露地) [果実全体] 2004年		植防協会 (大分)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01				
				3	14	0.05	0.05	0.02	0.02				
				3	21	0.04	0.04	0.02	0.02				
				3	27	0.03	0.03	0.02	0.02				
				3	45	0.01	0.01	0.02	0.02				
目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						(財) 残留農業研究所				ハ <sup>*</sup> マリスプロ(株)			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-16	りんご (露地) [果実] 2000年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 500L/10 <sup>a</sup> (岩手) 700L/10 <sup>a</sup> (茨城) 散布	岩手 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	7	0.050	0.049	<0.005	<0.005	0.064	0.064	<0.005	<0.005
				2	14	0.058	0.057	<0.005	<0.005	0.039	0.038	0.005	0.005
				2	21	0.052	0.051	<0.005	<0.005	0.058	0.058	0.006	0.006
				2	28	0.031	0.030	<0.005	<0.005	0.015	0.014	<0.005	<0.005
			茨城 農総	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	7	0.050	0.048	0.010	0.010	0.052	0.050	0.008	0.008
				2	14	0.025	0.024	<0.005	<0.005	0.032	0.032	0.005	0.005
				2	21	0.053	0.050	0.007	0.007	0.044	0.042	0.007	0.007
				2	28	0.016	0.016	<0.005	<0.005	0.015	0.014	<0.005	<0.005

目録No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数または使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過 日数	分析結果 (ppm)										
						(財) 残留農業研究所				(株) 化学分析コンサルタント						
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]				
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値			
CR-43	りんご (露地) [果実] 2002年	顆粒水剤 (10%) 2000倍 500L/10 (青森) 700L/10 (石川) 散布	青森 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
				2	7	0.081	0.078	<0.005	<0.005	0.080	0.074	<0.005	<0.005			
				2	14	0.048	0.047	<0.005	<0.005	0.051	0.051	<0.005	<0.005			
				2	21	0.050	0.050	<0.005	<0.005	0.048	0.045	<0.005	<0.005			
				2	28	0.086	0.085	0.006	0.006	0.088	0.084	0.006	0.006			
			2	35	0.092	0.092	0.008	0.008	0.086	0.078	0.007	0.007				
			石川 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
				2	7	0.026	0.025	<0.005	<0.005	0.031	0.030	<0.005	<0.005			
				2	14	0.043	0.042	<0.005	<0.005	0.030	0.029	<0.005	<0.005			
				2	19	0.045	0.044	<0.005	<0.005	0.030	0.028	<0.005	<0.005			
2	28	0.017		0.016	<0.005	<0.005	0.006	0.006	<0.005	<0.005						
2	35	0.011	0.011	<0.005	<0.005	0.008	0.008	<0.005	<0.005							
CR-17	日本なし (露地) [果実] 1999年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 400L/10a 散布	長野 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005				
				3	14	0.035	0.034	0.010	0.010	0.046	0.045	0.010	0.010			
				3	21	0.035	0.034	0.017	0.016	0.035	0.034	0.014	0.014			
				3	28	0.030	0.030	0.014	0.014	0.033	0.032	0.013	0.012			
			徳島 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
				3	28	0.008	0.008	0.006	0.006	0.018	0.018	0.011	0.011			
				4	12	0.018	0.017	<0.005	<0.005	0.040	0.039	0.008	0.008			
				4	19	0.006	0.006	<0.005	<0.005	0.039	0.038	0.016	0.016			
				CR-40	日本なし (露地) [果実] 2003年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 300L/10a (秋田) 400L/10a (福島) 散布	秋田 果樹 試験場	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
								3	1	0.25	0.25	<0.02	<0.02	0.22	0.22	<0.02
3	3	0.33	0.32					<0.02	<0.02	0.19	0.18	<0.02	<0.02			
3	7	0.26	0.24					<0.02	<0.02	0.22	0.22	<0.02	<0.02			
3	14	0.08	0.08					<0.02	<0.02	0.08	0.08	<0.02	<0.02			
福島 植防	0	—	<0.02				<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02			
	3	1	0.11				0.11	0.03	0.02	0.07	0.07	<0.02	<0.02			
	3	3	0.13				0.12	0.03	0.02	0.14	0.14	0.03	0.03			
	3	7	0.08				0.08	0.03	0.03	0.08	0.08	0.03	0.03			
	3	14	0.05				0.05	0.04	0.04	0.05	0.04	0.04	0.04			



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)								
						(財) 残留農業研究所				北興化学工業(株)				
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]		
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
CR- 6	もも (露地) [果肉] 1998年	顆粒水溶液 (10%) 2000倍 400L/10a(長野) 350L/10a(福岡) 散布	長野 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				3	14	0.007	0.007	0.038	0.038	0.008	0.008	0.050	0.046	
				3	21	<0.005	<0.005	0.016	0.016	<0.005	<0.005	0.031	0.030	
				3	28	<0.005	<0.005	0.019	0.018	<0.005	<0.005	0.036	0.035	
			福岡 農試	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	14	0.045	0.045	0.068	0.067	0.050	0.048	0.067	0.064	
				3	17	0.060	0.059	0.081	0.080	0.028	0.026	0.058	0.055	
				3	24	0.023	0.022	0.081	0.080	0.015	0.015	0.062	0.062	
	もも (露地) [果皮] 1998年	顆粒水溶液 (10%) 2000倍 400L/10a(長野) 350L/10a(福岡) 散布	長野 植防	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
				3	14	0.08	0.08	0.12	0.12	0.10	0.10	0.16	0.15	
				3	21	0.04	0.04	0.06	0.06	0.05	0.04	0.10	0.09	
				3	28	0.05	0.04	0.06	0.06	0.04	0.04	0.08	0.08	
			福岡 農試	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
				3	14	0.21	0.20	0.27	0.26	0.17	0.17	0.23	0.23	
3	17	0.23	0.23	0.26	0.26	0.12	0.11	0.19	0.18					
3	24	0.06	0.06	0.19	0.18	0.06	0.06	0.16	0.16					

目録No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数または使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						(財) 残留農業研究所				(株) 化学分析コンサルタント			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-42	もも (露地) [果肉] 2003年	粒剤(0.5%) 200g/樹 地表表面 処理	長野 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
				1	30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			和歌山 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
				1	30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
		顆粒水溶剤(10%) 2000倍 500L/10a(長野) 400L/10a(和歌山) 散布	長野 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
				3	1	0.08	0.08	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
				3	3	0.10	0.10	0.07	0.07	0.08	0.08	0.04	0.04
				3	7	0.12	0.12	0.08	0.08	0.04	0.04	0.04	0.04
			和歌山 植防	3	14	0.05	0.05	0.07	0.07	0.02	0.02	0.05	0.05
				0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
				3	1	0.14	0.14	0.10	0.10	0.07	0.06	0.06	0.06
				3	3	0.14	0.14	0.08	0.08	0.10	0.10	0.07	0.07
	和歌山 植防	3	7	0.11	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.08	0.08		
		3	14	0.04	0.04	0.09	0.09	0.04	0.04	0.12	0.12		
	もも (露地) [果皮] 2003年	粒剤(0.5%) 200g/樹 地表表面 処理	長野 植防	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
				1	30	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
			和歌山 植防	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
				1	30	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
		顆粒水溶剤(10%) 2000倍 500L/10a(長野) 400L/10a(和歌山) 散布	長野 植防	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
				3	1	2.69	2.64	0.38	0.38	1.9	1.8	0.4	0.4
				3	3	1.14	1.14	0.50	0.47	0.9	0.9	0.5	0.4
				3	7	0.95	0.93	0.54	0.53	0.5	0.5	0.4	0.4
			和歌山 植防	3	14	0.29	0.29	0.35	0.35	0.2	0.2	0.3	0.3
				0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
3				1	1.90	1.90	0.61	0.61	1.0	1.0	0.3	0.3	
3				3	1.19	1.19	0.43	0.43	1.0	1.0	0.4	0.4	
和歌山 植防	3	7	0.86	0.83	0.50	0.49	0.3	0.3	0.2	0.2			
	3	14	0.28	0.26	0.34	0.34	0.3	0.3	0.4	0.4			
目録No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数または使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
						(財) 残留農業研究所				(株) 化学分析コンサルタント			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-68	すもも (露地) [果実] (果梗および 種子を 除去したもの) 2005年	顆粒水溶剤(10%) 2000倍 300L/10a(群馬) 500L/10a(長野) 散布	群馬 植防	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02				
				3	1	0.07	0.07	<0.02	<0.02				
				3	7	0.03	0.03	<0.02	<0.02				
				3	14	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02				
			長野 植防	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02				
				3	1	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02				
				3	7	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02				
				3	14	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02				

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)								
						(財) 残留農薬研究所				JALFA(株)				
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]		
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
CR-18	うめ (露地) [果実] 2000年	顆粒水溶液 (10%) 2000倍 600L/10a (和歌山) 400L/10a (大分) 散布	和歌山 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				2	7	0.089	0.089	0.082	0.082	0.079	0.079	0.078	0.078	
				2	14	0.059	0.058	0.085	0.084	0.073	0.073	0.117	0.117	
				2	21	0.010	0.010	0.020	0.020	0.019	0.019	0.024	0.024	
			大分 農技	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				2	7	1.050	1.050	0.188	0.186	1.090	1.080	0.190	0.190	
				2	14	0.554	0.554	0.175	0.174	0.577	0.576	0.185	0.185	
				2	21	0.612	0.604	0.245	0.242	0.462	0.460	0.199	0.198	
目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)								
						(財) 残留農薬研究所				シンジェンタジャパン(株)				
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]		
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
CR-38	おうとう (露地) [果実] 2003年	顆粒水溶液 (10%) 2000倍 500L/10a 散布	日植防 (秋田)	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				2	1	0.92	0.90	<0.05	<0.05	0.794	0.700	0.036	0.032	
				2	3	0.47	0.47	<0.05	<0.05	0.400	0.400	0.023	0.023	
				2	7	1.42	1.36	0.13	0.12	0.602	0.589	0.061	0.060	
				2	14	0.72	0.72	0.07	0.07	0.640	0.627	0.068	0.068	
			福島 植防	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				2	1	1.63	1.62	0.08	0.08	1.210	1.200	0.068	0.068	
				2	3	1.51	1.49	0.10	0.10	1.300	1.250	0.092	0.090	
				2	7	0.52	0.52	<0.05	<0.05	1.150	1.120	0.118	0.117	
				2	14	0.85	0.84	0.12	0.12	1.030	0.958	0.144	0.139	

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)									
						(財) 残留農薬研究所				/ハ・Nテイストロ(株)					
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値		
CR-15	いちご (施設) [果実] 2000年	粒剤 (0.5%) 2g/株 植穴処理 (植付時)	岐阜 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
				1	92	0.011	0.010	<0.005	<0.005	0.014	0.014	<0.005	<0.005		
				1	99	0.008	0.008	<0.005	<0.005	0.011	0.011	<0.005	<0.005		
				1	106	0.009	0.009	<0.005	<0.005	0.013	0.012	<0.005	<0.005		
				1	115	0.007	0.007	<0.005	<0.005	0.009	0.008	<0.005	<0.005		
			三重 農技	1	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				1	125	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				1	132	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				1	139	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				1	146	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
		粒剤 (0.5%) 2g/株 株元処理 1回 (育苗中期) 植穴処理 1回 (植付時)	岐阜 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
				4	1	0.828	0.802	0.008	0.008	0.759	0.754	0.008	0.008		
4	3			0.642	0.632	0.008	0.008	0.784	0.775	0.010	0.010				
4	7			0.435	0.425	0.008	0.008	0.636	0.620	0.010	0.010				
三重 農技	0		—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
	4		1	0.396	0.386	<0.005	<0.005	0.427	0.427	0.010	0.010				
	4		3	0.371	0.360	0.006	0.006	0.305	0.302	0.006	0.006				
	4		7	0.247	0.245	0.006	0.006	0.268	0.266	0.007	0.007				
CR-19	ぶどう (施設) [果実] 2000年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 300L/10 <sup>a</sup> (秋田) 500L/10 <sup>a</sup> (大分) 散布	秋田 果試	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
				2	7	0.332	0.330	0.042	0.041	0.551	0.540	0.074	0.073		
				2	14	0.348	0.348	0.073	0.072	0.419	0.411	0.075	0.074		
				2	21	0.345	0.341	0.096	0.093	0.359	0.338	0.088	0.082		
				2	28	0.136	0.132	0.075	0.074	0.153	0.142	0.126	0.122		
				大分 農技	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
					2	7	0.755	0.748	0.028	0.028	0.819	0.793	0.032	0.032	
					2	14	0.877	0.870	0.049	0.048	0.990	0.943	0.055	0.053	
			2		21	0.705	0.669	0.046	0.044	0.616	0.596	0.042	0.040		
			2		28	0.605	0.596	0.043	0.042	0.467	0.466	0.030	0.030		

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)							
						(財) 残留農業研究所				パルティスタ <sup>®</sup> (株)			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-20	かき (露地) [果実] 2000年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 500L/10a 散布	福島 植防	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	3	0.320	0.320	0.011	0.010	0.253	0.243	0.009	0.009
				3	7	0.266	0.261	0.012	0.012	0.214	0.200	0.010	0.010
				3	14	0.213	0.210	0.011	0.011	0.175	0.172	0.009	0.009
				3	21	0.203	0.202	0.006	0.006	0.194	0.187	0.007	0.006
			和歌山 果試	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
				3	3	0.170	0.164	0.016	0.016	0.088	0.086	0.007	0.007
				3	7	0.082	0.081	0.010	0.010	0.072	0.072	0.009	0.009
				3	14	0.065	0.062	0.015	0.014	0.095	0.092	0.016	0.016
				3	21	0.072	0.072	0.019	0.019	0.053	0.048	0.013	0.012
目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)							
						(株) 南西環境研究所				-			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-71	バナナ (露地) [果実] 2005年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 200L/10a (沖縄農試) 200L/10a (沖縄病害虫 防除所) 散布	沖縄 農試 (宮古 支場)	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02				
				3	7	0.19	0.19	<0.02	<0.02				
				3	14	0.13	0.13	<0.02	<0.02				
				3	21	0.17	0.17	<0.02	<0.02				
			沖縄病害 虫防除所 (中城村)	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02				
				3	7	0.18	0.18	<0.02	<0.02				
				3	14	0.28	0.28	0.02	0.02				
				3	21	0.06	0.06	<0.02	<0.02				
目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分 析 結 果 (ppm)							
						(株) 南西環境研究所				-			
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-75	グアバ (露地) [果実] 2005年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 313L/10a (恩納村) 200L/10a (大里村) 散布	沖縄病害 虫防除所 (恩納村)	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02				
				2	7	0.03	0.03	<0.02	<0.02				
				2	14	0.02	0.02	<0.02	<0.02				
				2	21	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02				
			沖縄病害 虫防除所 (大里村)	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02				
				2	7	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02				
				2	14	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02				
				2	21	0.02	0.02	<0.02	<0.02				

目録No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数または使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)											
						沖縄病害虫防除所				-							
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]					
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値				
CR-72	マンゴー (施設) [果実] 2005年	顆粒水溶液 (10%) 2000倍 167L/10a (今帰仁村) 300L/10a (沖縄農試) 散布	沖縄病害虫防除所 (今帰仁村)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	/	/	/	/				
				2	14	0.03	0.03	0.03	0.03	/	/	/	/				
				2	21	0.01	0.01	0.03	0.02	/	/	/	/				
				2	28	<0.01	<0.01	0.01	0.01	/	/	/	/				
			沖縄農試 (宮古支場)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	/	/	/	/				
				2	14	0.02	0.02	0.02	0.02	/	/	/	/				
				2	21	<0.01	<0.01	0.04	0.04	/	/	/	/				
				2	28	<0.01	<0.01	0.02	0.02	/	/	/	/				
目録No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数または使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)											
						(財) 残留農業研究所				(株) 化学分析コンパニ							
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]					
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値				
CR-39	いちじく (兵庫-露地) (徳島-施設) [果実] 2003年	顆粒水溶液 (10%) 2000倍 330L/10a (兵庫) 500L/10a (徳島) 散布	兵庫農林センター	0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1				
				2	1	0.57	0.56	0.12	0.12	0.3	0.3	<0.1	<0.1				
				2	3	0.34	0.34	0.09	0.08	0.3	0.2	<0.1	<0.1				
				2	7	0.10	0.10	0.10	0.10	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1				
			徳島植防	2	14	0.08	0.08	0.08	0.08	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1				
				0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1				
				2	1	0.43	0.43	0.05	0.05	0.4	0.4	<0.1	<0.1				
				2	3	0.32	0.32	0.08	0.08	0.3	0.2	<0.1	<0.1				
				2	7	0.20	0.20	0.08	0.08	0.2	0.2	<0.1	<0.1				
				2	14	0.15	0.14	<0.05	<0.05	0.1	0.1	<0.1	<0.1				
				目録No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数または使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)							
										沖縄病害虫防除所				-			
チアメトキサム[A]		[B]								チアメトキサム[A]		[B]					
最高値	平均値	最高値	平均値							最高値	平均値	最高値	平均値				
CR-74	アセロラ (露地) [果実] 2005年	顆粒水溶液 (10%) 2000倍 165L/10a (糸満市) 556L/10a (本部町) 散布	沖縄病害虫防除所 (糸満市)	0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	/	/	/	/				
				2	7	0.06	0.06	<0.04	<0.04	/	/	/	/				
				2	14	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	/	/	/	/				
				2	21	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	/	/	/	/				
			沖縄病害虫防除所 (本部町)	0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	/	/	/	/				
				2	7	0.22	0.22	0.09	0.09	/	/	/	/				
				2	14	0.11	0.10	0.07	0.07	/	/	/	/				
				2	21	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	/	/	/	/				

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)								
						(財) 残留農業研究所				/パナソニック(株)				
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]		
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
CR-23	茶 (露地) [荒茶] 1998年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 200L/10a 散布	京都 茶研	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	
				1	7	7.42	7.13	0.25	0.25	5.67	5.54	0.25	0.24	
				1	14	2.45	2.39	0.11	0.11	2.00	2.00	0.10	0.10	
			1	21	0.86	0.84	0.05	0.05	0.73	0.72	0.05	0.05		
			徳島 農試	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
				1	7	2.14	2.12	0.06	0.06	2.35	2.28	0.07	0.07	
	1			14	1.34	1.32	0.05	0.05	1.24	1.22	0.05	0.05		
	1		21	0.92	0.90	0.05	0.05	0.81	0.78	0.05	0.05			
	茶 (露地) [浸出液] 1998年		京都 茶研	0	—					<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	
				1	7					6.31	6.08	0.23	0.23	
				1	14					1.73	1.68	0.09	0.09	
			1	21					0.69	0.68	0.05	0.05		
徳島 農試		0	—					<0.05	<0.05	<0.05	<0.05			
		1	7					1.60	1.54	0.06	0.06			
	1	14					0.92	0.90	0.05	0.05				
1	21					0.71	0.70	0.05	0.05					
目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)								
						(財) 残留農業研究所				シンジェンタジャパン(株)				
						チアメトキサム[A]		[B]		チアメトキサム[A]		[B]		
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
CR-45	茶 (露地) [荒茶] 2002年	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 200L/10a 散布	神奈川 農総研	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	
				1	7	9.78	9.60	0.17	0.17	9.20	8.64	0.16	0.16	
				1	14	2.87	2.83	0.10	0.10	2.76	2.74	0.11	0.11	
			1	21	1.53	1.53	0.07	0.06	1.39	1.38	0.06	0.06		
			鹿児島 茶試	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
				1	7	3.38	3.23	0.09	0.09	2.69	2.68	0.09	0.08	
	1			14	0.46	0.45	<0.05	<0.05	0.35	0.34	<0.05	<0.05		
	1		21	0.43	0.42	<0.05	<0.05	0.33	0.32	<0.05	<0.05			
	茶 (露地) [浸出液] 2002年		神奈川 農総研	0	—					<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	
				1	7					8.52	8.40	0.15	0.15	
				1	14					2.89	2.80	0.10	0.10	
			1	21					1.22	1.22	0.05	0.05		
鹿児島 茶試		0	—					<0.05	<0.05	<0.05	<0.05			
		1	7					2.82	2.81	0.08	0.08			
	1	14					0.46	0.45	<0.05	<0.05				
1	21					0.38	0.38	<0.05	<0.05					

目録 No.	作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数ま たは使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
						(株)南西環境研究所							
						チアメトキサム[A]				[B]			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
CR-73	セージ (施設) [茎葉] 2005年	顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 200L/10a 散布	沖縄病害 虫防除所 (糸満市)	0	—	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	/	/	/	/
				3	7	2.35	2.35	0.36	0.36	/	/	/	/
				3	14	1.32	1.29	0.26	0.25	/	/	/	/
				3	21	0.47	0.47	0.12	0.12	/	/	/	/
			沖縄病害 虫防除所 (豊見城 市)	0	—	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	/	/	/	/
				3	7	2.34	2.26	0.21	0.19	/	/	/	/
				3	14	1.30	1.29	0.25	0.25	/	/	/	/
				3	21	0.55	0.54	0.08	0.06	/	/	/	/
CR-64	あさつき (露地) [可食部] 2006年	粒剤 (0.5%) 9kg/10a 作条処理 (植付時)	福島 植防	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	/	/	/	/
				1	46	0.29	0.29	0.05	0.05	/	/	/	/
				1	53	0.31	0.31	<0.05	<0.05	/	/	/	/
				1	60	0.28	0.28	<0.05	<0.05	/	/	/	/
			日植防 (牛久)	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	/	/	/	/
				1	88	0.08	0.08	<0.05	<0.05	/	/	/	/
				1	95	0.07	0.07	<0.05	<0.05	/	/	/	/
				1	102	0.06	0.06	<0.05	<0.05	/	/	/	/
		粒剤 (0.5%) 9kg/10a 作条処理 1回 (植付時)	福島 植防	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	/	/	/	/
				5	3	2.29	2.26	0.18	0.18	/	/	/	/
				5	7	1.72	1.69	0.14	0.14	/	/	/	/
				5	14	1.80	1.78	0.18	0.18	/	/	/	/
			日植防 (牛久)	0	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	/	/	/	/
				5	3	0.89	0.88	0.05	0.05	/	/	/	/
				5	7	0.61	0.61	<0.05	<0.05	/	/	/	/
				5	14	0.36	0.36	<0.05	<0.05	/	/	/	/
CR-100	しそ (施設) [葉部] 2010年	顆粒水溶剤 (10%) 3000倍 200L/10a 散布 2回	愛知農試 (豊川)	0	—	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	/	/	/	/
				2	3	3.1	3.1	0.1	0.1	/	/	/	/
				2	7	0.9	0.8	<0.1	<0.1	/	/	/	/
				2	14	0.1	0.1	<0.1	<0.1	/	/	/	/
				0	—	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	/	/	/	/
				2	3	2.9	2.8	0.2	0.2	/	/	/	/
			愛知農試 (豊橋)	2	7	0.5	0.5	<0.1	<0.1	/	/	/	/
				2	14	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	/	/	/	/



## 2. 家畜における代謝試験

### (1) 泌乳ヤギにおける代謝試験 -

標識

(資料 No.LM-01)

試験機関：ハルティス クロップ プロテクション社 (スイス国)

報告書作成年：1998 年

[GLP 対応]

試験目的：本試験は、チアメトキサム(CGA293343)を 4 日間反復経口投与したときの、ヤギにおける吸収、排泄および代謝を明らかにすることを目的として行った。

供試標識化合物：

標識チアメトキサム：

供試動物：雌泌乳ヤギ 2 匹 (試験開始時 42.1~48.4kg、*Gemsfarbige gebirgsziege* 種)

方 法：

- (1) 投 与；供試標識化合物を非標識化合物(純度           %)と混ぜ、1 カプセル当り 600kBq/mg とし、1 日 1 カプセルずつ 4 日間投与した。1 日当りの投与量は 100.6ppm/飼料(           )であった。
- (2) 試料の採取；乳汁は 1 日 2 回、糞および尿は 1 日毎に採取した。4 日目投与 6 時間後に屠殺して、筋肉、脂肪、腎臓、肝臓、血液、胆汁および消化管を採取した。
- (3) 分 析；糞および糞の抽出残渣は燃焼法で、組織および組織の抽出残渣は溶解後 LSC で放射能を測定した。

結 果：

排泄率を表 1 に示す。乳汁中残留量は、投与後 0-7 時間と 7-24 時間で 2 倍以上の差があった(1 回目投与；0-7 時間と 7-24 時間、2 回目投与；24-31 時間と 31-48 時間、3 回目投与；48-55 時間と 55-72 時間の比較)。

78 時間後までの排泄率は、乳汁中で 1%TAR、糞中で 12%TAR、尿中で 49%TAR であり、主要な排泄経路は尿中であった。

組織中残留および回収率を表 2 に示す。78 時間後までの総回収率は 84%TAR であった。

表 1 排泄率 (2 匹平均)

試料	時間	%TAR	ppm (親化合物換算値)
乳汁	0-7hr	0.150	1.483
	7-24hr	0.139	0.726
	24-31hr	0.196	1.904
	31-48hr	0.152	0.868
	48-55hr	0.151	1.872
	55-72hr	0.118	0.793
	72-78hr	0.106	1.688
	0-78hr	1.012	— (平均 1.173)
糞	0-24hr	1.552	—
	24-48hr	4.327	—
	48-72hr	5.088	—
	72-78hr	1.169	—
	0-78hr	12.135	—
尿	0-24hr	9.992	—
	24-48hr	15.026	—
	48-72hr	18.648	—
	72-78hr	5.052	—
	0-78hr	48.718	—
ケージ洗浄液	0-78hr	0.133	—
ケージ残留物	0-78hr	0.139	—
合計 (排泄率)	0-78hr	62.136	—

—：該当せず

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

表 2 組織中残留および回収率 (2匹平均)

試料	時間	%TAR	ppm (親化合物換算値)
脚筋	78hr	1.594	2.081
大腰筋	78hr	0.095	2.038
大網脂肪	78hr	0.040	0.257
腎周囲脂肪	78hr	0.062	0.579
腎臓	78hr	0.142	6.633
肝臓	78hr	1.432	11.089
血液	78hr	0.588	1.839
胆汁	78hr	0.038	10.209
第一胃	78hr	17.734	—
総排泄	0-78hr	62.136	—
総回収率	0-78hr	83.861	—

— : 該当せず

乳汁、糞、尿および各組織中で認められた代謝物を表 3 に示す。乳汁および尿中主要代謝物は 糞中主要代謝物は であった。組織中での主要代謝物は であった。

推定代謝経路を図 1 に示す。

表3 乳汁、尿、糞および各組織中の代謝物（試料中割合、%TRR、( )内はppm\*）

代謝物	乳汁	尿	糞	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓
チアメトキサム [A]	30.8 (0.362)	7.4	16.2	51.4 (1.068)	35.5 (0.138)	1.0 (0.107)	21.1 (1.400)
合計	100 (1.173)	100	100	100 (2.078)	100 (0.389)	100 (11.089)	100 (6.633)

- : 検出されず

\* : 報告書中の単位はppbであるが、申請者が単位をppmとして小数点以下第三位まで算出した。  
なお、尿及び糞中の濃度は報告されていない。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

図 1 チアメトキサムのヤギにおける推定代謝経路

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

(2) 泌乳ヤギにおける代謝試験 -

標識

(資料 No.LM-02)

試験機関：ハルティス クロップ プロテクション社 (スイス国)

報告書作成年：1998 年

[GLP 対応]

試験目的：本試験は、チアメトキサム(CGA293343)を 4 日間反復経口投与したときの、ヤギにおける吸収、排泄および代謝を明らかにすることを目的として行った。

供試標識化合物：

標識チアメトキサム：

供試動物：雌泌乳ヤギ 2 匹 (試験開始時 40.1~41.2kg、*Gemsfarbige gebirgszierge* 種)

方 法：

- (1) 投 与；供試標識化合物を 1 日 1 カプセルずつ 4 日間投与した。1 日当たりの投与量は、111.9ppm/飼料( )であった。
- (2) 試料の採取；乳汁は 1 日 2 回、糞および尿は 1 日毎に採取した。4 日目投与 6 時間後に屠殺して、筋肉、脂肪、腎臓、肝臓、血液、胆汁および消化管を採取した。
- (3) 分 析；糞および糞の抽出残渣は燃焼法で、組織および組織の抽出残渣は溶解後 LSC で放射能を測定した。

結 果：

排泄率を表 1 に示す。乳汁中残留量は、投与後 0-7 時間と 7-24 時間で 2 倍以上の差があった(1 回目投与；0-7 時間と 7-24 時間、2 回目投与；24-31 時間と 31-48 時間、3 回目投与；48-55 時間と 55-72 時間の比較)。

78 時間後までの排泄率は、乳汁中で 1%TAR、糞中で 8%TAR、尿中で 44%TAR であり、主要な排泄経路は尿中であった。

組織中残留および回収率を表 2 に示す。78 時間後までの総回収率は 87%TAR であった。

表 1 排泄率 (2 匹平均)

試料	時間	%TAR	ppm (親化合物換算値)
乳汁	0-7hr	0.132	1.670
	7-24hr	0.129	0.866
	24-31hr	0.153	2.096
	31-48hr	0.138	1.045
	48-55hr	0.140	2.308
	55-72hr	0.141	1.522
	72-78hr	0.102	2.280
	0-78hr	0.936	— (平均 1.481)
糞	0-24hr	1.205	—
	24-48hr	2.605	—
	48-72hr	2.751	—
	72-78hr	1.080	—
	0-78hr	7.643	—
尿	0-24hr	12.098	—
	24-48hr	15.224	—
	48-72hr	12.266	—
	72-78hr	4.869	—
	0-78hr	44.458	—
ケージ洗浄液	0-78hr	3.266	—
ケージ残留物	0-78hr	0.186	—
合計 (排泄率)	0-78hr	56.488	—

—：該当せず

表 2 組織中残留と回収率 (2 匹平均)

試料	時間	%TAR	ppm (親化合物換算値)
脚筋	78hr	2.213	2.267
大腰筋	78hr	0.086	2.275
大網脂肪	78hr	0.029	0.458
腎周囲脂肪	78hr	0.028	0.648
腎臓	78hr	0.132	7.520
肝臓	78hr	1.235	11.040
血液	78hr	0.658	2.057
胆汁	78hr	0.047	7.442
第一胃	78hr	25.634	—
総排泄	0-78hr	56.488	—
総回収率	0-78hr	86.550	—

— : 該当せず

乳汁、糞、尿および各組織中で認められた代謝物を表 3 に示す。乳汁および尿中主要代謝物は 糞中主要代謝物は であつた。筋肉、脂肪中では親化合物[A]が 50%TRR 以上で、その他、脂肪中では が %TRR 以上であつた。肝臓中では 、腎臓中では が %TRR 以上であつた。

推定代謝経路を図 1 に示す。



表3 乳汁、尿、糞および各組織中の代謝物（試料中割合、%TRR、( )内は ppm\*）

代謝物	乳汁	尿	糞	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓
チアメトキサム [A]	36.8 (0.545)	23.0	18.0	53.6 (1.215)	51.9 (0.278)	1.1 (0.120)	22.3 (1.679)
合計	100 (1.481)	100	100	100 (2.267)	100 (0.535)	100 (11.040)	100 (7.520)

- : 検出されず

\* : 報告書中の単位は ppb であるが、申請者が単位を ppm として小数点以下第三位まで算出した。  
なお、尿及び糞中の濃度は報告されていない。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

図1 チアメトキサムのヤギにおける推定代謝経路

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

(3) 産卵鶏における代謝試験 -

標識

(資料 No.LM-03)

試験機関：ハルティス クロップ プロテクション社 (スイス国)

報告書作成年：1998 年

[GLP 対応]

試験目的：本試験は、チアメトキサム(CGA293343)を 4 日間反復経口投与したときの、産卵鶏における吸収、排泄および代謝を明らかにすることを目的として行った。

供試標識化合物：

標識チアメトキサム：

供試動物：産卵鶏 5 匹 (試験開始時 1466~1803g、レグホーン LSL 種)

方 法：

- (1) 投 与；供試標識化合物を非標識化合物(99.3~99.7%)と混ぜ、1 カプセル当り 600kBq/mg とし、1 日 1 カプセルずつ 4 日間投与した。1 日当たりの投与量は 111.7ppm/飼料( )であった。
- (2) 試料の採取；卵、糞尿は 1 日毎に採取した。4 日目投与 6 時間後に屠殺して、筋肉、脂肪、腎臓、肝臓、血液、胆汁、砂囊/腸内容物およびケージ洗浄液を採取した。
- (3) 分 析；糞および糞の抽出残渣は燃焼法で、組織および組織の抽出残渣は溶解後 LSC で放射能を測定した。

結 果：

排泄率を表 1 に示す。卵白中排泄率は 0-24 時間で 0.003%TAR、24-48 時間で 0.021%TAR、48-72 時間で 0.020%TAR および 72-78 時間で 0.024%TAR であった。卵黄中排泄率は 24-48 時間で 0.006%TAR、48-72 時間で 0.009%TAR および 72-78 時間で 0.014%TAR であった。

78 時間後までの排泄率は、卵中で 0.1%TAR、糞中で 82.3%TAR であった。組織中残留および回収率を表 2 に示す。78 時間後までに筋肉中に 0.52%TAR、脂肪中に 0.09%TAR、肝臓中に 0.57%TAR および腎臓中に 0.09%TAR が残留した。78 時間後までの総回収率は 84.5%TAR であった。

表 1 排泄率 (5 匹平均)

試料	時間	%TAR	ppm (親化合物換算値)
卵白	0-24hr	0.003	0.046
卵黄		0.000	0.006
卵白	24-48hr	0.021	0.356
卵黄		0.006	0.228
卵白	48-72hr	0.020	0.329
卵黄		0.009	0.351
卵白	72-78hr	0.024	0.329
卵黄		0.014	0.582
卵白	0-78hr	0.068	— (平均 0.263)
卵黄		0.028	— (平均 0.290)
卵	0-78hr	0.096	— (平均 0.263)
糞尿	0-24hr	22.412	—
	24-48hr	22.039	—
	48-72hr	22.456	—
	72-78hr	15.388	—
	0-78hr	82.295	—
ケージ洗浄液	0-78hr	0.223	—
ケージ残留物	0-78hr	0.028	—
合計 (排泄率)	0-78hr	82.738	—

—：該当せず

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

表 2 組織中残留および回収率 (5 匹平均)

試料	時間	%TAR	ppm (親化合物換算値)
筋肉	78hr	0.517	0.684
脂肪(皮膚を含む)	78hr	0.076	0.322
腹膜脂肪	78hr	0.018	0.247
腎臓	78hr	0.089	4.739
肝臓	78hr	0.573	8.132
血液	78hr	0.037	0.645
胆汁	78hr	0.065	66.330
砂囊/腸内容物	78hr	0.427	—
総排泄	0-78hr	82.738	—
総回収率	0-78hr	84.477	—

— : 該当せず

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

卵、糞尿および各組織中で認められた代謝物を表 3 に示す。 %TRR 以上検出された代謝物は、卵および糞尿で 、筋肉で 、脂肪で 、肝臓で  
であった。

推定代謝経路を図 1 に示す。

表 3 卵、尿糞および各組織中の代謝物 (試料中割合、%TRR、( )内は ppm\*)

代謝物	卵白	卵黄	糞尿	筋肉	脂肪	肝臓
チアメトキサム [A]	5.0 (0.013)	11.3 (0.033)	2.7	21.1 (0.143)	14.8 (0.043)	-
合計	100 (0.265)	100 (0.290)	100	100 (0.677)	100 (0.290)	100 (8.017)

-: 検出されず

\*: 報告書中の単位は ppb であるが、申請者が単位を ppm として小数点以下第三位まで算出した。  
なお、糞尿中の濃度は報告されていない。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

図 1 チアメトキサムの産卵鶏における推定代謝経路

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

(4) 産卵鶏における代謝試験 -

標識

(資料 No.LM-04)

試験機関：ハルティス クロップ プロテクション社 (スイス国)

報告書作成年：1998 年

[GLP 対応]

試験目的：本試験は、チアメトキサム(CGA293343)を 4 日間反復経口投与したときの、産卵鶏における吸収、排泄および代謝を明らかにすることを目的として行った。

供試標識化合物：

標識チアメトキサム：

供試動物：産卵鶏 5 匹 (試験開始時 1408～1667g、ホワイトレグホーン種)

方 法：

- (1) 投 与；供試標識化合物約 11mg を 1 日 1 カプセルずつ 4 日間投与した。1 日当りの投与量は 97.6ppm/飼料( )であった。
- (2) 試料の採取；卵、糞尿は 1 日毎に採取した。4 日目投与 6 時間後に屠殺して、筋肉、脂肪、腎臓、肝臓、血液、胆汁、砂囊/腸内容物およびケージ洗浄液を採取した。
- (3) 分 析；糞および糞の抽出残渣は燃焼法で、組織および組織の抽出残渣は溶解後 LSC で放射能を測定した。

結 果：



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

排泄率を表1に示す。卵白中排泄率は0-24時間で0.002%TAR、24-48時間で0.022%TAR、48-72時間で0.029%TARおよび72-78時間で0.029%TARであった。卵黄中排泄率は24-48時間で0.005%TAR、48-72時間で0.011%TARおよび72-78時間で0.015%TARであった。78時間後までの排泄率は、卵中で0.11%TAR、糞中で78.7%TARであった。組織中残留および回収率を表2に示す。78時間後までに筋肉中に0.66%TAR、脂肪中に0.09%TAR、肝臓中に0.69%TAR、腎臓中に0.1%TARが残留した。78時間後までの総回収率は82.5%TARであった。

表1 排泄率 (5匹平均)

試料	時間	%TAR	ppm (親化合物換算値)
卵白	0-24hr	0.002	0.028
卵黄		0.000	0.011
卵白	24-48hr	0.022	0.322
卵黄		0.005	0.194
卵白	48-72hr	0.029	0.418
卵黄		0.011	0.406
卵白	72-78hr	0.029	0.407
卵黄		0.015	0.563
卵白	0-78hr	0.083	— (平均 0.296)
卵黄		0.032	— (平均 0.295)
卵	0-78hr	0.114	— (平均 0.295)
糞尿	0-24hr	19.957	—
	24-48hr	20.388	—
	48-72hr	20.233	—
	72-78hr	18.082	—
	0-78hr	78.659	—
ケージ洗浄液	0-78hr	0.989	—
ケージ残留物	0-78hr	0.151	—
合計 (排泄率)	0-78hr	79.914	—

— : 該当せず

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

表 2 組織中残留および回収率 (5 匹平均)

試料	時間	%TAR	ppm (親化合物換算値)
筋肉	78hr	0.661	0.933
脂肪(皮膚を含む)	78hr	0.086	0.452
腹膜脂肪	78hr	0.008	0.235
腎臓	78hr	0.096	5.507
肝臓	78hr	0.686	9.234
血液	78hr	0.065	0.715
胆汁	78hr	0.078	23.034
砂囊/腸内容物	78hr	0.938	—
総排泄	0-78hr	79.914	—
総回収率	0-78hr	82.516	—

— : 該当せず

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

卵、糞尿および各組織中で認められた代謝物を表3に示す。 %TRR 以上検出された代謝物は、卵および糞尿で 、筋肉で 、脂肪で 、肝臓であった。  
推定代謝経路を図1に示す。

表3 卵、尿糞および各組織中の代謝物（試料中割合、%TRR、( )内は ppm\*）

代謝物	卵白	卵黄	糞尿	筋肉	脂肪	肝臓
チアメトキサム [A]	1.9 (0.006)	10.9 (0.032)	2.0	20.7 (0.192)	5.0 (0.018)	0.2 (0.022)
合計	100 (0.292)	100 (0.295)	100	100 (0.929)	100 (0.366)	100 (9.145)

- : 検出されず

\* : 報告書中の単位は ppb であるが、申請者が単位を ppm として小数点以下第三位まで算出した。  
なお、糞尿中の濃度は報告されていない。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

図1 チアメトキサムの産卵鶏における推定代謝経路

### 3. 家畜における残留試験

#### (1) 乳牛における残留試験

(資料 No.LR-01)

試験機関：ハルティス クロップ プロテクション社 (米国)

報告書作成年：1998年 [GLP 対応]

2002年(修正報告書) [GLP 対応]

試験目的：本試験は、チアメトキサム(CGA293343)を 28-30 日間反復経口投与したときの、乳牛における残留を明らかにすることを目的として行った。

供試化合物：非標識チアメトキサム：3-(2-クロロ-1,3-チアゾール-5-イルメチル)-5-メチル-1,3,5-オキサジアジナン-4-イリデン(ニトロ)アミン、化学的純度 %を用いた。

供試動物：雌乳牛(試験開始時 3~4 齢、ホルスタイン種) 10 頭

#### 方 法：

(1) 投 与；供試非標識化合物を 1 日 1 カプセルずつ 28~30 日間経口投与した。1 日当りの投与量は 2、6、20ppm/飼料( )であった。用量設定根拠は、乾燥飼料換算値で摂取量が 21kg/頭/日として設定した。

(2) 試料の採取；乳汁は投与 0、1、3、7、14、21、26 日後まで経時的に採取した。試験終了後に屠殺し、骨格筋、大腰筋、腎臓、肝臓および脂肪を採取した。

(3) 分 析；

#### 結 果：

乳汁中および組織中残留量を表 1 に示す。乳汁中に全ての投与群で親化合物[A]および代謝物 が検出され、残留量は投与量に比例していた。乳汁中の[A]の最大残留量は 0.17ppm (20ppm 投与、7 及び 14 日目)であった。

組織中の[A]の最大残留量は骨格筋に 0.06ppm(20ppm 投与、29 日目)、腎臓に 0.04ppm(20ppm 投与、29 日目)であった。脂肪には検出されなかった。肝臓には全ての投与群で代謝物 が検出され、最大残留量は ppm(20ppm 投与、30 日目)であった。

表 1 乳汁中および組織中残留量、3 連の最高値

試料	投与後 日数	2ppm		6ppm		20ppm	
		チアメト キサム [A]		チアメト キサム [A]		チアメト キサム [A]	
乳汁	0	<0.005		<0.005		<0.005	
	1	0.009		0.03		0.13	
	3	0.008		0.05		0.15	
	7	0.01		0.04		0.17	
	14	0.008		0.04		0.17	
	21	0.007		0.05		0.14	
	26	0.008		0.05		0.12	
肝臓*	28	<0.01		<0.01		<0.01	
	29	<0.01		<0.01		<0.01	
	30	<0.01		<0.01		<0.01	
腎臓	28	<0.01		<0.01		0.01	
	29	<0.01		<0.01		0.04	
	30	<0.01		<0.01		0.03	
大腰筋	28	<0.01		0.01		0.02	
	29	<0.01		0.01		0.04	
	30	<0.01		<0.01		0.03	
骨格筋	28	<0.01		<0.01		0.03	
	29	<0.01		0.01		0.06	
	30	<0.01		<0.01		0.03	
脂肪 (腎周囲)	28	-		-		<0.01	
	29	-		-		<0.01	
	30	-		-		<0.01	
大網脂肪	28	-		-		<0.01	
	29	-		-		<0.01	
	30	-		-		<0.01	

— : 分析せず、\* : 追加試験の結果(マイクロ波抽出試料)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

## (2) 産卵鶏における残留試験

(資料 No.LR-02)

試験機関：ハルティス クロップ プロテクション社(米国)

報告書作成年：2000年 [GLP 対応]

試験目的：本試験は、チアメトキサム(CGA293343)を28日間反復経口投与したときの、産卵鶏における残留を明らかにすることを目的として行った。

供試化合物：非標識チアメトキサム：3-(2-クロロ-1,3-チアゾール-5-イルメチル)-5-メチル-1,3,5-オキサジアジナン-4-イリデン(ニトロ)アミン、化学的純度 %を用いた。

供試動物：産卵鶏 (試験開始時 1.17~1.80kg、ホワイトレグホーン種) 1群 15匹

方法：

(1) 投与；供試非標識化合物を28日間混餌投与した。1日当りの投与量は0.2、0.6、2、10 ppm/試料( )であった。

(2) 試料の採取；卵は投与開始日から28日まで経時的に採取した。投与期間終了時に屠殺し、皮膚、脂肪、肝臓および筋肉を採取した。

(3) 分析；

結果：

卵中残留量および組織中の残留量を表1に示す。

卵中残留は10ppm投与群で、代謝物が ppm(28日目)、が ppm(3日目で降)検出された。2ppm投与群で卵中に残留が検出されなかったため、0.2および0.6ppm投与群の分析は行わなかった。

組織中の残留は10ppm投与群でも検出されなかった。

表 1 卵中および組織中残留量、3 連の最高値

試料	投与後日数	2ppm		10ppm	
		チアメト キサム [A]		チアメト キサム [A]	
卵	0	< 0.01		< 0.01	
	1	< 0.01		< 0.01	
	3	< 0.01		< 0.01	
	7	< 0.01		< 0.01	
	14	< 0.01		< 0.01	
	21	< 0.01		< 0.01	
	28	< 0.01		< 0.01	
脂肪 (皮膚を含む)	29	—		< 0.01	
腹膜脂肪	29	—		< 0.01	
肝臓	29	—		< 0.01	
筋肉 (胸部+腿部)	29	—		< 0.01	

— : 分析せず